

3. 観光振興に係る基礎調査・分析

3.1 本市の観光振興を取り巻く上位指針、計画を整理

以下に本市における観光振興を取り巻く上位指針、計画を整理する。今後、第2次名護市観光振興基本計画の計画策定においては、これらの上位指針、計画内容に留意した上で取組を進める必要がある。

3.1.1 市外の取組み

名護市を取り巻く、市外の観光に関わる動きについて、以下の通り整理した。

(1) 国の取組み

国の観光関連施策を以下に整理する。

●観光立国推進基本計画（H28年度策定） 計画期間：H29年度～H32年度

【概要】

観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）の規定に基づき、観光立国の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため閣議決定された計画。

【関連項目（抜粋）】

《全国の観光目標（H32）》

国内観光の拡大・充実

○国内旅行消費額：21兆円

国際観光の拡大・充実

○訪日外国人旅行者数：4,000万人

○訪日外国人旅行消費額：8兆円

○訪日外国人旅行者に占めるリピーター数：2,400万人

○訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数：7,000万人泊

○アジア主要国における国際会議の開催件数に占める割合：アジア最大の開催国（3割以上）

◆国際相互交流の推進

・日本人の海外旅行者数：2,000万人

● **明日の日本を支える観光ビジョン（H28 年度策定）** 目標年次：H32 年度、H42 年度

【概要】

「観光先進国」の実現に向け、「3 つの視点」と「10 の改革」を取りまとめ、政府一丸、官民を挙げて取り組みを行っていくために決定されたもの。

【関連項目（抜粋）】

≪全国の観光目標≫

○訪日外国人旅行者数：4,000 万人（H32）、6,000 万人（H42）

○訪日外国人旅行消費額：8 兆円（H32）、15 兆円（H42）

○訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数：7,000 万人泊（H32）、
1 億 3,000 万人泊（H42）

○外国人リピーター数：2,400 万人（H32）、3,600 万人（H42）

○日本人国内旅行消費額：21 兆円（H32）、22 兆円（H42）

● **観光ビジョン実現プログラム 2018（H30 年度策定）** 目標年次：H30 年度（単年）

【概要】

観光ビジョンや「観光立国推進基本計画」に基づき、政府の今後 1 年を目途とした行動計画を策定したもの。

(2) 県内の取り組み

沖縄県の観光関連施策を以下に整理する。2018年の沖縄県の入域観光客数は984万人、一人あたりの消費単価は7.6万円(国内客、速報値)となっており、2021年の入域観光客数1,200万人、観光収入1.1兆円に向けては、観光客数の伸びは順調であるものの、観光消費額の向上が課題となっている。また、県内で観光客の集中が見られる観光地等においては、地域社会との軋轢が見られ、今後は、経済の観点以外にも社会や環境などの側面から持続性のある観光振興を行うこと(観光と自然・社会環境との両立)が課題となっている。

●第5次沖縄県観光振興基本計画 改定版(H28年度策定) 計画期間：H24年度～H33年度

【概要】

「世界水準の観光リゾート地」の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを目的に策定。

【関連項目(抜粋)】

≪第5次沖縄県観光振興基本計画の数値目標フレーム≫

- 1) 観光収入 1.1兆円 【最上位目標】
- 2) 観光客一人当たり消費額9.3万円
(国内客：9.5万円、外国空路客：14.7万円、外国空路客：2.8万円)
- 3) 平均滞在日数 4.5日
- 4) 人泊数 4,200万人泊(国内客3,200万人泊、外国空路客1,000万人泊)
- 5) 入域観光客数 1,200万人(国内客800万人、外国客400万人)

●沖縄県観光推進ロードマップ【改訂版】(H29年度策定) 計画期間：H27年度～H33年度

【概要】

沖縄観光が官民一体となって中長期的、段階的に誘客及び受入体制整備等の観光振興施策を推進することを目的に策定。

【関連項目(抜粋)】

≪主な施策の実施内容≫

目標項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
(1) 需要の獲得(誘客)	①平準化施策の実施 ②新規市場(欧米リゾート需要、富裕層等)の調査等実施			①平準化、滞在延伸への集中誘客 ②離島へ誘導(直行便拡大等) ③新規市場の誘客拡大			滑走路増設をフックにしたプロモーション		
(2) 航空座席数の増加	①現状取組継続 ②航空会社調整(離島直行便) ③那覇便の利用率向上等			①離島直行便増便 ②那覇便の利用率向上等 ③那覇空港機能向上			滑走路増設をフックにした大幅増便		
(3) 宿泊供給量の増加	①宿泊施設の現状把握 ②供給管理施策検討・策定 ③高価格ホテル誘致検討			①既存施設のリノベーション促進 ②高価格ホテル、コンドミニアム等整備促進 ③供給大幅増に向けた施策策定			滑走路増設をフックにした供給量大幅増		
(4) 持続可能な観光リゾート地の形成に必要な施策	①人材確保・人材育成等 ②観光商品、体験メニュー、土産品等の多様化・高付加価値化 ③観光関連のデータ整備、推進体制の構築等 ④観光客増に伴う県内環境(経済面、社会生活面)の影響に関するモニタリングと改善施策 ⑤一般県民や観光関連以外の事業者、市町村等に対する周知活動								

● 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】（H29 年度策定） 計画期間：H24 年度～H33 年度

【概要】

沖縄 21 世紀ビジョンで示された県民が描く将来像の実現を目指し、県が主体的に策定する計画。

【関連項目（抜粋）】

北部圏域の観光振興の方向として、以下の記述がまとめられている。

「環境保全活動と経済活動が共存するルールづくりなどに取り組むとともに、大宜味村における芭蕉布製作やグリーンツーリズム、東村、国頭村及び名護市のエコツーリズム、伊江島等の民泊など体験・参加型観光の取組による地域特性・地域産業と密接に連携した観光スタイルの充実を促進します。」

● 沖縄県総合交通体系基本計画（H24 年度策定） 計画期間：H24 年度～H43 年度

【概要】

「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を上位計画とし、そこで示された交通分野に関する基本政策の具体的な構想を示した計画。

【関連項目（抜粋）】

北部圏域の将来像として、以下の記述がまとめられている。

「名護を中心に中南部圏域と同等の教育、医療、交通、行政サービス、生活基盤等を整備し、安心して暮らせる街ゾーンを形成する。」

● 沖縄県観光危機管理基本計画（H26 年度策定）

【概要】

沖縄観光の危機管理に関する基本計画であって、「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」及び「沖縄県観光振興基本計画」に基づき、観光危機管理対策の「基本方向」や「基本施策」を明らかにするものであり、県民をはじめ、市町村、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、観光関連団体・事業者等の各主体の自発的な活動の指針となるものである。

【主な目的】

- ①観光危機管理体制の整備による観光産業の持続的発展
- ②平常時の減災対策による観光危機に強い観光地づくり
- ③観光危機発生時の観光客への情報発信、避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策等の体制整備
- ④観光危機後の風評被害対策、観光産業の早期復興・事業継続支援等の体制整備
- ⑤安全・安心・快適な沖縄観光ブランドの構築による世界水準の観光リゾート地の形成

● 名護都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（H29 年度策定）

目標年次：平成 42 年度

【概要】

県全体の都市づくりの共通理念と基本姿勢に基づき、やんばるの豊かな自然環境と共生する将来像の実現のための方向性を明記した計画。

【都市の将来像（Ⅱ都市計画の目標）

- ①亜熱帯の豊かな自然を守り育む都市
- ②山、川、海の水循環を軸として持続可能な発展を遂げる都市
- ③川や港とともによみがえる活気に満ちた都市
- ④高次の都市機能が集積した北部の中核都市
- ⑤国際観光・リゾート拠点として成長・充実する都市
- ⑥金融・情報を核として未来を拓く都市

【広域的な位置づけ（4.都市づくりについて）】

「自然交響都市圏・やんばる（やんばるの自然と響きあうまち）」

【基本方針（4.都市づくりについて）】

山紫水明やんばるの文化的で 心が響きあう（ハートコミュニケーションが生まれる）魅力あるまちづくり — 自然と発展が調和するまち —

(3) 北部広域圏の取り組み

北部広域市町村圏事務組合による観光関連施策を以下に整理する。

●北部地域交通体系基本計画（H25 年策定） 目標年次：H42 年度

【概要】

定住促進、地域交流、産業振興を促進し地域振興を図るため、今後北部 12 市町村における交通計画および交通戦略の指針となる計画。

●北部地域自転車道ネットワーク基本計画（H30 年策定）

【概要】

北部地域の活性化に自転車を活用したまちづくりを進めるために「やんばるサイクリングロード（仮）」の構築が位置付けられている。

【やんばるサイクリングロード（仮）の基本方針（狙い）】

- 1 やんばるの自然を大切にすると心と低炭素社会の実現を目指す強い意志の醸成
- 2 県民や海外から訪れる観光客も含めた人々の健康増進
- 3 ホスピタリティと自転車利用者の安全・安心の確保
- 4 ゆっくり・ゆったり自然・人々とのふれあい
- 5 公共交通と自転車でゆっくり・じっくり観光
- 6 自転車をととした観光振興・まちの活性化を追求
- 7 世界水準の観光リゾート地の形成

▼
サイクリングロード推進のねらい
低炭素社会の実現、県民・観光客の健康増進、観光地域活性化



3.1.2 市内の取り組み

上位計画となる「名護市総合計画」において観光振興の施策や、目標値が設けられており、これらを踏まえた取り組みが必要である。

また、関連計画として、「名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」、「名護市景観まちづくり計画」、「名護市地域防災計画」があり、それぞれの計画の視点から観光に関わる施策が定められており、これらを踏まえた取り組みが求められる。

●第4次名護市総合計画（後期基本計画）（H26年度策定） 計画期間：H26年度～H30年度

【概要】

第4次名護市総合計画・基本構想に掲げられたまちづくりの基本理念及びまちづくりの目標を実現するために、基本構想を具体化し、体系的に示した計画。

【関連項目（抜粋）】

《政策3》自然の力を生かし創るエコな自立型産業のまち

施策2：観光の振興

具体的な取組

○既存資源を活用した新たな観光魅力の創出

○観光プロモーションの推進

○観光推進体制の確立

○観光基盤の整備

【目標数値】

○観光客の市内宿泊者数（延べ）：1,170千人（H30年度）

○名護市の入域者数（施設利用者数（延べ人数））：5,970千人（H30年度）

●名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略（H27年度策定）

計画期間：H27年度～H31年度

【概要】

第4次名護市総合計画で策定したまちづくりの目標や重点プロジェクトを基に、人口維持対策と市の創生を推進していくことを目的とした計画。

【関連項目（抜粋）】

《基本目標1. しごとをつくり、安心して働けるようにする》

基本方針1：「やんばる観光の拠点・名護」の推進

具体的施策

○既存資源を活用した新たな観光魅力の創出

○広域観光プロモーションの推進

○広域観光推進体制の確立

○観光客誘客のための交通インフラの整備

●名護市景観まちづくり計画（H24 年度策定） 計画期間：－

【概要】

景観法に基づき、名護市の景観に関するルールを定めた計画。

【関連項目（抜粋）】

瀬喜田地域の景観将来像として、以下の記述がまとめられている。

「夕陽に染まる穏やかな白浜と静かで美しい山並み

自然豊かな国際観光リゾート 三共地域」

●名護市地域防災計画（H29 年度策定） 計画期間：－（修正を要する場合に随時更新）

【概要】

災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、名護市民の生命、身体及び財産を災害から保護するための対策を図り、防災の万全を期することを目的とした計画。

【関連項目（抜粋）】

≪第 2 編 災害応急対策計画≫

第 2 章 初動期の迅速な応急活動の展開

第 15 節 観光客等対策計画

災害時における観光客等の安全を確保し、安心して帰路につけるよう、情報伝達や避難誘導等の安全対策について定める。

具体的施策

○避難情報の伝達及び避難誘導

○避難収容

○帰宅困難者対策

●名護湾沿岸基本構想（H30 年度策定） 案

【概要】

名護湾沿岸に配置される「名護漁港」や「21 世紀の森公園」、「宇茂佐海岸」などを対象区域とし、産業振興及び定住促進に資するまちづくり構想を策定するもの。

【まちづくりの全体構想のコンセプト（抜粋）】

名護湾沿岸地域は、

やんばるの魅力が集う・泊まりたい！観光都市
～北部農林水産業の振興 と 北部観光の発展へ～

を目指します。

3.2 利用者視点についての調査

3.2.1 観光客アンケート調査

(1) 調査目的

名護市を訪れた来訪客の行動や消費実態、満足度等を把握することを目的として、市内の主要な観光施設において観光客アンケート調査を実施した。

(2) 調査の概要

1) 調査概要

調査概要は以下の通り。

図表 10 調査概要

実施方法	1)「主要観光施設」における対面式でのアンケート調査 2)「宿泊施設」における留置方式のアンケート調査
調査対象	・名護市を訪問した観光客（外国人についても含む） （日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の調査票を使用）
箇所ごとの調査状況 （場所・日時）	1) 主要観光施設： ①道の駅 許田：道路情報ターミナル前/やんばる物産センター前（屋根付き通路部分） 【調査期間】平成30年12月7日（金）、9日（日） 10:00～18:00（8時間） ②ブセナ海中公園：ブセナテラスビーチショップ付近 【調査期間】平成30年12月7日（金）、8日（土） 9:30～17:00（7時間30分） ③ネオパークオキナワ：駐車場付近及び園内出口付近 【調査期間】平成30年12月7日（金）、8日（土） 10:00～17:00（7時間） （調査日の天候） 12月7日（金）：雨のち曇り、8（土）：曇り、9（日）：雨
	2) 宿泊施設：市内9施設（次頁にリストを掲載） 【配布期間】平成30年12月18日（火）～平成31年1月10日（木）

<調査実施の様子>



道の駅許田



ブセナ海中公園



ネオパークオキナワ

2) アンケートの回収状況

アンケート調査の回収数は 639 票（日本人 479 票/外国人 160 票）、内訳は下表の通りである。

図表 1 1 主要観光施設での回収数

施設名	合計 回収数	内訳	
		日本人	外国人
道の駅許田	230	197	33
ブセナ海中公園	111	54	57
ネオパークオキナワ	150	107	43
合計	491	358	133

図表 1 2 宿泊施設での回収数

施設名	合計 回収数	内訳	
		日本人	外国人
ゆがらいんおきなわ	11	11	0
名護リゾートリエッタ中山	16	13	3
カヌチャベイホテル&ヴィラズ	31	30	1
センチュリオンホテル	17	3	14
デルフィーノ名護	21	21	0
ザ・ブセナテラス	21	21	0
沖縄サンコーストホテル	5	5	0
リゾネックス名護	17	16	1
オキナワマリオットリゾート&スパ	9	1	8
合計	148	121	27

(3) 調査結果のまとめ

1) 調査結果の総括

① 沖縄県内で宿泊した市町村

- ・**県外客（日本人）**が県内で宿泊した市町村は、**那覇市**、**恩納村**、**名護市**の順に多かった。
- ・**外国人客**が県内で宿泊した市町村は、**本部町**、**那覇市**、**名護市**の順に多かった。

② 名護市を訪れた理由

- ・**県外客（日本人）**が名護市を訪れた理由は、**観光地巡り**（66.6%）、**ドライブ**（26.4%）、**自然・景勝地**（23.4%）の順に多かった。
- ・**外国人客**が名護市を訪れた理由は、**観光地巡り**（84.0%）、**自然・景勝地**（45.4%）、**ドライブ**（30.3%）の順に多かった。

③ 名護市内で訪れた（これから訪れる）場所

- ・**観光客全体**（県内・県外・海外）が市内で訪れた（これから訪れる）場所は、**やんばる物産センター（道の駅「許田」）**（49.7%）、**ネオパークオキナワ**（29.1%）、**ナゴバイナツプルパーク**（23.5%）、**沖縄そば**（21.8%）、**ブセナ海中展望塔**（21.3%）の順に多かった。
- ・**県外客（日本人）**が市内で訪れた（これから訪れる）場所は、**やんばる物産センター（道の駅「許田」）**（63.3%）、**ナゴバイナツプルパーク**（22.8%）、**沖縄そば**（21.9%）の順に多かった。
- ・**外国人客**が市内で訪れた（これから訪れる）場所は、**ブセナ海中展望塔**（39.5%）、**ナゴバイナツプルパーク**（35.4%）、**ネオパークオキナワ**（32.7%）の順に多かった。

④ 消費単価

- ・**県外客（日本人）**の市内での平均消費単価は18,196円。項目別では、**お土産・買い物**が**1,471円（8.1%）**であり、沖縄県全体のお土産・買い物の消費額の割合**13,821円（19.1%）**（沖縄県調査）比較して少ない。また、**宿泊**は**8,640円（47.5%）**であり、沖縄県全体の宿泊の消費額の割合**23,934円（33.1%）**と比較して多い。
- ・**外国人客**の市内での平均消費単価は15,507円。項目別では、**お土産・買い物**が**3,008円（19.4%）**であり、沖縄県全体のお土産・買い物の消費額の**29,805円（29.7%）**（沖縄県調査）と比較して少ない。

⑤ 名護市の評価（期待度・満足度）

- ・期待度※の平均の割合は、**県内客（日本人）27.5%、県外客（日本人）28.7%、外国人客 52.4%**と、外国人客が最も高い。
（※期待度は「期待した」、「普通」、「期待していない」の3段階評価のうち、「期待した」を選択した割合）
- ・満足度※の平均の割合は、**県内客（日本人）68.4%、県外客（日本人）65.1%、外国人客 84.9%**と、外国人客が最も高い。
（※満足度は「大変満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「大変不満」の5段階評価のうち、「大変満足」、「やや満足」を選択した割合）
- ・外国人客は観光体験と受入のインフラ要件の満足度の開きがない。その他の属性は、受入のインフラ要件は観光体験と比べると相対的に期待度と満足度は低い傾向にある。

⑥ 次回、名護市でやってみたい観光体験

- ・県内客（日本人）、県外客（日本人）、外国人客いずれも、**自然体験が最も多い**。

2) 調査結果のポイント

①属性毎の行動パターン

名護市を訪問する来訪者の行動特性は、日本人・外国人で大きく異なっている。(宿泊先の違い、同行者の違い、観光目的の違いがある。)

各属性ともに旅行中に次の観光行動を決めることが主流となっている。

②観光消費額の特性

観光消費額は、日本人県外(18,196 円)、外国人(15,507 円)、日本人県内(6,169 円)の順に額が大きい。

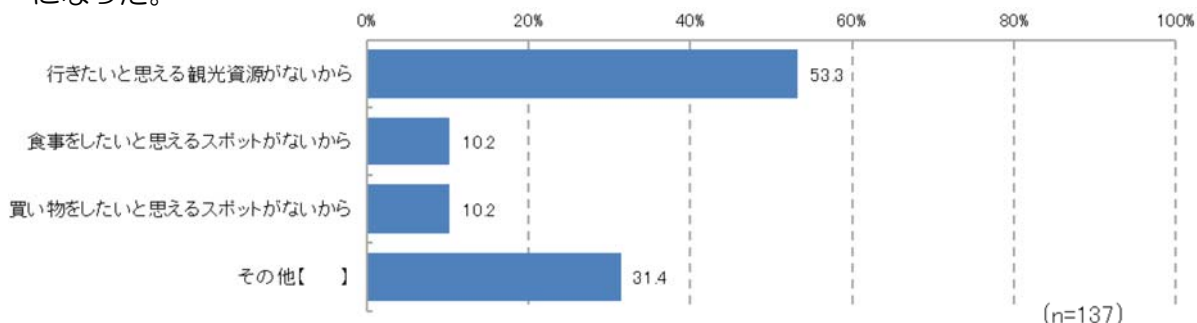
一方で内訳別に見ると、「お土産・買い物」の割合が 8.1%と県内消費額平均 19.1%と比べ低い。

③訪問のきっかけとなった広報媒体

県外客はガイドブックの割合が 44.8%と高く、外国人はインターネットの割合が 53.0%と最も高い。これらから、ターゲットの客層に応じた情報発信が求められる。

(参考：Wifi 整備についての調査(名護市を訪問しない理由))

- ・名護市を知っていながらも訪問しなかった理由として、「行きたいと思える観光資源がないから」が最も多く選択された。
- ・この結果より、「観光資源の魅力化」と、「魅力に応じた発信」が求められることが明らかになった。



<調査概要>

項目	概要
調査方法	Web アンケートによる回答・回収・集計
調査対象	Web アンケート調査会社の登録モニター ・ 1 年以内に沖縄県を観光で訪れた人 ・ 年齢は 20～69 歳、居住地は日本全国（沖縄を除く）
調査時期	平成 31 年 1 月

④次回、名護市でやってみたい観光体験

次回、名護市でやってみたい観光体験は、「自然体験」が全属性で最も多く、次いで外国人客の「食事体験」が 45.4%、「文化体験(エイサー、三線等)」が 40.7%となっている。自然体験、アクティビティ等は名護市にとって有力な観光資源だが、オーセンティックな名護の価値が伝わる事前の情報発信や、受入環境の充実が必要だと考えられる。

（４）調査結果

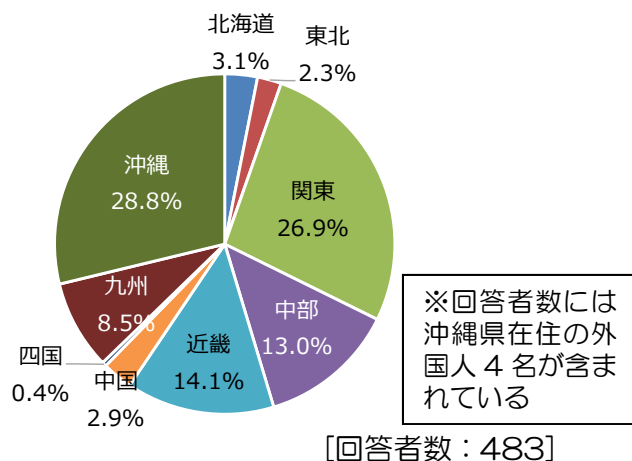
観光客アンケート調査の設問ごと集計結果を以下に示す。

1) 調査結果

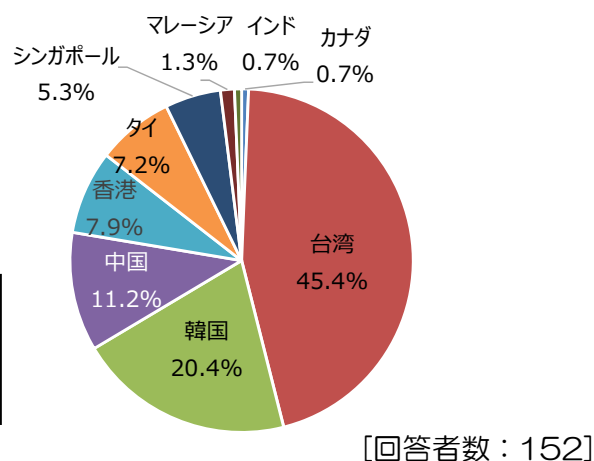
①回答者属性

○居住地域は「沖縄県」が28.8%と最も多く、次いで「関東」26.9%となっている
 ○外国人客は「台湾」が45.4%と最も多く、次いで「韓国」20.4%となっている
 ○年齢は「30代」が48.1%と最も多く、次いで「20代」23.1%となっている

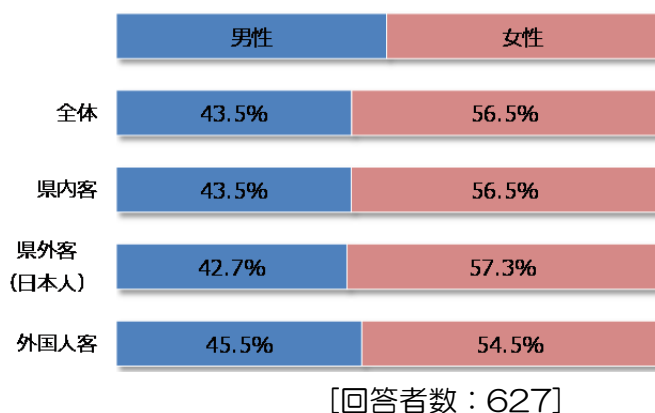
図表 1 3 居住地域



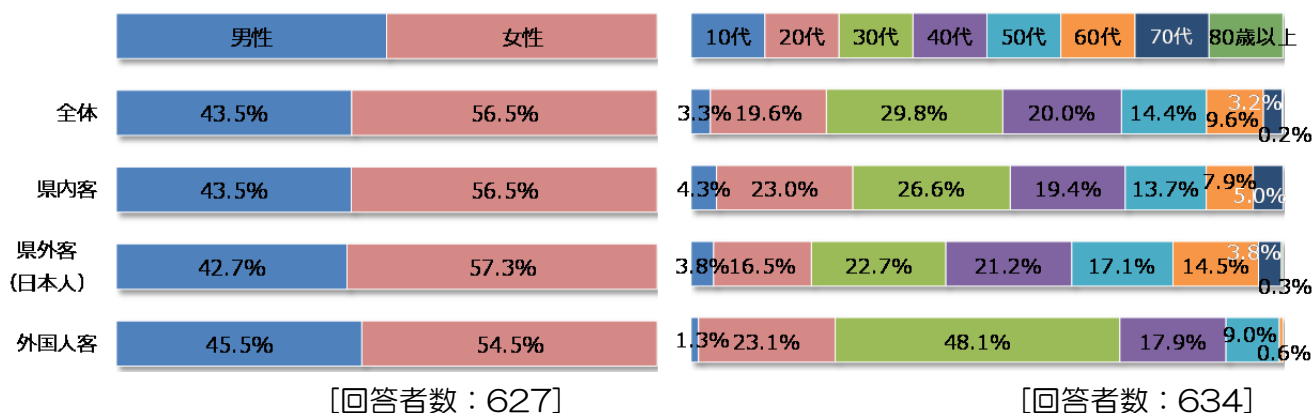
図表 1 4 国籍



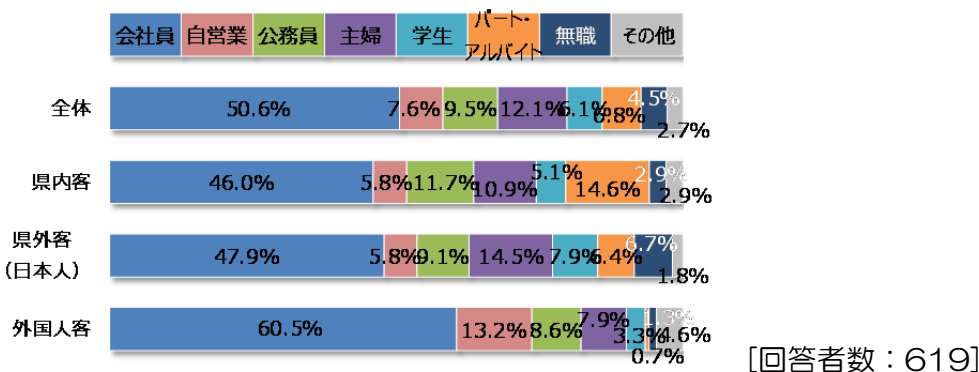
図表 1 5 性別



図表 1 6 年齢



図表 1 7 職業



<職業：その他の回答>

教師（5）、会社役員、保育士、専門職、職業訓練学校、サービス業、看護師

②今回の旅行について

a. 旅行の一番の目的地

○今回の旅行の一番の目的地は「美ら海水族館」が 215 件と最も多く、次いで「首里城」45 件、「ネオパークオキナワ」36 件となっている

図表 18 旅行の一番の目的地

【全体】

順位	旅行の一番の目的地	数	構成比
1	美ら海水族館	215	31.5%
2	首里城	45	6.6%
3	ネオパークオキナワ	36	5.3%
4	ブセナ海中展望塔	24	3.5%
5	古宇利島	13	1.9%
5	仕事	13	1.9%
6	観光	11	1.6%
6	美ら島エアーフェスタ	11	1.6%
7	ドライブ	10	1.5%
8	ザ・ブセナテラス	8	1.2%

【県内客】

順位	旅行の一番の目的地	数	構成比
1	ネオパークオキナワ	22	18.3%
2	美ら海水族館	15	12.5%
3	ドライブ	7	5.8%
4	イルミネーション	4	3.3%
5	カヌチャのイルミネーション	3	2.5%
5	カヌチャ宿泊	3	2.5%
5	やんばる	3	2.5%
5	宝くじ買いに寄った	3	2.5%
6	ブセナ海中展望台	2	1.7%
6	ホテル	2	1.7%
6	ヤバルツデーマーチ参加	2	1.7%
6	伊江島産業まつり	2	1.7%
6	学校	2	1.7%
6	恐竜パーク	2	1.7%
6	古宇利島	2	1.7%
6	国頭トレイル	2	1.7%
6	宿泊	2	1.7%
6	大石林山	2	1.7%
6	保育園遠足の下見	2	1.7%
6	名護リゾートリッタ中山	2	1.7%
6	遊びに来ました	2	1.7%

【県外客（日本人）】

順位	旅行の一番の目的地	数	構成比
1	美ら海水族館	115	30.1%
2	首里城	23	6.0%
3	仕事	12	3.1%
4	観光	11	2.9%
5	美ら島エアーフェスタ	10	2.6%
6	古宇利島	8	2.1%
7	ザ・ブセナテラス	7	1.8%
8	ブセナ海中展望塔	6	1.6%

12月8日（土）、9日（日）
※開催の航空自衛隊那覇基地
のイベント（※調査日程）

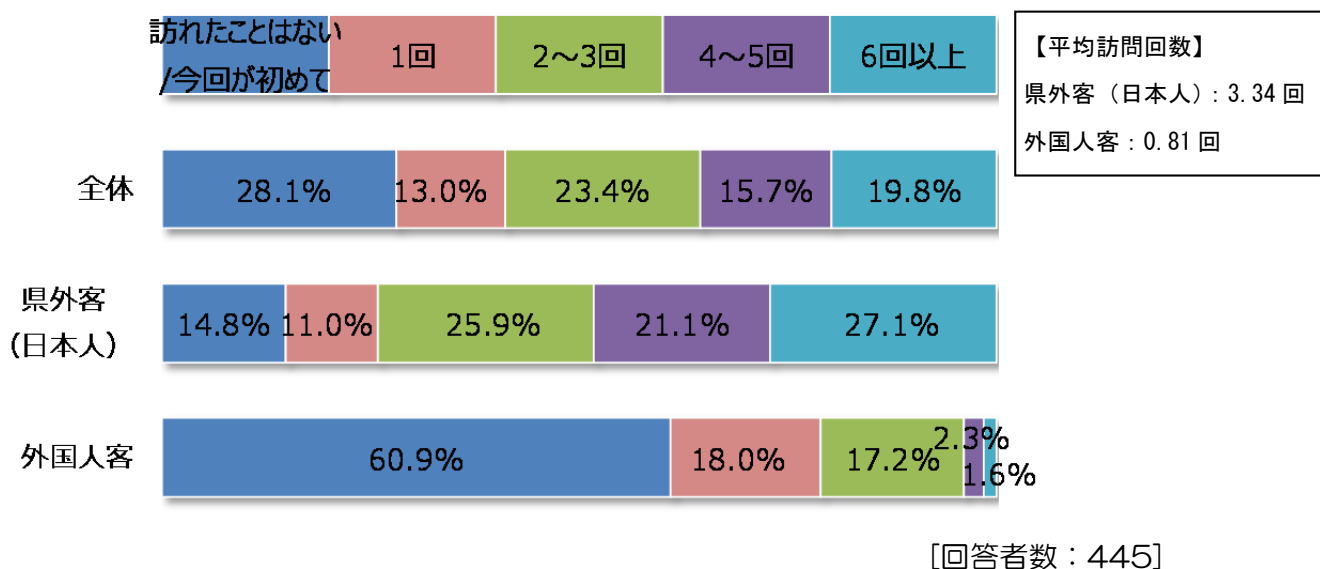
【外国人客】

順位	旅行の一番の目的地	数	構成比
1	美ら海水族館	85	47.2%
2	首里城	21	11.7%
3	ブセナ海中展望塔	18	10.0%
4	ネオパークオキナワ	9	5.0%
5	アメリカンビレッジ	7	3.9%
6	海洋博公園	5	2.8%
6	万座毛	5	2.8%
7	古宇利島	3	1.7%
7	国際通り	3	1.7%
8	すべて	2	1.1%
8	ナゴパイナップルパーク	2	1.1%
8	ピオスの丘	2	1.1%
8	結婚式参列のため	2	1.1%
8	那覇市	2	1.1%

b. これまでの沖縄県への訪問回数 ※県外居住者のみ

○これまでの沖縄県への訪問回数は、「訪れたことはない/今回が初めて」が28.1%と最も多く、次いで「2～3回」23.4%、「6回以上」19.8%であった

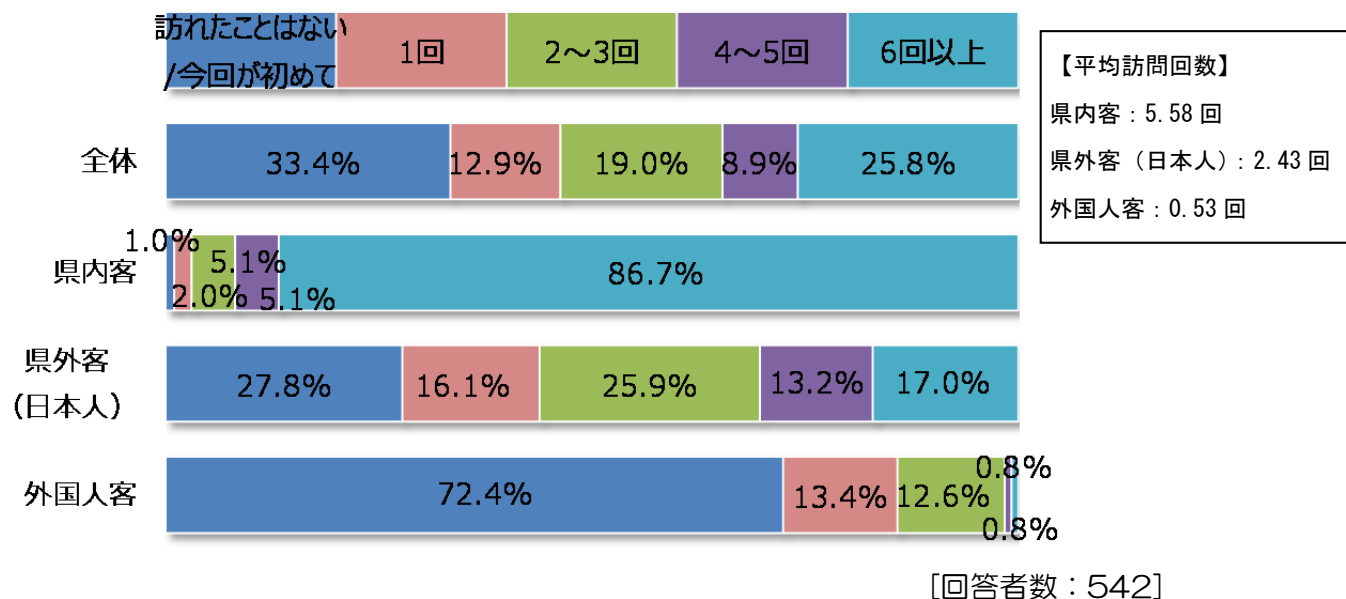
図表 19 これまでの沖縄県への訪問回数



c. これまでの名護市内への訪問回数

○これまでの名護市内への訪問回数は、「訪れたことはない/今回が初めて」が33.4%と最も多く、次いで「6回以上」25.8%、「2～3回」19.0%であった

図表 20 これまでの名護市内への訪問回数



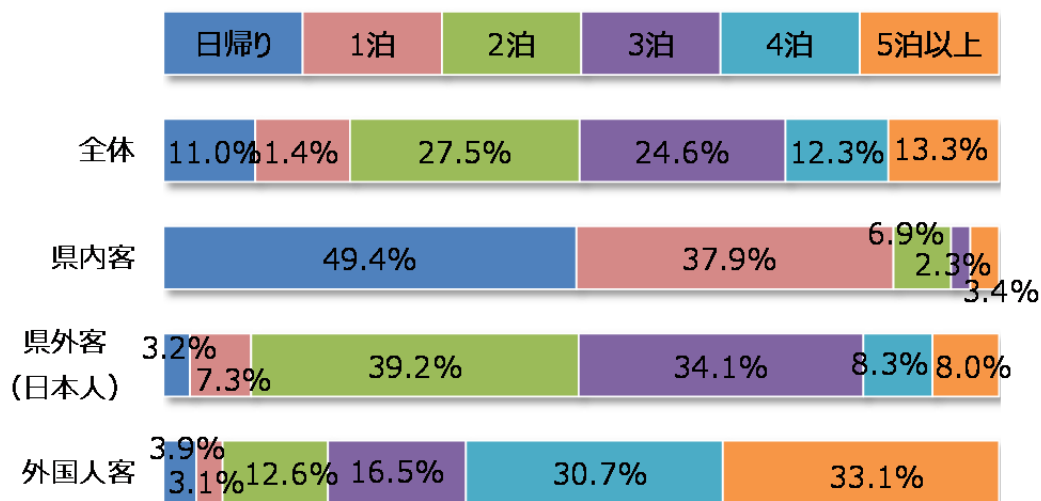
d. 旅行全体の行程（日数）と名護市内での滞在時間

○旅行全体の行程（日数）は、「2泊」が27.5%と最も多く、次いで「3泊」24.6%、「5泊以上」13.3%であった

○名護市内での滞在時間は、「数時間」が32.2%と最も多く、「日帰り（数時間＋（半日程度）」が56.5%と半数以上を占めている。

【旅行全体】

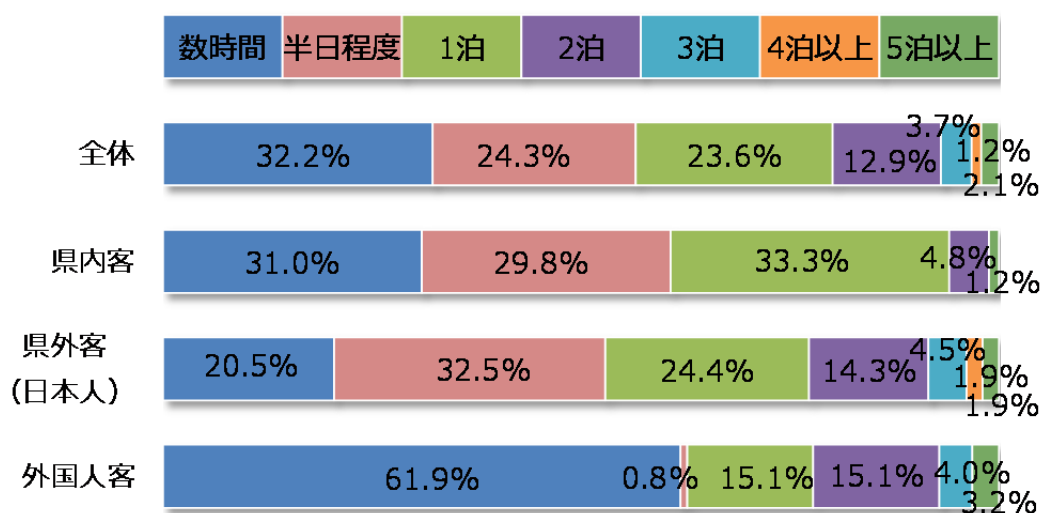
図表 2 1 旅行全体の行程（日数）



[回答者数：528]

【名護市内】

図表 2 2 名護市内での滞在時間



[回答者数：518]

e. 名護市内で宿泊した施設の名称

○名護市内で宿泊した施設の名称は、「ザ・ブセナテラス」が17件と最も多く、次いで「カヌチャベイホテル&ヴィラズ」が9件、「沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ」、「コージー」が6件であった

※本設問の集計では、主要観光施設アンケートの回答のみを集計対象としている（宿泊施設アンケートの回答は除外）

図表2-3 名護市内で宿泊した施設の名称

【全体】

順位	宿泊施設名	回答数
1	ザ・ブセナテラス	17
2	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	9
3	沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ	6
3	コージー	6
4	オキナワマリオットリゾート&スパ	5
4	センチュリオンホテルリゾート 沖縄名護シティ	5
5	ホテルゆがふいんおきなわ	4
6	ベストウェスタン沖縄幸喜ビーチ	3
7	CLASS INN 名護	2
7	ザ・テラスクラブアットブセナ	2
7	ルートイン名護	2
8	沖縄サンコーストホテル	1
8	喜瀬ビーチパレス	1
8	Air B&B（民泊）	1
8	アイノスヴィラノッツェ沖縄	1

【県内客】

順位	宿泊施設名	回答数
1	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	5
2	沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ	4
3	ザ・ブセナテラス	1

【県外客（日本人）】

順位	宿泊施設名	回答数
1	ザ・ブセナテラス	16
2	オキナワマリオットリゾート&スパ	5
3	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	4
3	ホテルゆがふいんおきなわ	4
4	CLASS INN 名護	2
4	ザ・テラスクラブアットブセナ	2
4	ルートイン名護	2
4	沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ	2
5	アイノスヴィラノッツェ沖縄	1
5	ベストウェスタン沖縄幸喜ビーチ	1
5	沖縄サンコーストホテル	1
5	喜瀬ビーチパレス	1

【外国人客】

順位	宿泊施設名	回答数
1	コージー	6
2	センチュリオンホテルリゾート 沖縄名護シティ	5
3	ベストウェスタン沖縄幸喜ビーチ	2
4	Air B&B（民泊）	1

f. 沖縄県内で宿泊した市町村

○沖縄県で宿泊した市町村は、「那覇市」が155件と最も多く、次いで「恩納村」96件、「名護市」が67件であった

図表2-4 沖縄県内で宿泊した市町村

【全体】

市町村	回答数
那覇市	155
恩納村	96
名護市	67
本部町	38
北谷町	28

【県内客】

市町村	回答数
恩納村	18
名護市	14
本部町	6
国頭村	3
那覇市	3

【県外客（日本人）】

市町村	回答数
那覇市	131
恩納村	64
名護市	38
北谷町	16
読谷村	10

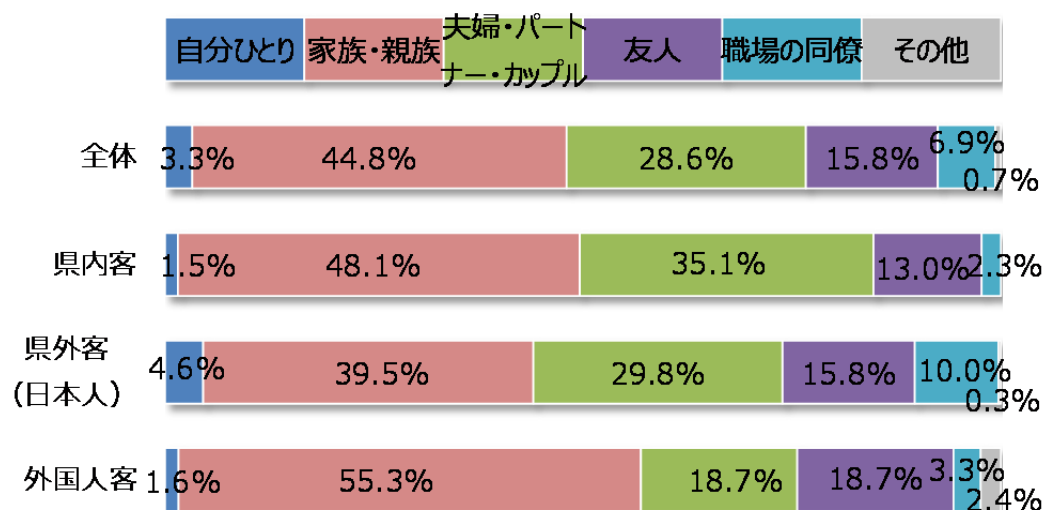
【外国人客】

市町村	回答数
本部町	23
那覇市	21
名護市	15
恩納村	14
北谷町	11

g. 同行者と人数

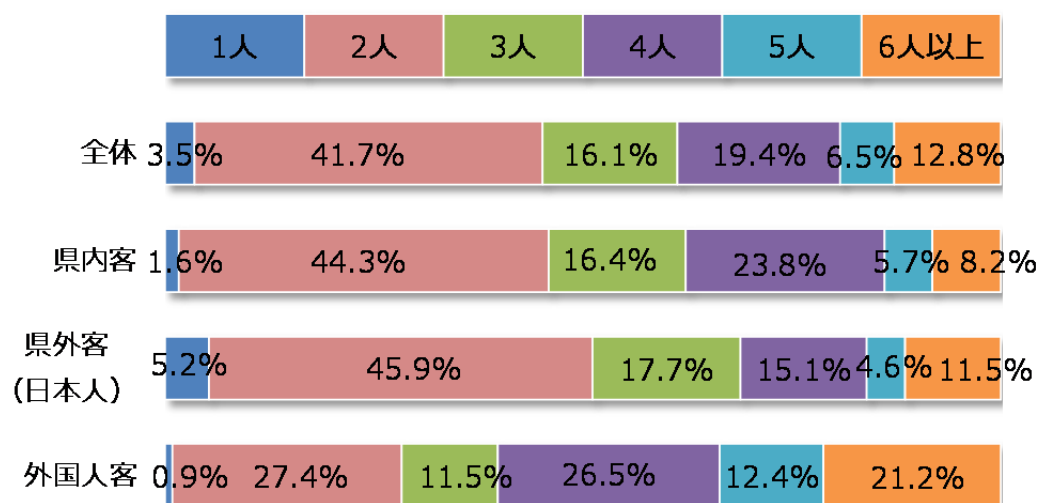
○同行者は、「家族・親族」が44.8%と最も多く、次いで「夫婦・パートナー・カップル」28.6%、「友人」15.8%であった
 ○人数は、「2人」が41.7%と最も多く、次いで「4人」19.4%、「3人」16.1%であった

図表 2 5 同行者の内訳



[回答者数：583]

図表 2 6 人数の内訳

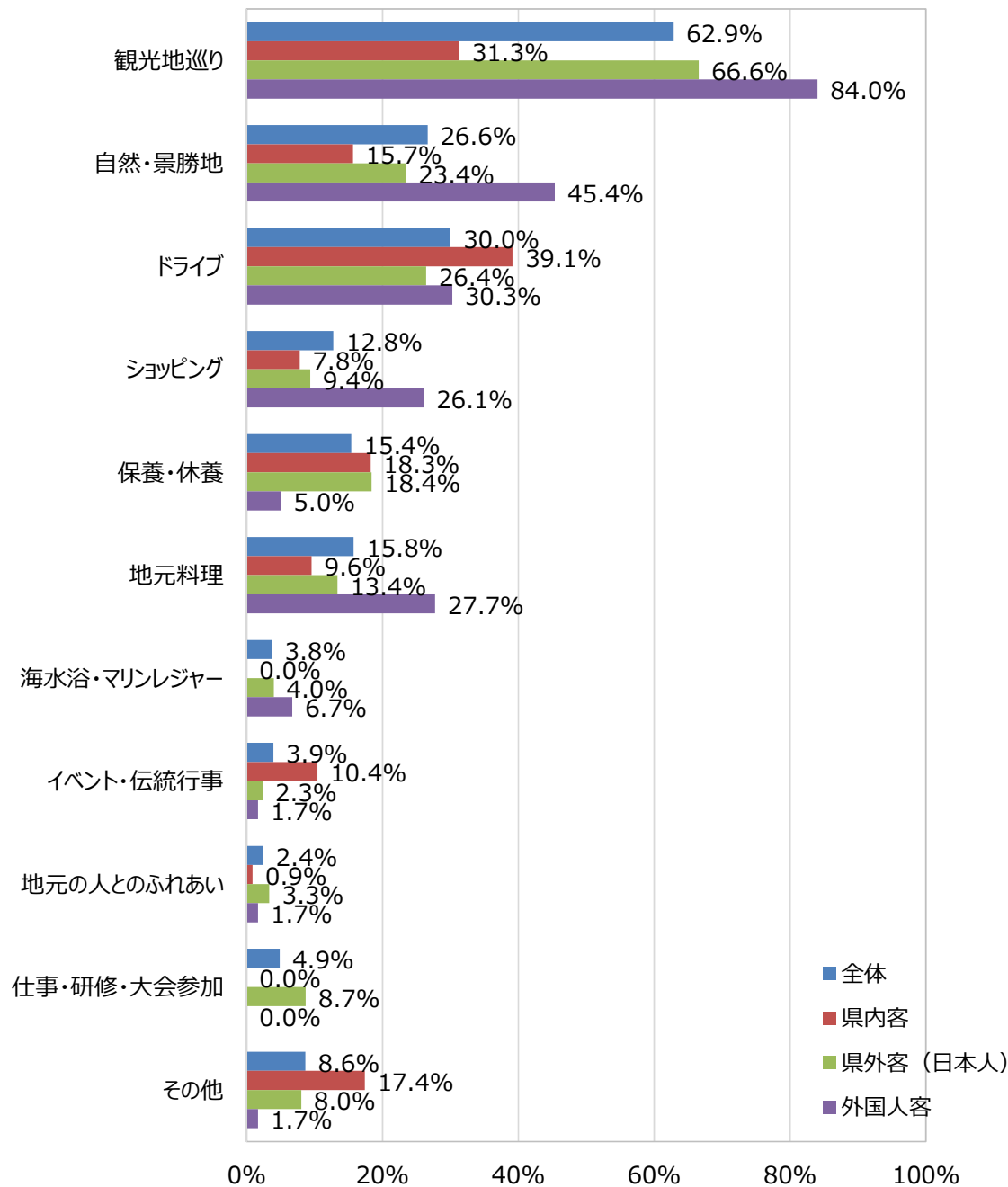


[回答者数：540]

h. 名護市内を訪れた理由

○名護市内を訪れた理由は、「観光地巡り」が 62.9%と最も多く、次いで「ドライブ」が 30.0%、「自然・景勝地」が 26.6%であった

図表 2 7 名護市内を訪れた理由



[回答者数：533]

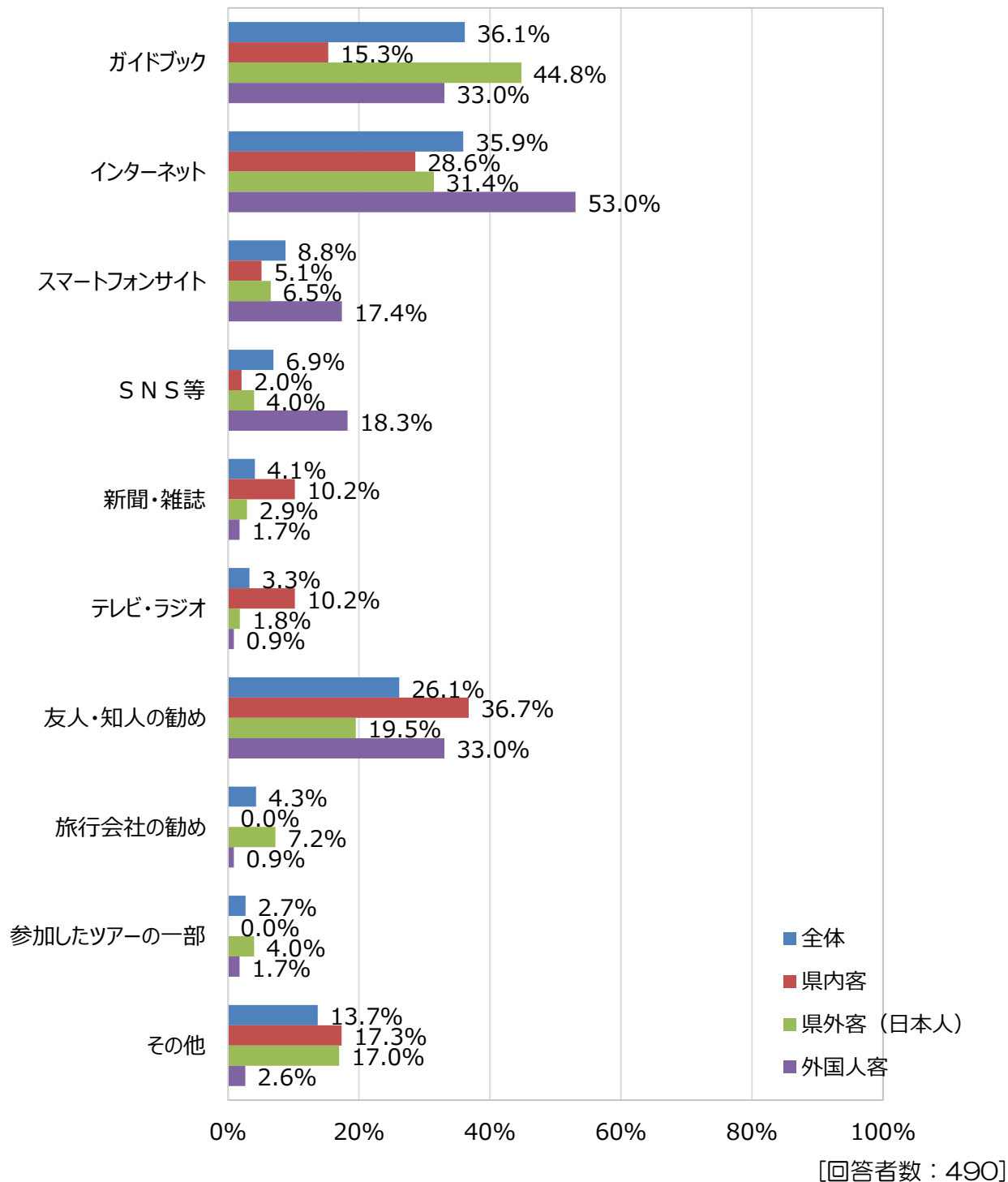
＜その他の回答＞

県内客	ネオパークオキナワ（2）、道の駅（2）、イルミネーション、クリスマスデート、サファリパーク、動物園、動物と触れ合いたくて、軽便鉄道に乗るため、ソーデーマーチ、のんびりする、北農祭、元職場の忘年会、友人と遊ぶため、実家、名護生まれなので
県外客（日本人）	ホテル（4）、バギー（3）、前回訪れて良かったので再訪（2）、ゴルフ（2）レジャー（2）、カヤック、道の駅、沖縄フルーツランド、やんばるアドベンチャー、自転車本島一周の途中、平和学習、楽しむため、トイレ、結婚式
外国人客	リラックス、友達の結婚式

i. 名護市を訪れるきっかけとなった情報源・媒体

○名護市を訪れるきっかけとなった情報源・媒体は、県外客（日本人）では「ガイドブック」が44.8%と最も多く、外国人客では、「インターネット」が53.0%であった

図表 2 8 名護市を訪れるきっかけとなった情報源・媒体



<情報源・媒体の具体名>

【日本人客】

インターネット	じゃらん（４）、ちゅら得（３）、Yahoo（２）、YouTube（２）、 ハイサイ探偵団（２）、ホテルのサイト（２）、google、沖縄ヤンバルクイナ、 「沖縄、鳥、ヤンバルクイナ」で検索した、沖縄旅行で検索、楽天トラベル ガイドブック記載事項を調べた、ネオパークのホームページ、るるぶ、 観光地サイト、サファリパーク、まっぷるリンク、道の駅検索
スマートフォン サイト	google（２）、google map、観光地サイト、沖縄旅行で検索、 リゾートホテル、それぞれの場所などを検索する、 ガイドブック記載事項を調べた
SNS等	Instagram（４）、Twitter（２）
新聞・雑誌	ほーむぷらざ（２）、まっぷる、レキオ、るるぶ、むすびタウン、 おきなわくらぶ
テレビ・ラジオ	CM（２）、ニュース
その他	以前にも来たことがある（９）、仕事（８）、ドライブ中に立ち寄り（４）、 美ら海水族館に行く途中（２）、なりゆき（２）、ホテル（２）、 住んでいるから（２）、古宇利島へのアクセス途中でもあり名護市を選んだ、 美ら海水族館の近くで宿泊施設を探していた、動物園が孫が大好きだから、 JAL パックで申し込んで、おっぱアイス・コーヒージェラード・てんぷら、 妹が行きたいということで。子供達に鳥を見せたい、女房の友人、 ２人でブラブラ旅行きまま旅、冬休みと仕事で連休取れたので遊びに、 マイレージがたまったので、楽天トラベル、旅行パンフレット、学校、 息子が学生時代ゼミで夏休み毎年沖縄に行き名護が自然が多くて良いと、 結婚式、進学、安室ちゃんのファン

【外国人客】

インターネット	Naver（８）、google（６）、Facebook（３）、google map（２）、 PANTIP.COM（２）、ビジットオキナワジャパン（２）、バックパッカー台 湾、Ctrip（オンライン旅行会社）、Instagram、Mafengwo.com、pinterest、 Yahoo、じゃらんネット、台湾Blog、チェジュ航空
スマートフォン サイト	Facebook（２）、google、Naver、ブログ
SNS等	Facebook（８）、Instagram（３）、YouTube（２）
新聞・雑誌	—
テレビ・ラジオ	—
その他	Tripadvisar

j. 名護市内で訪れた（これから訪れる）場所

○名護市内で訪れた（これから訪れる）場所は、「やんばる物産センター（道の駅「許田」）」が49.7%と最も多く、次いで「ネオパークオキナワ」29.1%、「ナゴパイナップルパーク」23.5%であった。観光場所については、旅行途中で決める割合が高い

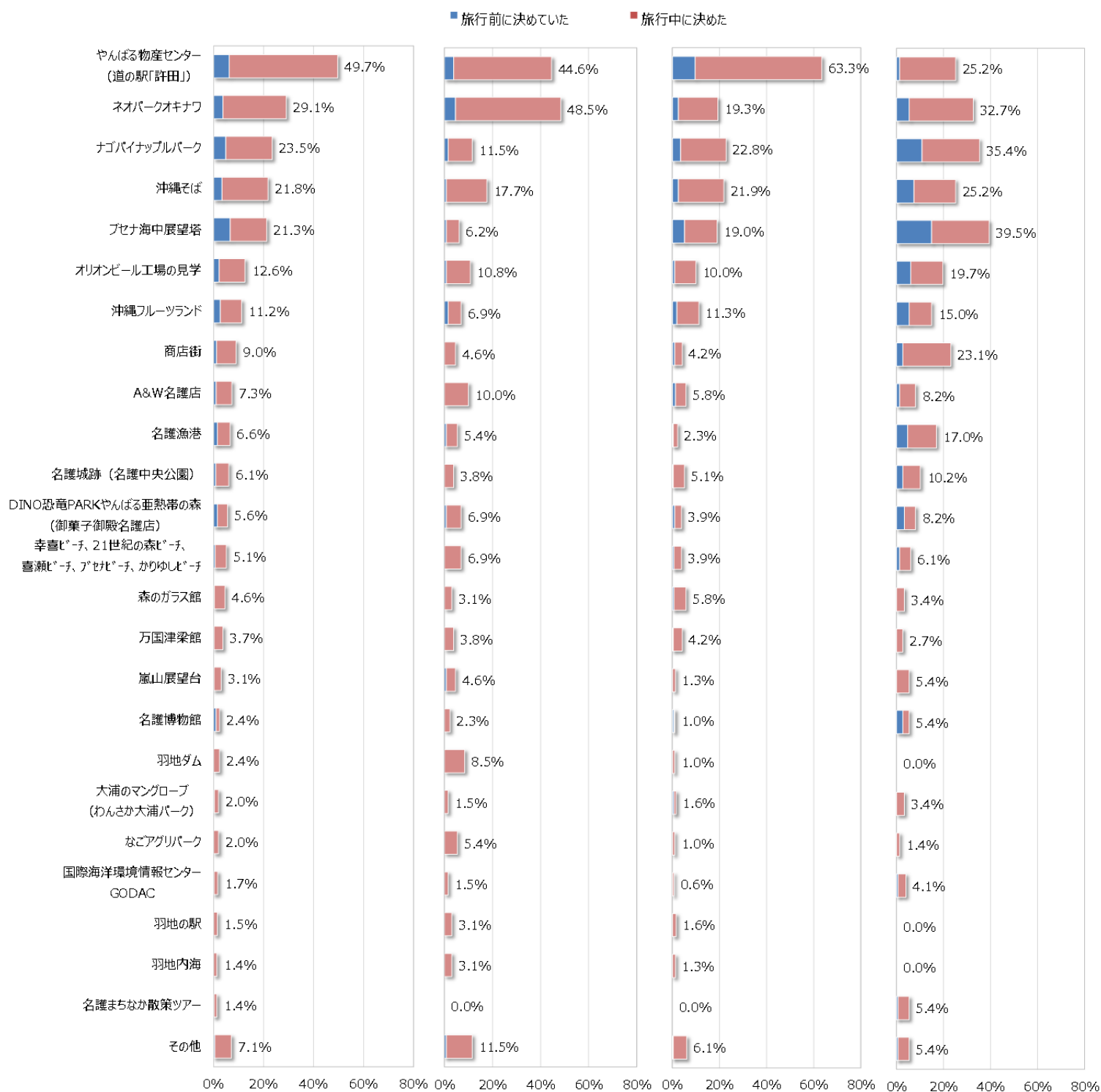
図表 2 9 名護市内で訪れた（これから訪れる）場所

【全体】

【県内客】

【県外客（日本人）】

【外国人客】



【回答者数：588】

【回答者数：130】

【回答者数：311】

【回答者数：147】

＜その他の回答＞

県内客	美ら海水族館（４）、名護市庁舎（３）、大浦湾（３）、 沖縄シーサー作り体験（３）、ひんぷんガジュマル（３）、カヌチャ（３）、 ヘリオス酒造の見学（２）、轟の滝（２）、OKINAWA ゴーヤーパーク（２）、 嘉津宇岳・古巣岳・名護岳（２）、名護城（２）、屋部の久護家、 津嘉山酒造所、あぐー村、えびす、キャプテンカンガルー、 古宇利島ツーリング、くら寿司、焼肉我那覇 本店
県外客（日本人）	沖縄シーサー作り体験（７）、ひんぷんガジュマル（６）、名護市庁舎（４）、 どきどきヤンバルランチ（４）、ヘリオス酒造の見学（３）、大浦湾（３）、 轟の滝（２）、OKINAWA ゴーヤーパーク（２）、美ら海水族館（２）、 未定（２）、津嘉山酒造所、ジャングルの沢歩きツアー、 嘉津宇岳・古巣岳・名護岳、屋部の久護家、ホテル、ブセナテラス、 カヌチャリゾート、ディナークルーズ、シーサー作り、釣り、 シュノーケル、イオン名護、ドライブ、アイネスヴィラノッツェ沖縄、 大家、雨のため予定変更、お天気が良ければ行きたかった
外国人客	轟の滝（３）、OKINAWA ゴーヤーパーク（３）、大浦湾（３）、動植物園（３）、 沖縄シーサー作り体験（２）、ヘリオス酒造の見学、名護市庁舎、 嘉津宇岳・古巣岳・名護岳、ひんぷんガジュマル、屋部の久護家、 美ら海水族館、辺戸岬、イオン、名護市以外の場所へ行った（古宇利大橋、 オーシャンタワー、農園、喫茶店）

k. 名護市の『前』に訪れた場所（地名や具体的な施設名）、名護市の『後』に訪れる予定の場所

○名護市の『前』に訪れた場所は、「那覇市」が65件と最も多く、次いで「美ら海水族館」33件、「国際通り」28件であった

○名護市の『後』に訪れる予定の場所は、「那覇市」が61件と最も多く、次いで「美ら海水族館」49件、「国際通り」17件であった

※名護市の『前』に訪れた場所、名護市の『後』に訪れる予定の場所、いずれかの上位3カ所に着色

図表30 名護市の『前』に訪れた場所（地名や具体的な施設名）、
名護市の『後』に訪れる予定の場所

【全体：名護市の『前』に訪れた場所】

順位	名護市の『前』に訪れた場所	数	構成比
1	那覇市	65	17.6%
2	美ら海水族館	33	8.9%
3	国際通り	28	7.6%
4	恩納村	24	6.5%
5	おきなわワールド	14	3.8%
5	本部町	14	3.8%
6	首里城	12	3.2%
7	アメリカンビレッジ	11	3.0%
7	古宇利島	11	3.0%
8	沖縄市	7	1.9%

【全体：名護市の『後』に訪れる予定の場所】

順位	名護市の『後』に訪れる予定の場所	数	構成比
1	那覇市	61	17.4%
2	美ら海水族館	49	14.0%
3	国際通り	17	4.9%
4	恩納村	16	4.6%
5	本部町	14	4.0%
6	アメリカンビレッジ	13	3.7%
6	古宇利島	13	3.7%
6	首里城	13	3.7%
7	北谷町	12	3.4%
8	南城市	8	2.3%

【県内容：名護市の『前』に訪れた場所】

順位	名護市の『前』に訪れた場所	数	構成比
1	恩納村	11	22.0%
2	那覇市	6	12.0%
2	本部町	6	12.0%
3	OIST	3	6.0%
4	シーサイドレストラン	2	4.0%
4	伊江島	2	4.0%
4	宜野座村	2	4.0%
4	今帰仁村	2	4.0%
4	道の駅かでな	2	4.0%
4	読谷村	2	4.0%
4	美ら海水族館	2	4.0%
5	オクマビーチ	1	2.0%
5	おんなの駅	1	2.0%
5	ネオパークオキナワ	1	2.0%
5	ヤンバルクイナ生態展示学習施設	1	2.0%
5	奥間	1	2.0%
5	沖縄市	1	2.0%
5	嘉手納町	1	2.0%
5	国頭村	1	2.0%
5	首里城	1	2.0%
5	中城村	1	2.0%

【県内容：名護市の『後』に訪れる予定の場所】

順位	名護市の『後』に訪れる予定の場所	数	構成比
1	恩納村	6	11.5%
1	那覇市	6	11.5%
1	本部町	6	11.5%
2	ライカム	4	7.7%
2	今帰仁村	4	7.7%
3	うるま市	2	3.8%
3	奥間	2	3.8%
3	図書館	2	3.8%
3	大石林山	2	3.8%
3	南城市	2	3.8%
3	北谷町	2	3.8%
4	アメリカンビレッジ	1	1.9%
4	こどもの国	1	1.9%
4	ミニミニ動物園	1	1.9%
4	奥	1	1.9%
4	宜野座	1	1.9%
4	宜野座村道の駅	1	1.9%
4	古宇利島	1	1.9%
4	国頭村	1	1.9%
4	国際通り	1	1.9%
4	新都心	1	1.9%
4	美ら海水族館	1	1.9%
4	大宜味村	1	1.9%
4	本部方面	1	1.9%
4	今帰仁村の元湧川小学校の食堂	1	1.9%

【県外客：名護市の『前』に訪れた場所】

順位	名護市の『前』に訪れた場所	数	構成比
1	那覇市	39	15.4%
2	美ら海水族館	27	10.7%
3	国際通り	19	7.5%
4	おきなわワールド	14	5.5%
5	恩納村	10	4.0%
5	首里城	10	4.0%
6	古宇利島	8	3.2%
7	アメリカンビレッジ	6	2.4%
7	ひめゆりの塔	6	2.4%
7	本部町	6	2.4%
8	浦添市	4	1.6%
8	那覇基地	4	1.6%
8	那覇空港	4	1.6%

【県外客：名護市の『後』に訪れる予定の場所】

順位	名護市の『後』に訪れる予定の場所	数	構成比
1	美ら海水族館	43	18.6%
2	那覇市	35	15.2%
3	国際通り	13	5.6%
4	首里城	11	4.8%
5	古宇利島	10	4.3%
6	恩納村	9	3.9%
7	アメリカンビレッジ	7	3.0%
7	本部町	7	3.0%
8	北谷町	6	2.6%

【外国人：名護市の『前』に訪れた場所】

順位	名護市の『前』に訪れた場所	数	構成比
1	那覇市	20	29.9%
2	国際通り	9	13.4%
3	アメリカンビレッジ	5	7.5%
3	海洋博公園	5	7.5%
4	沖縄市	4	6.0%
4	美ら海水族館	4	6.0%
5	恩納村	3	4.5%
5	古宇利島	3	4.5%
6	那覇空港	2	3.0%
6	備瀬ビーチ	2	3.0%
6	北谷町	2	3.0%
6	本部町	2	3.0%
6	万座毛	2	3.0%
7	玉泉洞	1	1.5%
7	国頭村	1	1.5%
7	首里城	1	1.5%
7	石垣市	1	1.5%

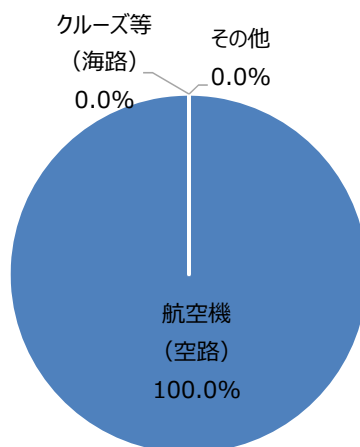
【外国人：名護市の『後』に訪れる予定の場所】

順位	名護市の『後』に訪れる予定の場所	数	構成比
1	那覇市	20	29.9%
2	万座毛	6	9.0%
3	アメリカンビレッジ	5	7.5%
3	美ら海水族館	5	7.5%
4	北谷町	4	6.0%
5	沖縄市	3	4.5%
5	海洋博公園	3	4.5%
5	国際通り	3	4.5%
6	古宇利大橋	2	3.0%
6	古宇利島	2	3.0%
6	首里城	2	3.0%
6	南城市	2	3.0%
7	うるま市	1	1.5%
7	ぬちまーす工場	1	1.5%
7	恩納村	1	1.5%
7	台湾	1	1.5%
7	中部	1	1.5%
7	那覇航空自衛隊	1	1.5%
7	波之上宮	1	1.5%
7	本部町	1	1.5%
7	琉球村	1	1.5%

l. 沖縄県を訪れる際に使用した移動手段 ※県外居住者のみ

○沖縄県を訪れる際に使用した移動手段は、全て「航空機（空路）」であった

図表 3 1 沖縄県を訪れる際に使用した移動手段



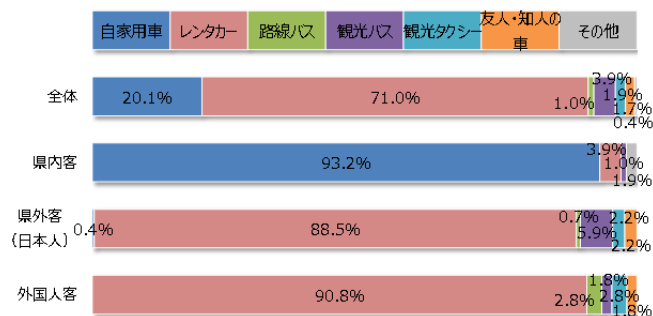
[回答者数：370]

m. 名護市を訪れる際に使用した移動手段、名護市内での移動に使用した手段

○名護市を訪れる際に使用した移動手段は、「レンタカー」が 71.0%と最も多く、次いで「自家用車」20.1%であった

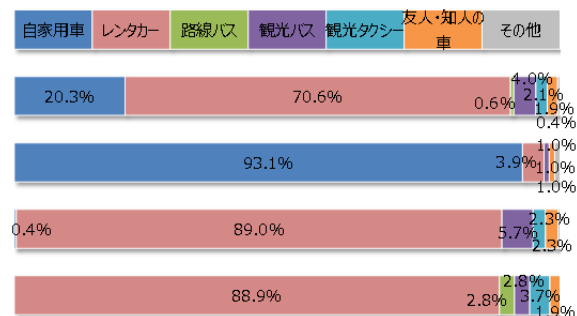
○名護市内での移動手段は、「レンタカー」が 70.6%と最も多く、次いで「自家用車」20.3%であった

図表 3 2 名護市までの移動手段



[回答者数：482]

図表 3 3 名護市内での移動手段



[回答者数：473]

<その他の回答>

バイク

③今回の旅行における消費行動

a. 名護市滞在中の消費額

○県外客（日本人）の消費額が、県内客、外国人客に比べて大きい
 ○名護市における「お土産・買い物」の消費額の割合は、県内消費額の内訳に比べて小さい

図表 3 4 名護市滞在中の消費額

【全体】

項目	平均金額（円）	名護市旅行全体に対する割合	中央値（円）	「0円」と回答した人数
名護市内消費額計	14,939※	—	5,375	—
交通費	1,879	12.6%	0	175/316
飲食代	3,303	22.1%	1,000	53/316
お土産・買い物	1,768	11.8%	507	124/316
レジャー・体験	1,114	7.5%	0	178/316
宿泊	6,431	43.0%	0	178/316
その他	414	2.8%	0	267/316

※アンケートの回答結果の集計値のため下欄の合計とは誤差がある。[回答者数：316]

【県内客】

項目	平均金額（円）	名護市旅行全体に対する割合	中央値（円）	「0円」と回答した人数
名護市内消費額計	6,169	—	2,500	—
交通費	355	5.7%	0	40/67
飲食代	1,541	25.0%	1,000	12/67
お土産・買い物	967	15.7%	0	41/67
レジャー・体験	362	5.9%	0	46/67
宿泊	2,831	45.9%	0	44/67
その他	113	1.8%	0	58/67

[回答者数：67]

【県外客（日本人）】

項目	平均金額（円）	名護市旅行全体に対する割合	中央値（円）	「0円」と回答した人数	参考値：沖縄県（円）	参考値：沖縄県（割合）
名護市内消費額計	18,196※	—	4,700	—	72,284	—
交通費	2,375	13.1%	0	110/166	10,376	14.4%
飲食代	3,744	20.6%	833	35/166	15,769	21.8%
お土産・買い物	1,471	8.1%	688	61/166	13,821	19.1%
レジャー・体験	1,423	7.8%	0	97/166	7,104	9.8%
宿泊	8,640	47.5%	0	104/166	23,934	33.1%
その他	482	2.7%	0	144/166	1,279	1.8%

※アンケートの回答結果の集計値のため下欄の合計とは誤差がある。[回答者数：166]

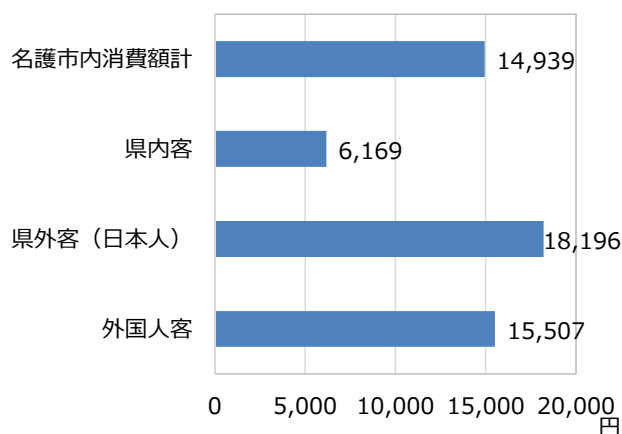
【外国人客】

項目	平均金額（円）	名護市旅行全体に対する割合	中央値（円）	「0円」と回答した人数	参考値：沖縄県（円）	参考値：沖縄県（割合）
名護市内消費額計	15,507	—	10,400	—	100,265	—
交通費	2,117	13.7%	750	25/83	11,750	11.7%
飲食代	3,841	24.8%	2,500	6/83	20,157	20.1%
お土産・買い物	3,008	19.4%	1,250	22/83	29,805	29.7%
レジャー・体験	1,103	7.1%	333	35/83	6,000	6.0%
宿泊	4,918	31.7%	2,000	30/83	28,525	28.4%
その他	520	3.4%	0	65/83	4,027	4.0%

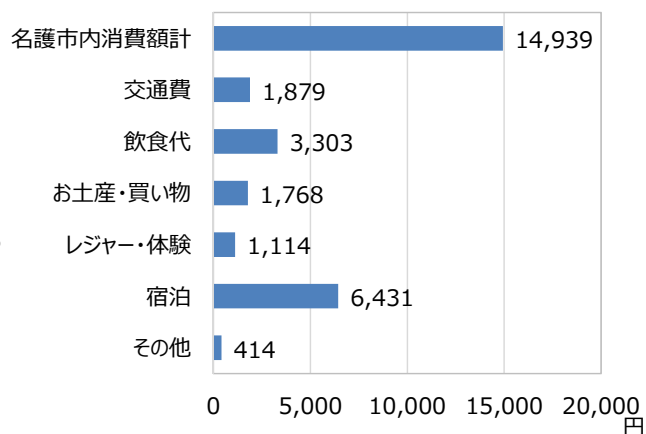
※参考値は外国人客（空路）

[回答者数：83]

図表 3 5 属性別消費額



図表 3 6 名護市内消費内容別内訳

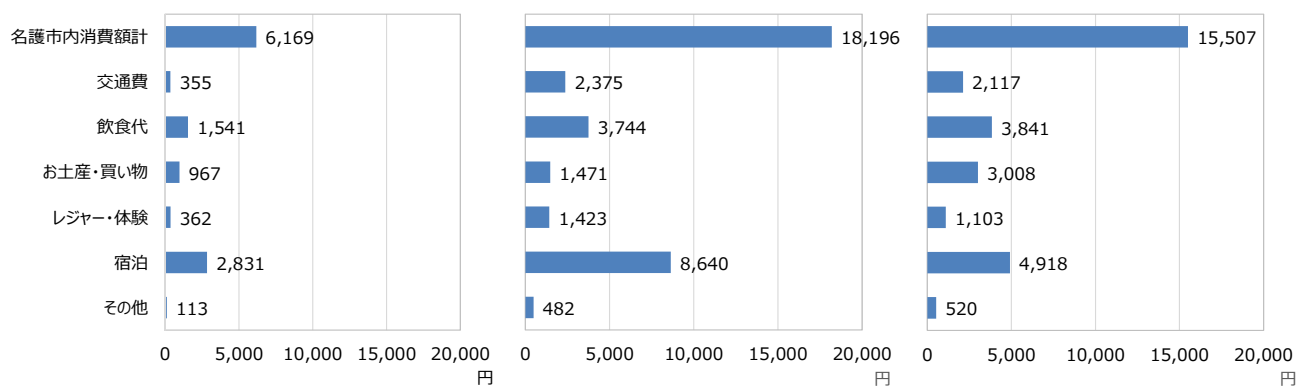


【県内客】

【県外客 (日本人)】

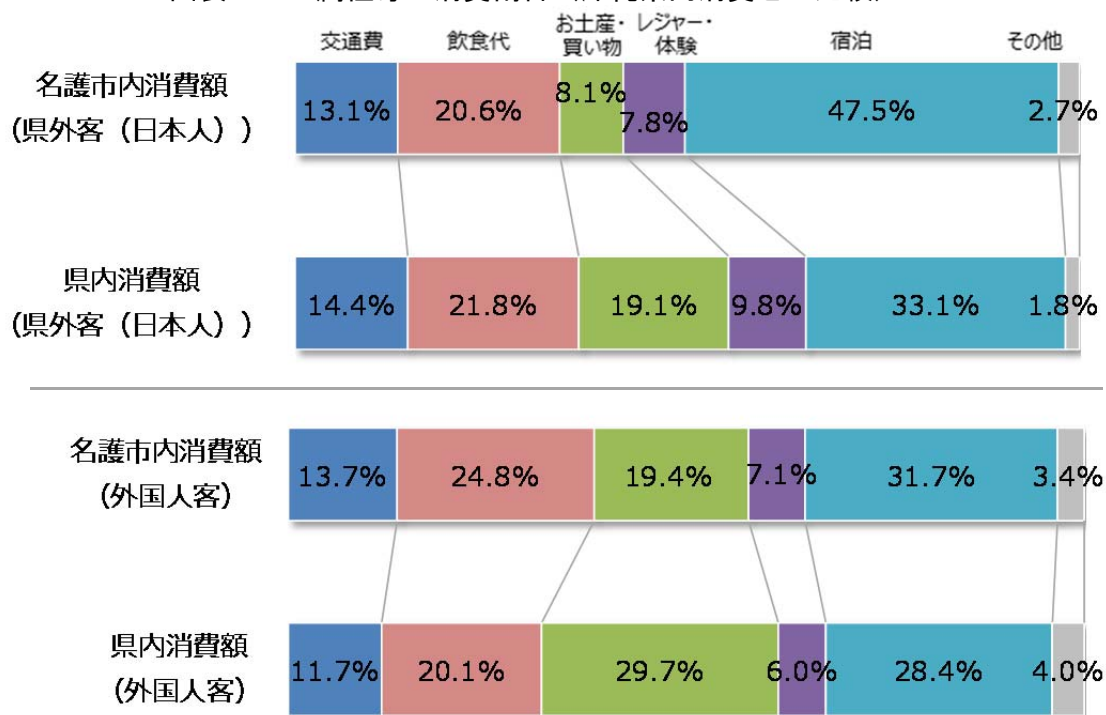
【外国人客】

図表 3 7 属性別名護市内消費内容別内訳



【参考】属性毎の消費割合 (沖縄県内消費との比較)

図表 3 8 属性毎の消費割合 (沖縄県内消費との比較)



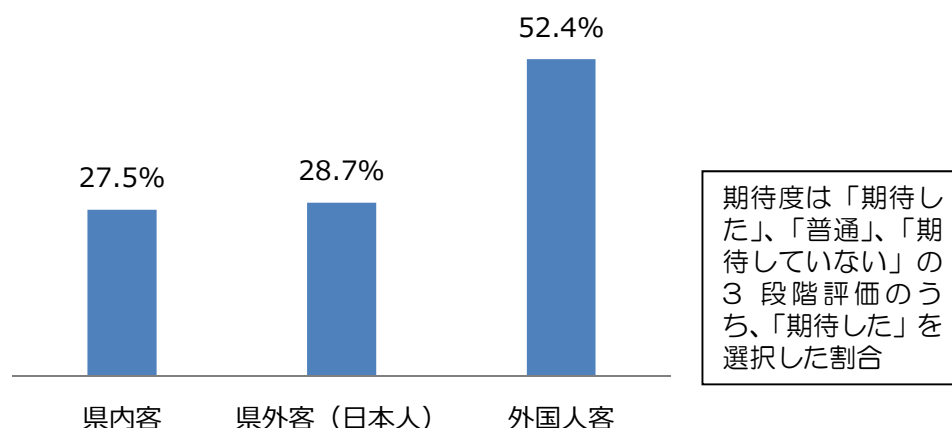
④名護市の評価

a. 名護市滞在の旅行前の期待度と満足度

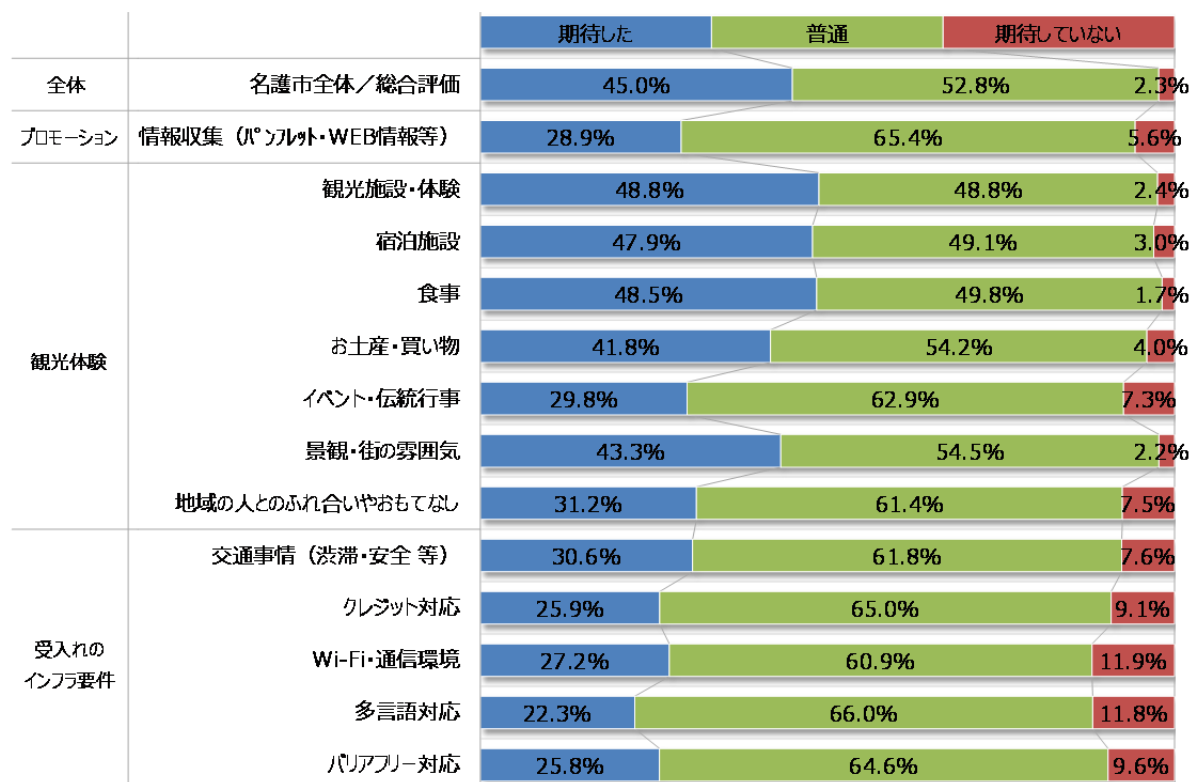
- 期待度の平均は、外国人客（52.4%）が高く、県内客（27.5%）が低い
 ○満足度の平均は、外国人客（84.9%）が高く、県外客（日本人）（65.1%）が低い

※期待度は全体に占める「期待した」の割合について、設問項目の平均値を算出。
 満足度は全体に占める「大変満足」、「やや満足」の割合について、設問項目の平均値を算出。

図表 3 9 名護市滞在の旅行前の期待度の割合（平均）

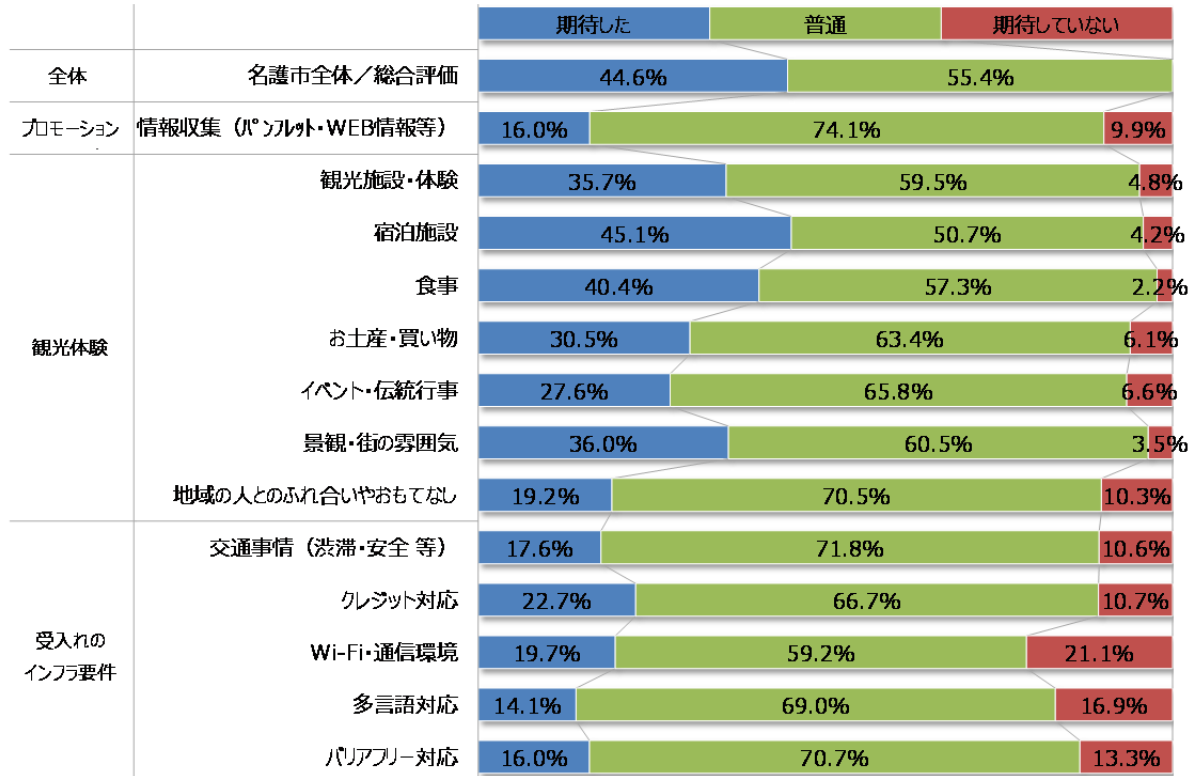


図表 4 0 名護市滞在の旅行前の期待度（全体）



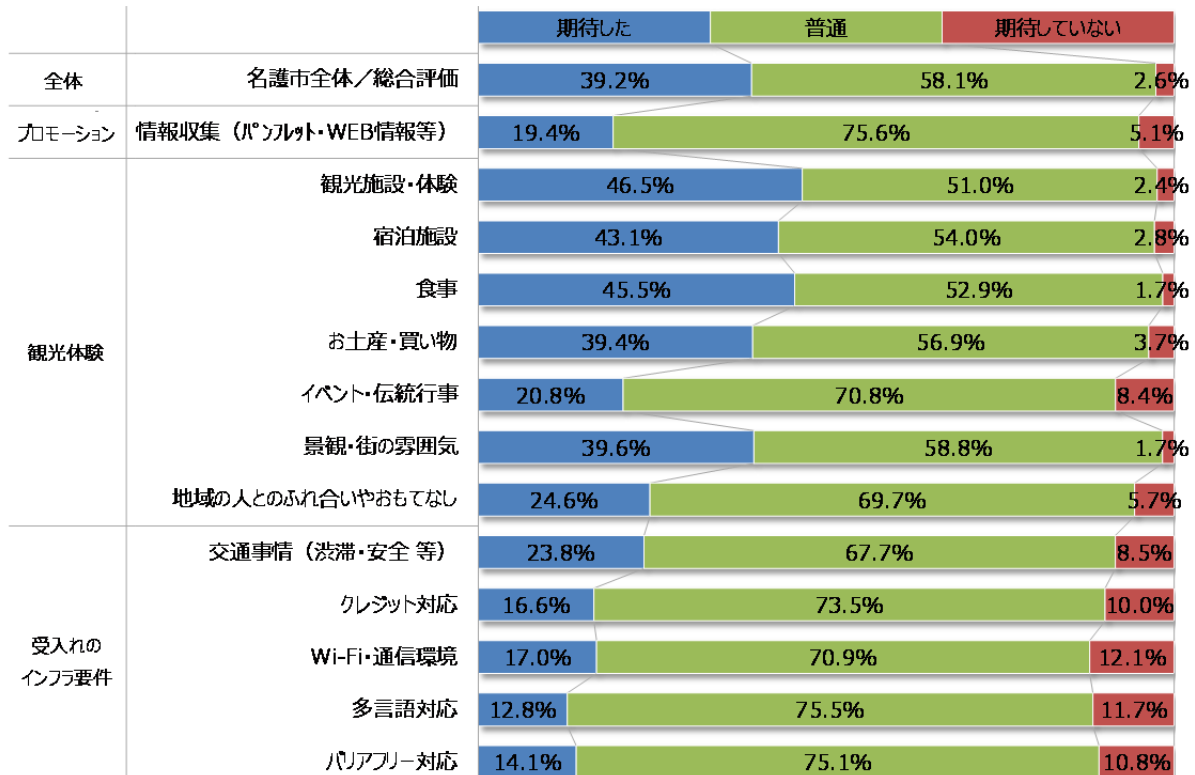
[回答者数：530]

図表 4 1 名護市滞在の旅行前の期待度（県内客）



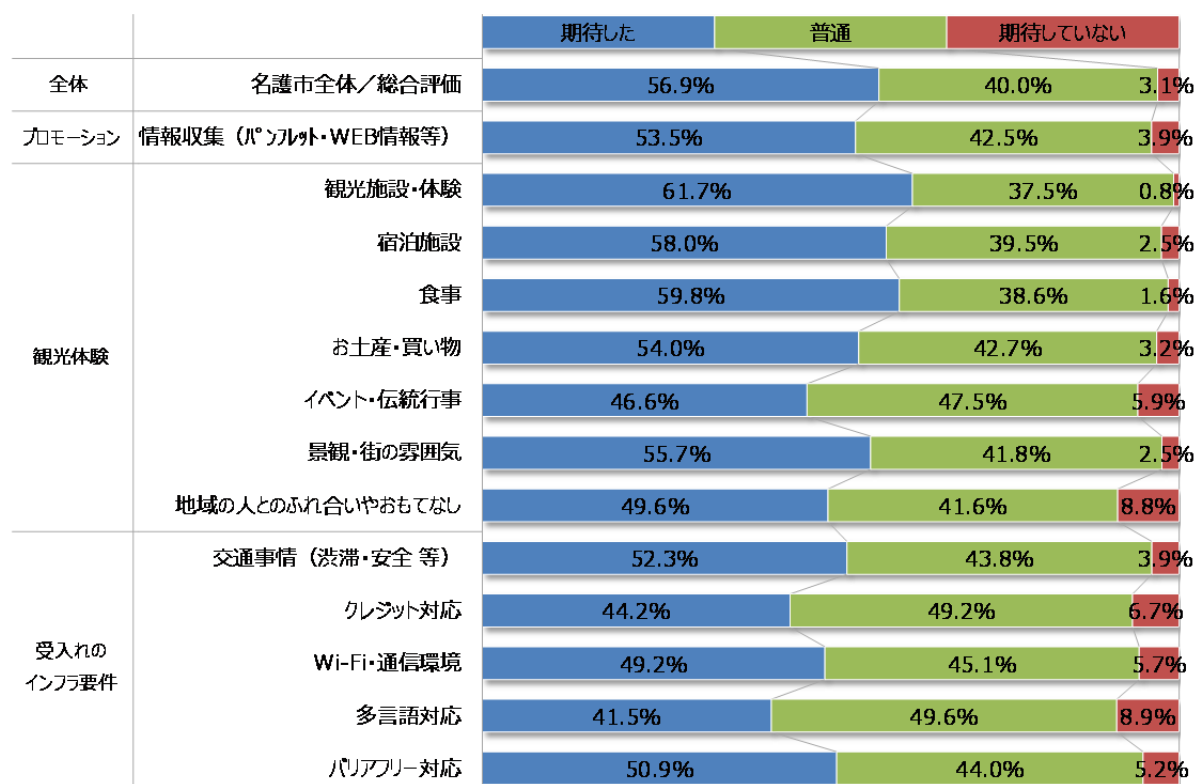
[回答者数：103]

図表 4 2 名護市滞在の旅行前の期待度（県外客（日本人））



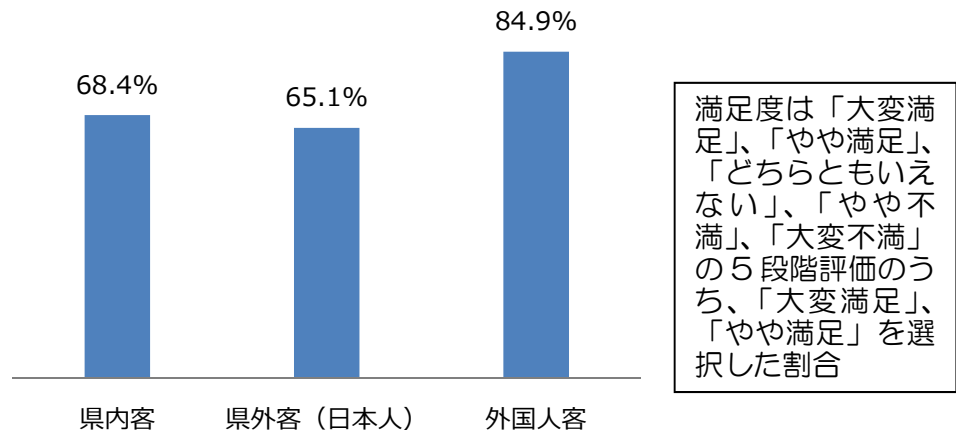
[回答者数：293]

図表 4 3 名護市滞在の旅行前の期待度（外国人客）

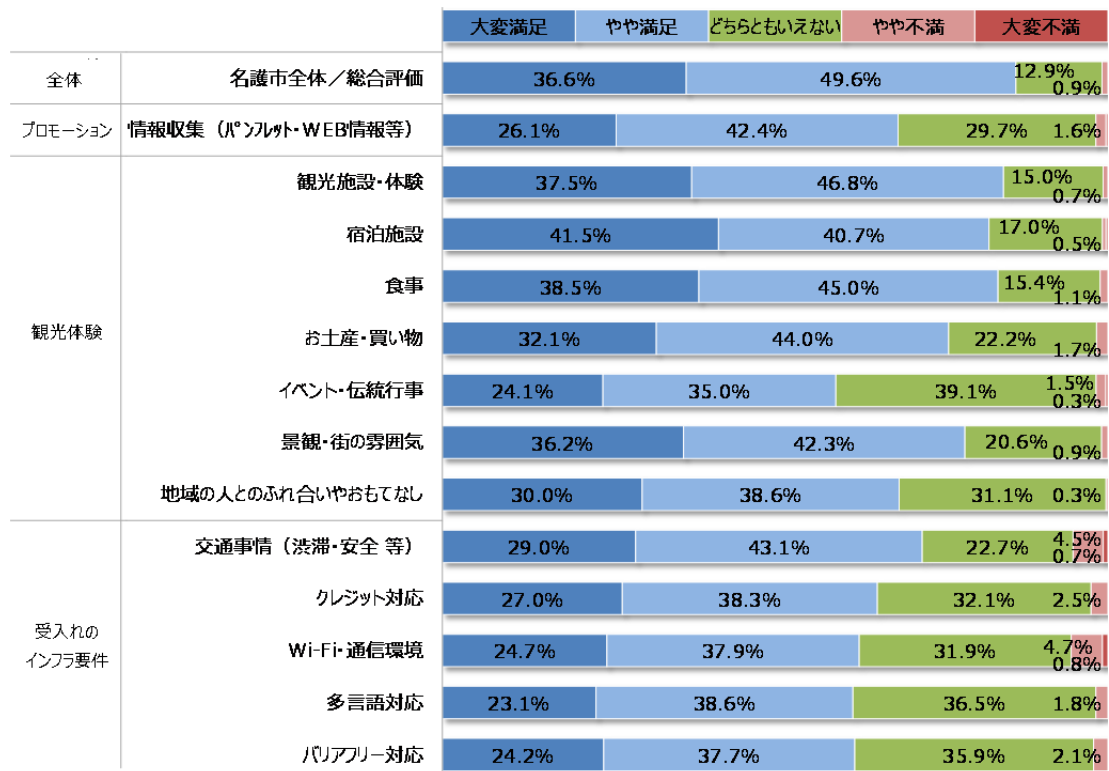


[回答者数：134]

図表 4 4 名護市滞在の満足度の割合（平均）

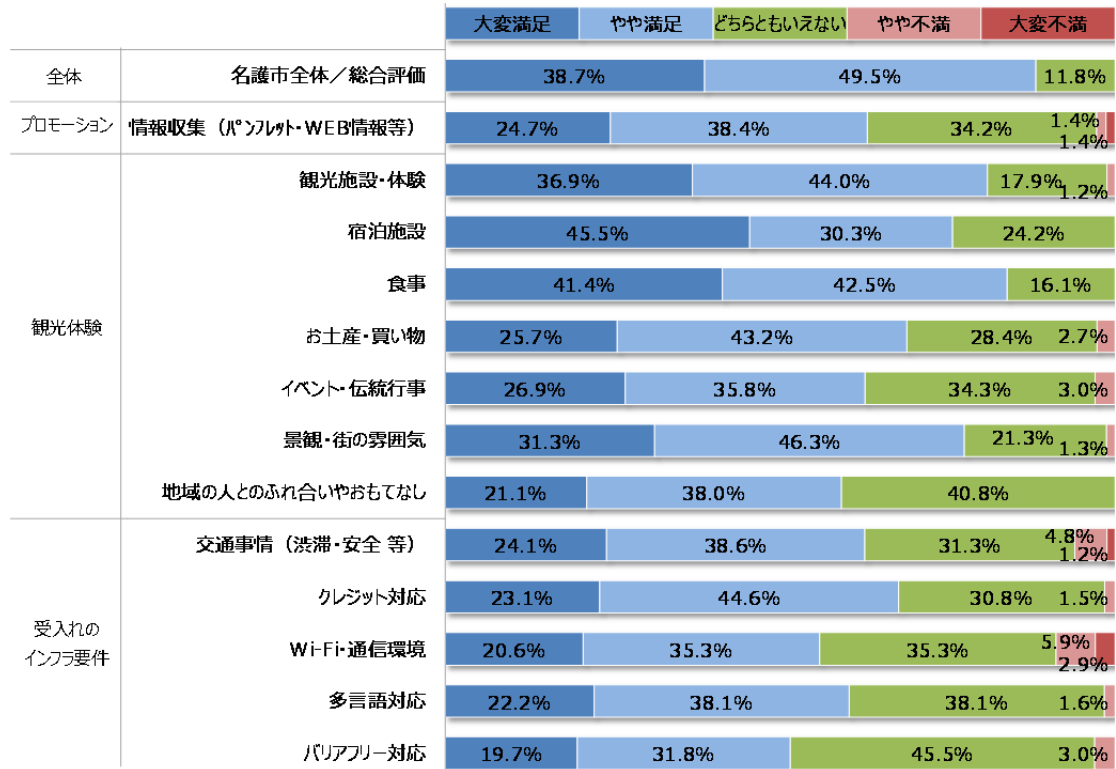


図表 4 5 名護市滞在の満足度（全体）



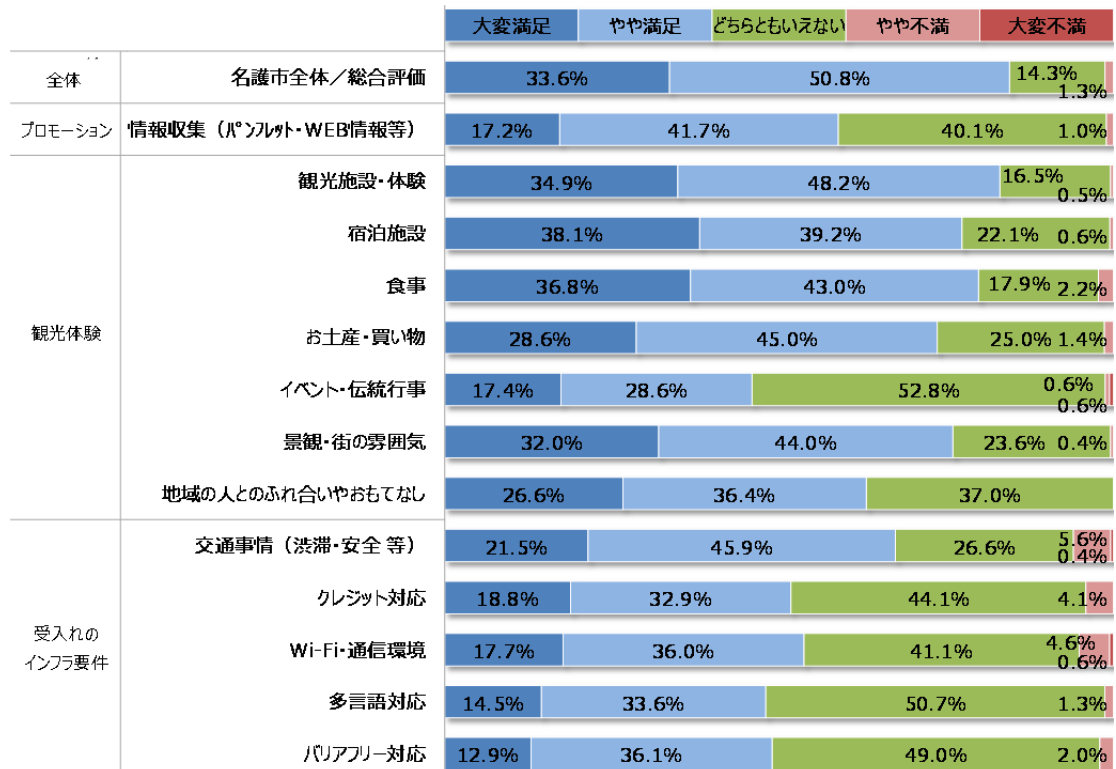
[回答者数：543]

図表 4 6 名護市滞在の満足度（県内容）



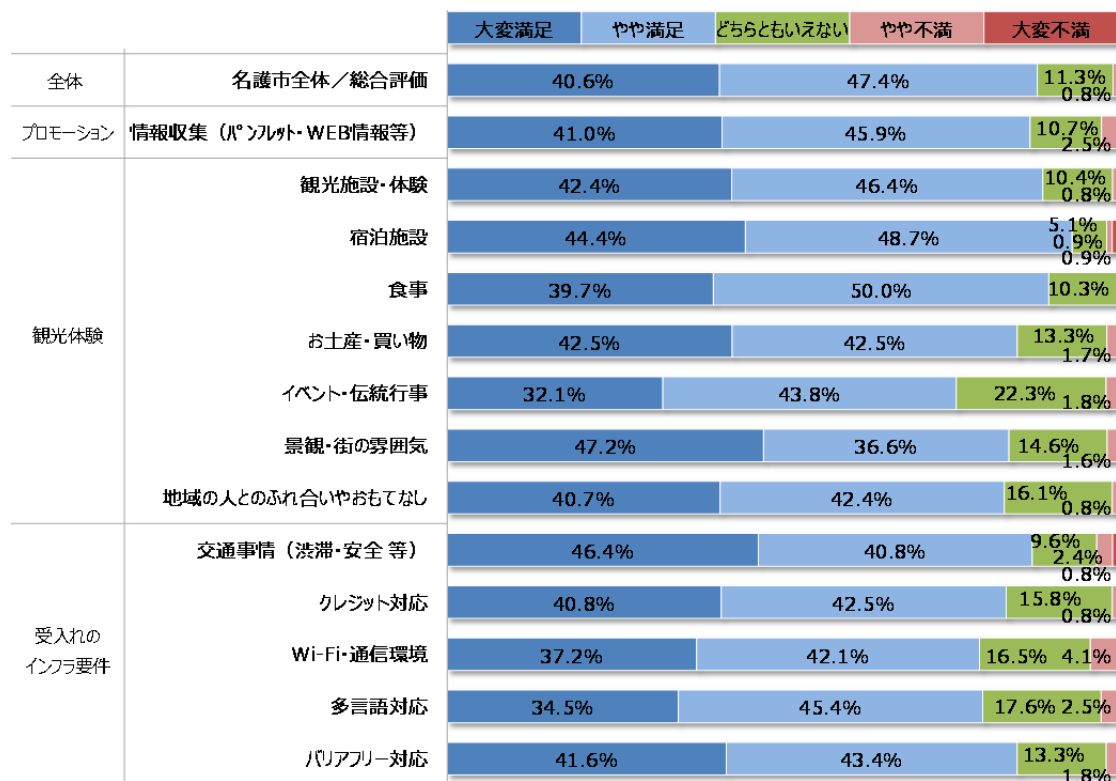
[回答者数：112]

図表 4 7 名護市滞在の満足度（県外客（日本人））



[回答者数：293]

図表４８ 名護市滞在の満足度（外国人客）

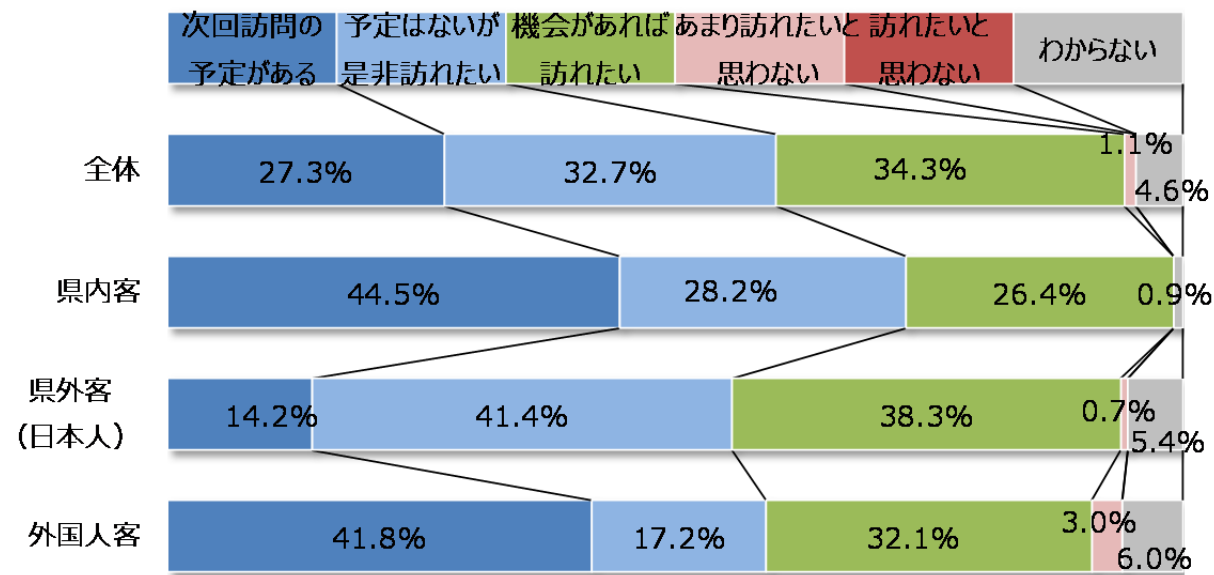


[回答者数：138]

b. 名護市への再訪意欲

○名護市への再訪意欲は、「機会があれば訪れたい」が 34.3%と最も多く、次いで「予定はないが是非訪れたい」が 32.7%、「次回訪問の予定がある」が 27.3%となっている

図表 4 9 名護市への再訪意欲



[回答者数：539]

c. 再訪意欲の具体的な理由 ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

【県内客】

再訪意欲	意見の内容
次回訪問の予定がある	<目的> ・カヌチャ（2） <動機> ・北部の雰囲気が好き ・定期的に観光している
予定はないが是非訪れたい	<目的> ・ドライブ（2） <動機> ・自然が豊か（3） ・マリン体験等もやってみたい ・癒される（2）
機会があれば訪れたい	<目的> ・海 ・森が良い <動機> ・自然、海と山が素晴らしい ・食事や海など行きたい

※「あまり訪れたいとは思わない」、「訪れたいと思わない」、「わからない」は回答なし

【県外客（日本人）】

再訪意欲	意見の内容
次回訪問の予定がある	<目的> ・ダイビング <動機> ・立ち寄れなかった場所があるから（２） ・ネオパークオキナワに行きたい
予定はないが是非訪れたい	<目的> ・悪天候でグラスボートに乗れなかったので、次回は乗りたい（２） ・季節的にマリンスポーツは厳しかったので再度チャレンジしたい ・オリオンビール工場見学に行ってみたい <動機> ・時間が足りなかった（１０） ・まだ行けてないところがある（６） ・次は晴れている時に来たい（６）
機会があれば訪れたい	<動機> ・他の観光スポットでも行ってみたい（３） ・今回時間がなかったため（３） ・天気の良いときにきれいな海を見たい（２） ・夏に来てみたい（２）
わからない	・名護城跡が残念だった ・これから色々予定があるのでその後 ・天気が大変悪かった ・特に訪問先がない ・予定がわからないから

※「あまり訪れたいとは思わない」、「訪れたいとは思わない」は回答なし

【外国人客】

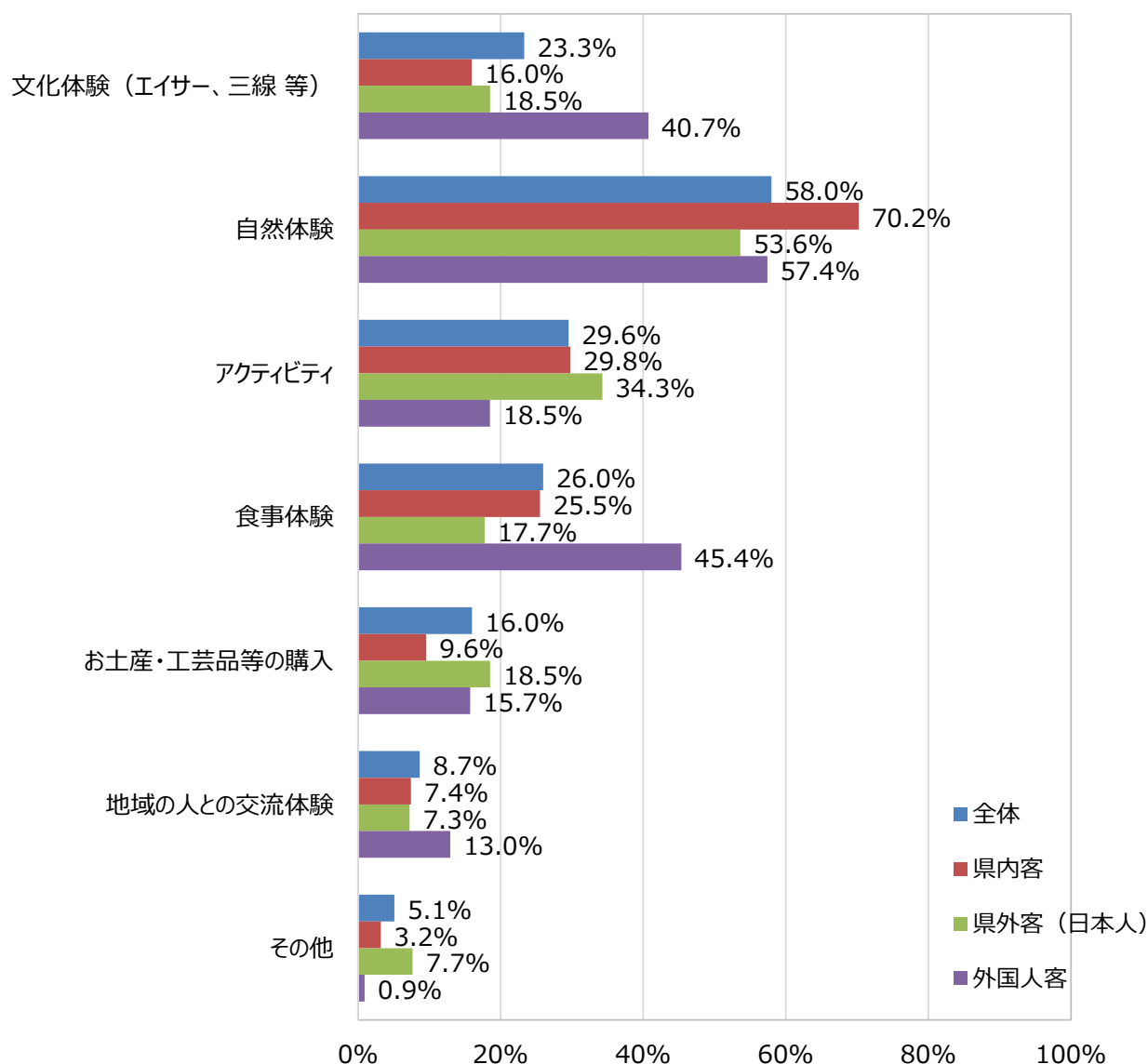
再訪意欲	意見の内容
次回訪問の予定がある	<動機> ・景色が美しい（２） ・素晴らしい光景 ・すべての場所は周れないので ・すべてを周るには時間が足りない
予定はないが是非訪れたい	<その他> ・美しい海、ローカルフード、平和でとても良い環境 ・美しいビーチ ・動物園に興味がある ・訪れる場所がたくさんあるから
機会があれば訪れたい	<動機> ・時間が無いのでもう一度来たい（２） ・快適で静かな環境（２） ・便利できれい（２）
あまり訪れたいとは思わない	<動機> ・また訪れる計画をする <その他> ・特に印象的なのはない ・アトラクションが何もない
わからない	・リラックスできた

※「訪れたいとは思わない」は回答なし

d. 次回、名護市でやってみたい観光体験

○次回、名護市でやってみたい観光体験は、「自然体験」が全属性で最も多く、次いで外国人客の「食事体験」が45.4%、「文化体験（エイサー、三線等）」が40.7%となっている

図表50 次回、名護市でやってみたい観光体験



[回答者数：450]

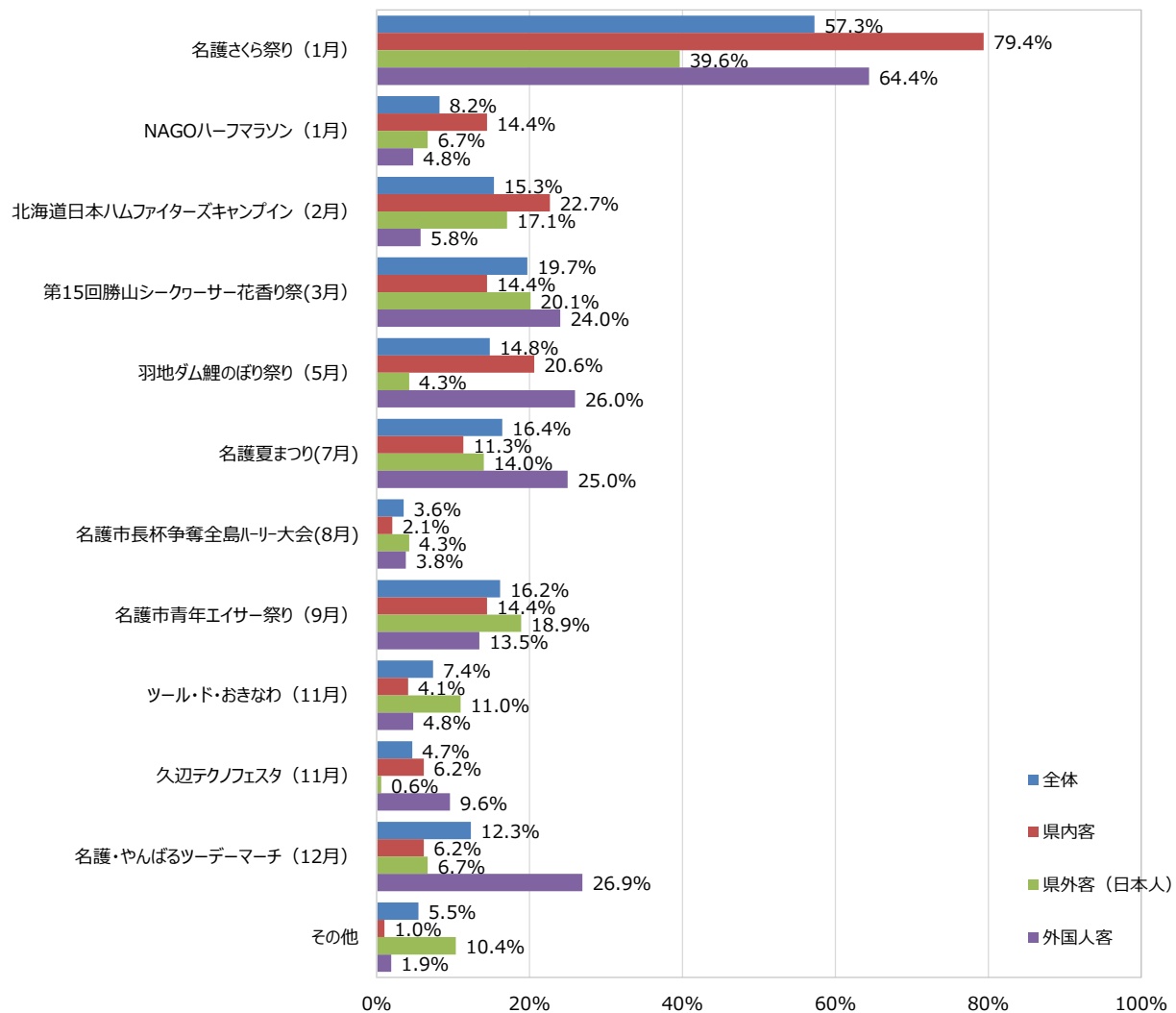
<その他の回答>

県内客	工芸品等の体験、手作り体験
県外客（日本人）	ダイビング（2）、エイサー見学、ゴルフ、釣り、行事参加、オリオンビール工場、住みたい、観光が好きだから上記は考えてない
外国人客	多くの観光施設・公園等

e. 今後参加してみたい名護市のイベント

○今後参加してみたい名護市のイベントは、「名護さくら祭り（1月）」が57.3%と最も高く、次いで「第15回勝山シークワサー花香り祭（3月）」が19.7%、「名護夏まつり（7月）」が16.4%となっている。また、「北海道日本ハムファイターズキャンプイン（2月）」、「羽地ダム鯉のぼり祭り（5月）」、「名護夏まつり（7月）」、「名護市青年エイサー祭り（9月）」が15%前後となっている

図表 5 1 今後参加してみたい名護市のイベント



[回答者数：365]

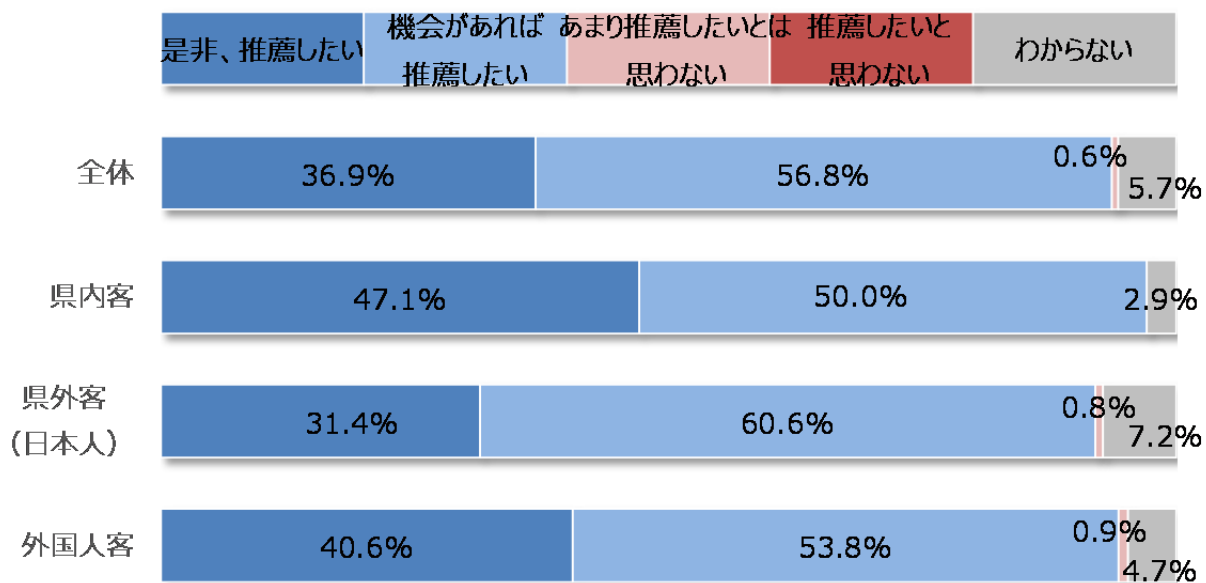
<その他の回答>

県内客	クリスマスイベント
県外客（日本人）	ないかもしくは沖縄フルーツランド
外国人客	ー

f. 友人や知人に、名護市への訪問の推薦

○友人や知人に名護市への訪問の推薦は、「是非、推薦したい」、「機会があれば推薦したい」、「あまり推薦したいとは思わない」、「推薦したいとは思わない」が合わせて 93.7%となっている

図表 5 2 友人や知人に、名護市への訪問の推薦



[回答者数：474]

g. 名護市を訪れて感じた魅力 ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

【県内容】

自由記入の内容
<自然景観> ・自然が豊か（24） ・海がきれい（4） ・空気、風が気持ち良い（2）
<生活・文化> ・ゆったりのんびりできる（6） ・住みやすそう（2） ・都会とはまた違った雰囲気、ローカルなところもリゾート感があるところもあってとても良い
<その他> ・ネオパークオキナワやパイナップルパークなどの観光施設が近くに集中していきやすい ・いろいろな観光地がある

【県外客（日本人）】

自由記入の内容
<自然景観> ・海がきれい（26） ・自然が豊か（26） ・景色（2） ・海と山があり良い所
<生活・文化> ・人が優しい、穏やか（8） ・のんびりしている（7）
<食事> ・食べ物が美味しい（14）
<その他> ・周辺に観光地が多く、滞在の拠点になる ・北部で大きい町なので、ゆったりしていて、買い物に困らない

【外国人客】

自由記入の内容
<自然景観> ・とてもきれいな街（3） ・自然（2） ・海岸線が美しい（2）
<生活・文化> ・人々が親切（9）
<食事> ・たくさんの飲食店
<その他> ・美しい（5） ・良い（5） ・休暇で訪れるにはぴったり（2） ・リラックスできました（2）

h. 名護市の観光全般について意見や感想 ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

【県内客】

	自由記入の内容
良い意見	• まだまだ知らないところがたくさんあるので、これからも新しいところをいろいろ見たい • 魅力がある • 自分の住んでいるところでは感じない快適さがある • とっても楽しい
課題・改善	• 子供達が参加できるイベントを増やしてほしい • 雨の日に楽しめるところが少ない • 何があるかもっと伝えたらいいと思う • バス等移動手段の充実が必要

【県外客（日本人）】

	自由記入の内容
良い意見	• また来ます・また来たい（4） • 意外に楽しいスポットが多い。知らないだけ • 町がコンパクトで良い。那覇はゴミゴミしている
課題・改善	• 夜間の街灯がなく、車で走りにくい（2） • 道の駅が小さく駐車場が狭い • 雨でも（台風、梅雨）楽しめる場所を紹介してほしい • 沖縄の雑貨やお土産物を集めたショッピングモール等があれば嬉しい • 昭和感あふれる施設をもっと前面に出した方が、映え感のある写真を撮れるスポットとして売り出せる

【外国人客】

	自由記入の内容
良い意見	• とても良い・良かった（13） • 満足した（3） • 美しい（2） • 次回は友達に推薦したい、非常にくつろげた
課題・改善	• 食事メニューにもっと英語での説明が欲しい • 翻訳できる施設があると良い • 美ら海水族館に訪れただけ。路線バスの本数があまりにも少なく、観光するには難しい • 夜中、非常に暗い通りがたくさんあった。そのため、悪い印象を持つ人もいると思う

3.2.2 レンタカーGPS 調査

(1) 調査の目的

レンタカーに搭載された GPS データをもとに、名護市内を訪れた観光客の属性ごとに立寄り箇所や滞在時間等を分析することで、観光客の市内観光時の行動特性を検証した。

(2) レンタカーGPS 調査の概要

レンタカーGPS 調査の概要を以下に示す。

【データの入手方法】

◇アクアレンタカー（那覇本店）が所有するレンタカー50 台に搭載されているドライブレコーダーから、位置情報（緯度・経度）、時刻、走行経路、走行速度等の情報を収集し、分析を実施。

⇒ 貸出時の承諾書の情報から、利用者の属性情報も属性と紐づけた分析が可能



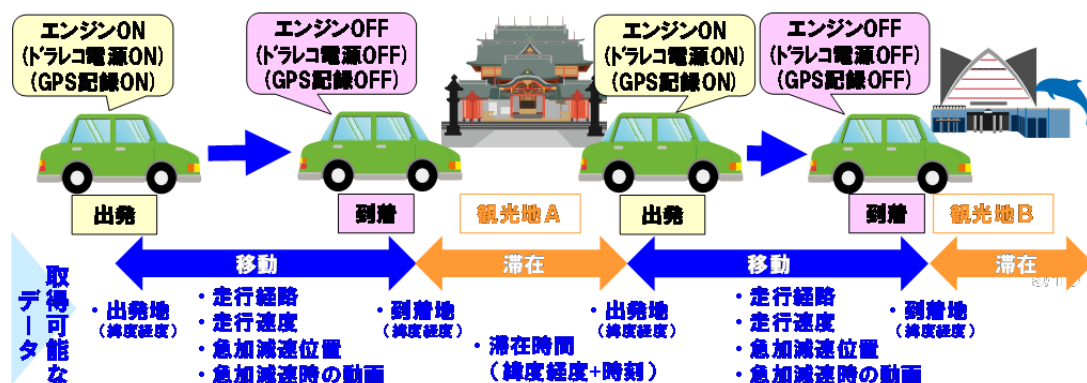
▲ドライブレコーダー本体

【検討メニュー】

◇ドライブレコーダーから収集した情報を活用し、以下に示す分析メニューにより、観光客の行動特性を分析可能。

分析項目	分析に使用するデータ
①訪問地・滞在時間分析	「出発地/到着地(緯度経度)」、「時刻」
②観光周遊行動分析	「到着地」

▼観光行動の分析イメージ



(3) 検討条件

本調査の検討条件を整理する。検討にあたっては、市内の主要な観光施設を設定し、立ち寄りの有無、立ち寄りがあった場合の滞在時間、前後の周遊行動（立ち寄り箇所）を属性ごとに分析した。

図表 5 3 データ取得等の検討条件

データ取得期間	・期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の 1 年間 ・時間：24 時間（レンタカーの貸渡期間内）
分析の対象	・名護市内に立ち寄った車両のデータを抽出し分析
調査地点※	・市内の主要な観光施設 等 ⇒緯度/経度情報から地点を登録し、半径 500m 圏内を地点と判定 ⇒観光資源・観光施設（42 地点）、宿泊施設（9 地点）、その他（商業施設など）（17 地点）※具体的な調査地点名を次頁に記載
取得データ	・GPS データ ・ドライブレコーダーデータ ・属性情報（許諾書の情報から紐づけ）
分析内容	①市内の立寄り地点分析 ⇒市内の調査地点に 15 分以上滞在している車両データを分析 ②市内外の周遊地点分析 ⇒市内の調査地点に立寄った車両データから、立寄りがあった 1 日の行動（市内外の立寄り地点）を分析

[参考：データ取得期間内のサンプル数（立寄り地点毎）]

立寄り地点	延サンプル数		
	全体	国内居住者	海外居住者
沖縄県内（本島全域）	1,931	1,657	274
名護市内：全体	721	570	151
名護市内：立寄り 15 分以上	574 (全体の 29.7%)	444 (全体の 26.8%)	130 (全体の 47.4%)

【参考：調査地点】

(観光資源・観光施設：42 地点)

観光資源・観光施設			
1	サボテンスマイル	22	万国津梁館
2	ナゴパynaナッフルパーク・沖縄フルーツランド	23	国際海洋環境情報センターGODAC
3	ネオパークオキナワ名護自然動植物公園	24	名護博物館
4	わんさか大浦パーク	25	商店街（市営市場・名護十字路近辺）
5	羽地の駅	26	羽地ダム
6	屋我地大橋	27	轟の滝
7	古宇利大橋展望所	28	ブセナ海中展望塔
8	森のガラス館	29	OKINAWA ゴーヤーパーク
9	道の駅許田	30	なごアグリパーク
10	百年古家大家うふやー	31	21世紀の森ビーチ
11	嵐山展望休憩所	32	喜瀬ビーチ
12	オリオンハッピーパーク	33	ブセナビーチ
13	屋我地島	34	かりゆしビーチ
14	美らテラス	35	羽地内海（景勝・シーカヤック体験・キス釣り）
15	沖縄フルーツランド	36	ジャングルの沢歩きツアー
16	紅型キジムナー工房	37	嘉津宇岳
17	名護漁協	38	古巣岳
18	オリオンハッピーパーク	39	名護岳
19	アグー村	40	名護城跡（名護中央公園）
20	嘉陽ビーチ	41	ひんぷんガジュマル
21	津嘉山酒造所	42	屋部の久護家

(宿泊施設：9 地点、その他施設 17 地点)

宿泊施設		その他	
1	オキナワ マリオットリゾート&スパ	1	御菓子御殿 名護店
2	カヌチャリゾート	2	ヘリオス酒造 古酒蔵ショップ
3	ザ・リッツ・カールトン沖縄	3	イオンなごショッピングセンター
4	ブセナリゾート	4	シーサーパーク 琉球窯
5	ホテルリゾネックス名護	5	MEGA ドン・キホーテ名護店
6	リーフリゾートかりゆし	6	マツモトキヨシ 為又シティ店
7	ホテルゆがふいんおきなわ	7	マツモトキヨシ 東江店
8	喜瀬ビーチパレス	8	ドラッグイレブン名護店
9	ルートイン名護	9	ドラッグストアモリ名護東江店
		10	A&W 名護店
		11	宮里そば
		12	我部祖河食堂
		13	マックスバリュなご店
		14	ふりっぱー（ステーキ）
		15	大城そば
		16	ガスト名護店
		17	※その他、コンビニ、ガソリンスタンド

(4) 調査分析結果

本調査の分析結果を以下に示す。

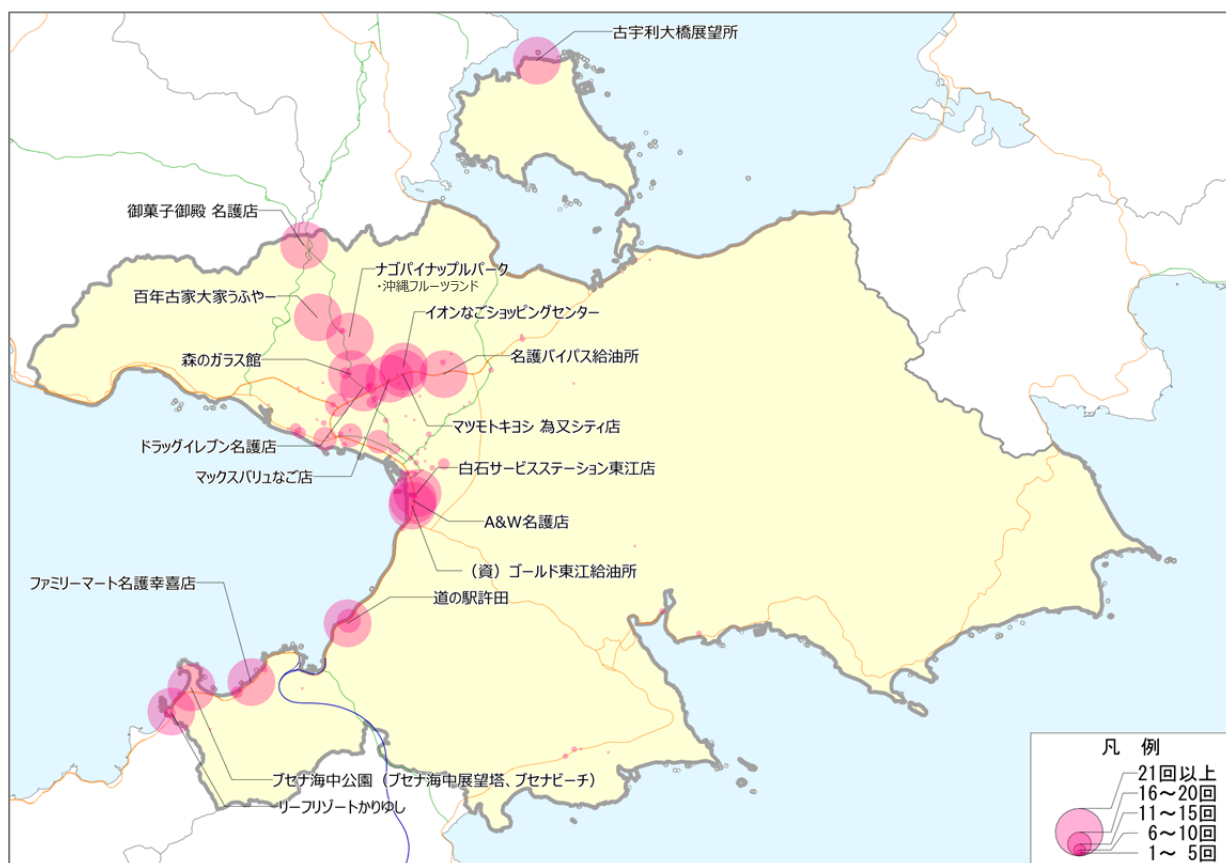
1) 市内の立寄り地点分析

前項に示す分析の結果を以下に示す。

①市内の調査地点への立寄り状況（全属性）

- レンタカー利用者の立寄り回数が多い市内の調査地点は、「道の駅許田」周辺が 114 回と最も多く、次いで「ブセナ海中公園（ブセナビーチ）」周辺が 75 回、「ナゴパイナップルパーク・沖縄フルーツランド」が 73 回となっている。
- また、市内の立ち寄り箇所の分布状況は、那覇方面から、西海岸側・美ら海水族館方面への動線上に偏在している。（カーナビでは最短ルートとして、道の駅許田方面から、名護東道路経由で美ら海水族館へのルート案内されることも多い）

図表 5 4 市内の調査地点への立寄り回数



図表 5 5 市内の調査地点への立寄り状況（上位 25 地点）

No.	立寄施設	立寄 回数※1	(居住地別)		平均滞在 時間※2	総立寄 回数※3
			国内	海外		
1	道の駅許田	114	94	20	0:31:26	183
2	ブセナ海中公園(ブセナビーチ)	75	59	16	1:19:14	110
3	ナゴパynaアップルパーク・沖縄フル ーツランド	73	61	12	1:03:30	99
4	イオンなごショッピングセンター	59	41	18	0:52:50	97
5	(資)ゴールド東江給油所	52	46	6	0:25:01	90
6	ファミリーマート名護幸喜店	41	34	7	0:55:43	75
7	古宇利大橋展望所	38	26	12	0:24:45	62
8	御菓子御殿 名護店	38	22	16	0:47:22	56
9	リーフリゾートかりゆし	37	34	3	1:17:31	51
10	百年古家大家うふやー	36	15	21	1:20:08	46
11	マツモトキヨシ 為又シティ店	32	19	13	0:59:41	44
12	名護バイパス給油所	29	18	11	0:36:34	43
13	ドラッグイレブン名護店	26	21	5	0:53:21	41
14	白石サービスステーション東江店	26	6	20	1:12:14	39
15	マックスバリュなご店	25	16	9	0:42:57	36
16	A&W 名護店	23	21	2	0:26:43	33
17	森のガラス館	23	19	4	0:55:58	33
18	名護リゾート給油所	19	18	1	0:24:10	32
19	伊藤忠名護南給油所	17	16	1	0:40:47	32
20	ガスト名護店	17	15	2	0:24:15	32
21	ホテルゆがふいんおきなわ	17	11	6	0:51:59	30
22	宮里そば	17	17	0	0:21:39	30
23	喜瀬ビーチパレス	15	11	4	1:12:06	27
24	紅型キジムナー工房	14	14	0	0:32:35	27
25	ふく薬品 なご店	14	7	7	1:03:37	27

※1:立寄回数 :15 分以上滞在した立ち寄り記録ののみを集計

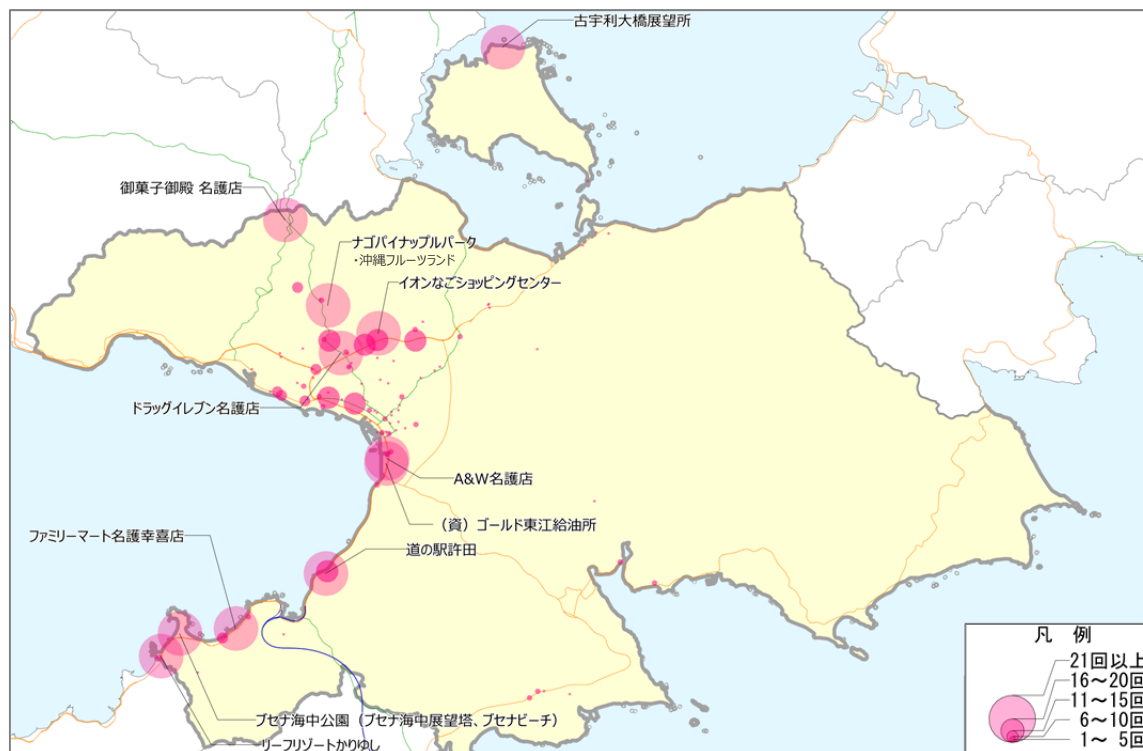
※2:平均滞在時間:15 分未満の滞在も含む滞在時間の平均値

※3:総立寄回数 :15 分未満の滞在も含む立ち寄り回数

②市内の調査地点への立寄り状況（国内居住者のみ）

- 全体の傾向とほぼ同様であり、「道の駅許田」・「ブセナ海中公園」・「ナゴパイナップルパーク・沖縄フルーツランド」の立ち寄り回数が多い。
- 海外居住者のデータと比較すると、「A&W 名護」・「宮里そば」・「ガスト名護店」と言った飲食店への立ち寄りが顕著に見られる。

図表 5 6 市内の調査地点への立寄り回数（国内居住者のみ）



図表 5 7 市内の調査地点への立寄り状況（国内居住者のみ）（上位 20 地点）

No.	立寄施設	立寄回数※1	総立寄回数※2
1	道の駅許田	94	151
2	ナゴパイナップルパーク・沖縄フルーツランド	61	83
3	ブセナ海中公園(ブセナビーチ)	59	80
4	(資)ゴールド東江給油所	46	80
5	イオンなごショッピングセンター	41	56
6	リーフリゾートかりゆし	34	53
7	ファミリーマート名護幸喜店	34	50
8	古宇利大橋展望所	26	80
9	御菓子御殿 名護店	22	28
10	A&W 名護店	21	49
11	ドラッグイレブン名護店	21	30
12	マツモトキヨシ 為又シティ店	19	25
13	森のガラス館	19	23
14	名護バイパス給油所	18	31
15	名護リゾート給油所	18	26
16	宮里そば	17	21
17	伊藤忠名護南給油所	16	29
18	マックスバリュなご店	16	24
19	ガスト名護店	15	27
20	百年古家大家うふやー	15	17

国内外ともに
上位の地点を
オレンジ、飲食
店を緑、コンビ
ニを赤に着色

※1: 立寄回数 : 15 分以上滞在した立ち寄り記録ののみを集計

※2: 総立寄回数 : 15 分未満の滞在も含む立ち寄り回数

③市内の調査地点への立寄り回数（海外居住者のみ）

○国内居住者のデータと比較すると、一位の「百年古家大家うふやー」を除くと、飲食店への立ち寄りが比較的少なく、「コンビニエンスストア」への立ち寄りが顕著に見られる。

図表 5 8 市内の調査地点への立寄り回数（海外居住者のみ）



図表 5 9 市内の調査地点への立寄り状況一覧（海外居住者のみ）（上位 20 地点）

No.	立寄施設	立寄回数※1	総立寄回数※2
1	百年古家大家うふやー	21	26
2	道の駅許田	20	32
3	白石サービスステーション東江店(※)	20	20
4	イオンなごショッピングセンター	18	19
5	プセナ海中公園(プセナビーチ)	16	19
6	御菓子御殿 名護店	16	16
7	マツモトキヨシ 為又シティ店	13	16
8	古宇利大橋展望所	12	30
9	ナゴパynaナッブルパーク・沖縄フルーツランド	12	14
10	名護バイパス給油所	11	15
11	ローソン 名護宮里店	10	11
12	マックスバリュなご店	9	9
13	ファミリーマート名護幸喜店	7	12
14	ファミリーマート名護大宮店	7	9
15	ふく薬品 なご店	7	8
16	ホテルゆがふいんおきなわ	6	13
17	(資)ゴールド東江給油所	6	10
18	ファミリーマートふく薬品名護店	6	6
19	ドラッグイレブン名護店	5	9
20	名護城跡(名護中央公園)	5	7

国内外ともに
上位の地点を
オレンジ、飲食
店を緑、コンビ
ニを赤に着色

※1: 立寄回数 : 15 分以上滞在した立ち寄り記録ののみを集計

※2: 総立寄回数 : 15 分未満の滞在も含む立ち寄り回数

2) 市内外の周遊地点分析

市内の調査地点に立寄った車両データについて着目し、1日の立寄り行動（市内外の立寄り地点）について分析する。

データ処理の容量の都合上、「道の駅許田に2017年7～9月に立寄った車両（サンプル数：36台）」の同日の動向について着目し分析を行う。

①市内外の立ち寄り動向（全属性）

○市外の立ち寄り施設は「古宇利島」、次いで「美ら海水族館」が多い。
○観光動線は西海岸側に偏在している。

図表60 市内外の立ち寄り動向（全体）



図表 6 1 市内外の立ち寄り動向（全属性）

No	到着地点	立寄回数※1	平均滞在時間※2
1	古宇利島	15	0:41:47
2	沖縄美ら海水族館	5	2:05:47
3	美浜アメリカンビレッジ	5	1:21:36
4	おんなの駅なかゆくい市場	3	0:26:54
5	瀬底島	3	1:56:58
6	ドラッグイレブンもとぶ店	2	1:06:08
7	御菓子御殿恩納店	2	1:16:46
8	紅型キジムナー工房	2	1:15:58
9	普天満宮	2	0:26:48
10	本部町営市場	2	1:03:08
11	琉宮城蝶々園	2	0:32:56
12	MEGA ドン・キホーテ 宜野湾店	1	0:39:02
13	イオンなごショッピングセンター	1	1:54:17
14	イオンモール沖縄ライカム	1	0:40:36
15	うみんちゅワーフ	1	0:36:51
16	オリオンハッピーパーク	1	0:51:23
17	かりゆしビーチ	1	1:46:37
18	ココカラファイン 国際通り店	1	0:44:27
19	ゴリラチョップ	1	0:41:45
20	コンドミニアムLUE	1	0:37:10
21	サンエーマチナトシティ	1	0:43:41
22	ター滝	1	2:29:35
23	タイガービーチ	1	1:53:51
24	ダイコクドラッグ小禄駅前店	1	0:27:44
25	とまりん	1	0:44:27
26	ドラッグイレブン美浜店	1	0:53:54
27	ブセナリゾート	1	2:21:26
28	マツモトキヨシ 為又シティ店	1	0:34:01
29	やんばる海の駅	1	0:33:05
30	恩納サンセットモール	1	1:25:13
31	嘉数高台公園	1	0:25:03
32	港川ステイツサイドタウン	1	0:15:54
33	国際通り屋台村	1	0:50:53
34	座喜味城跡	1	0:28:10
35	首里城	1	1:09:35
36	森のガラス館	1	0:33:02
37	真栄田ビーチステイ	1	1:40:44
38	知花城跡	1	0:25:50
39	波の上ビーチ	1	0:21:42
40	波上宮	1	0:23:02
41	備瀬フク木並木通り	1	1:27:34
42	万座毛	1	0:27:57
43	名護漁協	1	0:47:07
44	琉球ガラス ていだ工房	1	1:11:51
45	琉球村	1	1:31:15

※1:立寄回数 :15 分以上滞在した立ち寄り記録ののみを集計

※2:平均滞在時間:15 分以上滞在したサンプルの滞在時間の平均値

②市内外の立ち寄り動向（海外）

○海外居住者による市外の立ち寄り施設は古宇利島が多い。

図表 6 2 市内外の立ち寄り動向（海外）



図表 6 3 市内外の立ち寄り動向（海外）

No	到着地点	立寄回数※1	平均滞在時間※2
1	古宇利島	2	0:59:42
2	ブセナリゾート	1	1:31:15
3	琉球村	1	0:28:10
4	座喜味城跡	1	3:26:19
5	美浜アメリカンビレッジ	1	0:27:37
6	名護漁協	1	0:47:07
7	イオンなごショッピングセンター	1	1:54:17
8	沖縄美ら海水族館	1	2:32:10
9	琉宮城蝶々園	1	0:33:25

※1: 立寄回数 : 15 分以上滞在した立ち寄り記録ののみを集計

※2: 平均滞在時間: 15 分以上滞在したサンプルの滞在時間の平均値

3) 調査結果のまとめ

①市内の調査地点への立寄り状況

今回の調査・分析で明らかになった立寄り回数が多い市内の調査地点は、市内の定番観光施設である「道の駅許田」周辺（114 回）、「ブセナ海中公園（ブセナビーチ）」周辺（75 回）、「ナゴパイナップルパーク」周辺（73 回）となっている。

市内の立ち寄り箇所の分布状況は、那覇方面から、西海岸側・美ら海水族館等 本部半島方面への動線上に偏在している状況にある。

②市内外の立ち寄り動向

市外の立ち寄り施設としては限られたサンプルではあるが、「古宇利島」、次いで「美ら海水族館」が多いことが明らかになった。

また、市外の観光動線についても沖縄本島西側を通っていることが明らかになり、観光動線が西海岸側に偏在していることが確認された。

③今後の方策

今後は、新たな魅力の創出や情報発信を行い、名護市の観光の多様化、魅力化のためにも、東海岸側や屋我地・羽地、名護湾の沿岸等といった、現状においては観光客の引き込みができていない地域についても、新たな動線づくりを行うことが求められる。

3.2.3 ロコミサイトにおける観光資源の評価

世界的な旅行情報サイトである「トリップアドバイザー（<https://www.tripadvisor.jp/>）」による名護市の観光資源についてのランキングを以下に示す。

ランキングの考え方は、公表されていないものの、評価点や口コミ数やアクセス状況の観点から総合的に決定されていると言われており、口コミ数の多い観光地は、多くの人が訪れていると考えられる。（現時点の評価によると定番の観光地が上位を占めている。）

なお、次々頁以降に、名護市内の観光地についての外国人も含む口コミコメントを参考として掲載する。

図表64 トリップアドバイザーによるランキング
(※口コミ数の1～10位を水色、11位～20位を黄色に着色)

総合ランキング	観光地名称	0～5点	口コミ数
		評価	
1	プセナビーチ	4	159
2	道の駅許田 やんばる物産センター	4	845
3	プセナ海中公園	4	511
4	ネオパーク	4	296
5	万国津梁館	4	136
6	ワルミ大橋	4	141
7	屋我地島	4	100
8	21世紀の森ビーチ	4	76
9	名護市役所	4	99
10	名護市民ビーチ海水浴場	4	71
11	ヒンプンガジュマル	4	49
12	道の駅 羽地の駅	4	42
13	名護城跡公園	4	72
14	イオンなごショッピングセンター	4	45
15	DINO恐竜PARK やんばる亜熱帯の森	4	66
16	ヘリオス酒造	4	26
17	嵐山展望台	4	32
18	名護博物館	4	30
19	喜瀬ビーチ	4.5	14
20	轟の滝	4	44
21	普久川滝	5	10
22	シーグラスビーチ	4	17
23	名護さくら祭り	4	20
24	ナゴパイナップルパーク	3	989
25	名護漁協 鮮魚卸売市場	4	13

総合ランキング	観光地名称	0～5点	口コミ数
		評価	
26	カヌチャビーチ	3.5	18
27	名護市営市場	4	10
28	21世紀の森公園	4	11
29	屋我地大橋	3.5	19
30	沖縄フルーツランド	3	305
31	多野岳	4	17
32	ジュゴンの見える丘	4	9
33	辺野古漁港	3.5	11
34	瀬嵩灯台跡展望台	4	5
35	豚我小谷 アグー村	4	7
36	恥うすい碑	4	6
37	南橙慰霊之塔	5	2
38	幸喜ビーチ	4	3
39	国際海洋環境情報センター	4	2
40	キャンプシュワブ	3.5	6
41	渡波屋	3.5	4
42	カトリック名護教会	4	1
43	津嘉山酒造	4	1
44	舞香花	4	1
45	アグーの里 名護	3	7
46	羽地奥武橋	3	2
47	羽地ダム	3	1
48	名護市観光協会	3	3
49	名護市民会館	3	5
50	宮里キリストの教会	3	5
51	聖火宿泊記念碑	2	1

<参考：トリップアドバイザーによる口コミの内容（日本人／外国人別）、総合ランキングの順（名護のみ）>

ラン キ ン グ	観光地名称	口コミ内容の例 （日本人）	口コミ内容の例 （外国人）
1	ブセナビーチ	・ゴミひとつなく裸足で歩いても安心できるビーチ ・波が静かなため、子ども連れにお薦め ・朝一は透き通っていて潜らなくても海中が良く見える ・ブセナホテル滞在者以外は有料 ・ライフセイバーが常駐している	・アクティビティも充実していてビーチが綺麗（英） ・貝殻がとても多い（英） ・とても手入れが行き届いていて楽しいビーチ（独） ・景色はとても良いが、1人当たりの料金が少し高い（中） ・サービスが良い（韓）
2	道の駅許田やんばる物産センター	・地元の食材も安く、種類も豊富に売っている ・ごちゃごちゃしているがにぎやかで良い ・各種施設の割引券を扱っており、コンビニより安い施設もある ・建物に上に行く階段を昇ると目の前の視界がひらけエメラルドグリーンの海が広がる ・多くのお客さんが入っているが、駐車場がやや狭い	・地元の美味しいものを買うことができる（英） ・サーターアングギーが絶品（英） ・たくさん種類があり、値段もお手頃（英） ・各種チケットが安く販売してお薦め（韓） ・ローカルな雰囲気が良く、リーズナブルな値段で食事を楽しめる（韓）
3	ブセナ海中公園	・ダイビングはできないけれど海中の雰囲気を味わいたい方にお勧め ・魚に餌付けできるため、子どもたちは夢中 ・天気良ければ色とりどりの魚が見られ、子どもが楽しめる ・公園内を走る無料のシャトルバスは広い公園を移動するのに便利 ・海の中に潜る螺旋階段は狭いため、脚の悪い方は大変かもしれない	・濡れずにダイビングやシュノーケリングのような魚との触れ合いを楽しめる（英） ・スキューバダイビングをしているため、あまり期待していなかったが、たくさんの魚が見れ、水もとてもきれいで行く価値がある（英） ・子どもたちは魚の餌付けを楽しんだ（英） ・駐車場からシャトルバスに乗って移動するのも楽しい（韓） ・ダイビングをしなくても美しいサンゴ礁と魚を楽しめる（中）
4	ネオパーク	・ミニ列車で園内を1周できるようになっていて家族連れに良い ・いろんな動物と触れ合え、3歳の娘が大のお気に入り ・放し飼いが基本なため、動物を間近で見るができる ・鳥の餌やりは必ずやってほしい。ものすごい勢いで鳥が寄ってくる ・施設は古いが入園料が安く満足できる	・ミニ列車に乗ったり、動物と触れ合ったりとても楽しい時間を過ごした（英） ・ほかの動物園とは違い、たくさんの動物と触れ合うことができる（英） ・ミニ列車はゆっくりとした速度で動物や園内を楽しむことができる（中） ・他の施設に比べて認知度は低いですが、満足度は最も高かった（韓）
5	万国津梁館	・回廊の美しい建築物で、散歩には最適、優雅な気分になった ・一面ガラス張りの窓からの眺めが素晴らしく、感激した ・開放スペースは限られていたが、沖縄サミットの様子をいくつか知ることができとても満足	・沖縄サミットの開催場所であり、とても美しい場所（英）

ランキン グ	観光地名称	口コミ内容の例 (日本人)	口コミ内容の例 (外国人)
		• 各国の権力者の集合写真は見応えがあった • 沖縄サミットの記憶がよみがえる展示などもあり、建物を見るだけでも十分価値がある	
6	ワルミ大橋	• 高さもあり大橋中央部からは絶景ポイント、橋の手前に数台駐車できる展望台から歩道を歩き、欄干あたりからの絶景に感激 • とても高いところに架かる橋で海と島の眺望が素晴らしい • 一旦素通りしてしまい引き返したほど、立ち止まって観る価値がある • 橋が短いのであっと言う間なため、本島側の駐車場に車を止めて歩いてみると良い • 古宇利大橋ばかりに注目が集まっているが、ここもかなりの絶景スポット	• この近くにもう 1 つ大きな橋があり、両方の橋から素晴らしい景色を見ることができる (英) • 景色がとてもきれいだ、駐車場が狭い (韓) • 橋から見た海がとても美しく、写真を撮るのに良い (韓)
7	屋我地島	• 浜があったり、大きな空に映える小高い丘やサトウキビ畑があったり、沖縄の原風景が見られる • 昔ながらの製法で塩を作っている店があったので見学し、買い物もした • 島の多くがサトウキビ畑なため、沖縄らしさを感じた • キャンプ場があり、海の前芝生でキャンプが楽しめる • 民家も昔ながらの家が多く、のどかでドライブだけでも癒される	• 本島より混んでなく、景色がとても良くドライブの絶好の島 (英) • 徒歩や自転車で昔ながらの風景や海の景色などを楽しめる (英) • ビーチを散歩する時間があれば、ぜひゆっくりとした時間を過ごしてほしい (中)
8	21 世紀の森ビーチ	• 交通アクセスが良く、白い砂浜がとてもきれいで、整備もきちんと整っていた • 大きな駐車場があるため、駐車スペースに困ることはない • 人も多くなく、地元感溢れる雰囲気が良い • のんびりしたり、ビーチ BBQ をするには最高の場所。BBQ 用のスペースがあるのが良い • トイレやシャワーが完備されているため安心	• 名護の市街地から近く、砂浜がきれい。夕日もとても綺麗だった (英) • 駐車場が大きく、トレイも完備されている (英) • とてもきれいで観光客が少なく、静かで地元の人たちの憩いの場のよう (中) • 観光名所ではないが、静かで散歩したりするのがお勧め (韓)
9	名護市役所	• 市役所とは思えない建物で、こんなに市役所を写真に撮ったのは初めて • 市役所としてみるより、一つのオブジェとして見応えがあった • とても変わった建物に目を惹かれた。まるで古代遺跡のようだった • 外壁がとてもステキで、沖縄らしさと雰	• 職員が英語を話せるかはわからないが、とても親切だった (英) • とても素敵な建物で見てみる価値がある (英) • とても素晴らしい建築で、建築に興味がある人は絶対に来るべき (中) • 最も美しい建物。晴れていたら 56 体の

ラン キ ン グ	観光地名称	口コミ内容の例 (日本人)	口コミ内容の例 (外国人)
		囲気がすごくよかった ・見た目がとてもインパクトのある建物で、名護市のシンボリック建造物の一つといえる	シーサーを見つけるのもよかった(韓) ・市役所であることに驚いた。とても素敵な建物(露)
10	名護市民ビーチ海水浴場	・ビーチが広く、テントを張って過ごす人も多く、他のビーチより自由度が高い ・無料駐車場やトイレ、更衣室、有料シャワーもあり、施設が充実している ・あまり観光地化されていないため、比較的空いているのでのんびりするには最高 ・海の家など観光施設はないが、地元の人がBBQをしたり、楽しい雰囲気 ・派手さはないが、落ち着いて休暇を過ごせる	・人が多くなく、とても静かなビーチで写真を撮ったりするのに良い。砂浜は少し荒いため、サンダルが必要(英) ・市街地からとても近いロケーションで素晴らしいビーチ(英) ・設備が充実しており、日光浴を楽しめる(中) ・ビーチを散策しながら海に入ったり、水の色がとてもきれいで写真を撮をたくさん撮った(韓)

3.3 地域側における調査

3.3.1 北部圏域の現況調査

(1) 調査目的

インバウンド、クルーズ船客の動向、やんばるの森世界自然遺産登録への動きなど、名護市をとりまく、北部圏域及び近隣市町村の観光振興に関する現況調査を実施した。

周辺地域における観光振興に関する取り組み状況を把握し、北部圏域における名護市の位置付けや近隣市町村との連携及び役割分担のあり方を整理した。

(2) 調査概要

①調査時期

平成30年12月～平成31年2月

②調査方法

関連主体へ対面式のヒアリングを実施

③調査対象

「上位計画・関連計画」、「周辺町村連携」、「広域交通」、「その他観光連携」の観点からヒアリング対象を選定、11主体を対象にヒアリングを実施した。

図表65 ヒアリング対象の考え方

ヒアリングの狙い		ヒアリング対象
上位計画・関連計画	全県の観光動向・北部の観光振興について	・沖縄県観光政策課、沖縄観光コンベンションビューロー（受入関連、北部振興関連）、美ら島財団、北部広域事務組合
周辺町村連携	隣接町村との連携	・恩納村、今帰仁村、本部町
	東海岸周遊の視点からの連携	・東村
広域交通	鉄軌道の構想	・沖縄県企画課交通政策課
その他観光連携	やんばるの森世界自然遺産登録	・国頭村観光協会

(3) 調査結果

ヒアリングの実施結果についてテーマに沿って、共通意見と各主体からの個別の意見に分けて要点を以下の通り整理する。

1) 広域的な観点からの課題意識

①現状の取り組み・課題意識

<広域連携について>

◆共通意見

- ・北部での連携が求められるが、北部 12 市町村の足並みが揃わず、関連する主体が多いため、合意形成が困難であり連携に課題がある。

◆個別の意見

- ・自転車を使った連携を進めたい。広域でのレンタサイクル整備にも可能性があるのではないか。(北部広域市町村圏事務局組合、(周辺町村においても指摘があり))

<広域交通>

◆共通意見

- ・(那覇から北部への海上交通、クルーズ船、鉄軌道等いずれの場合も) 北部到着後の交通手段の確保について、地域側で検討する必要がある。

◆個別の意見

- ・海上交通は今年度の実証実験の実施をふまえ、第一マリンと沖縄観光コンベンションビューローが運用に向けた検討を行っている。第一マリンは一定程度の人数、時間をかけて移動、沖縄観光コンベンションビューローは大量に、早く人を輸送することがコンセプト。(沖縄観光コンベンションビューロー企画課)
⇒沖縄観光コンベンションビューローによる海上交通は実現までに3～4年かかる見込み
- ・鉄軌道計画(那覇一名護間)は県民利用が主眼だが、観光客利用も見込まれる。工事完了までは20～25年かかる見込み。(沖縄県交通政策課)

②北部地域や名護市の課題

◆共通意見

- ・受入体制強化の必要性が謳われているが、それよりも北部をデスティネーションにする施策が大事。
- ・クルーズ船受入では北部全体で連携し、お金が落ちる仕組みづくりを構築する必要がある。

◆個別の意見

- ・北部の自然は、外部からみれば大きな魅力。足元の魅力をしっかり見直すべき。(沖縄観光コンベンションビューロー企画課)
- ・オリオンビールブランドの観光コンテンツとしての活用は有効である可能性がある。(沖縄県観光政策課)

③名護市に対する期待

◆共通意見

- ・名護に拠点を設け、北部を周遊させる仕組みづくりが必要。
- ・北部での連携の際は、名護市は中心的役割を担うべき。

◆個別の意見

- ・名護市は観光資源が豊富でポテンシャルが高い。東海岸の自転車のヒルクライム、スポーツ、キャンプ、21世紀の森ビーチでのBBQもクルーズ船客に対する地元とのふれあいに活用出来るのではないか。(沖縄県観光政策課)
- ・名護漁港の拠点化(交通の拠点、各種チケットの販売)ができると良い。(沖縄観光コンベンションビューロー企画課)
- ・クルーズ拠点も本部ではなく、名護が望ましい。北部の交通結節点は名護に集約するべき。(美ら島財団)

2) 周辺町村からみた名護市に対する期待

①各町村の取り組み・課題意識

◆共通意見

- ・市町村間で民泊の連携が一部ある。今後連携を推進したい。(東村、本部町、今帰仁村)

◆個別の意見

- ・人材確保や産業としての取り組みの観点から、観光のメリットをまとめた、村民啓発のおもてなしハンドブックを制作している。(恩納村)
- ・観光客を呼びたい人と呼びたくない人に別れている。観光振興と住民の生活のバランスが難しい。(今帰仁村)

②北部観光の課題意識

◆共通意見

- ・やんばるでの連携は必要だが、現在はまとまりがない。(今帰仁村、本部町、東村、国頭村観光協会)
- ・やんばる全体を巡るバスチケットやプログラムがあると良い。(本部町、東村、国頭村観光協会)
- ・クルーズ船の受入に関しては北部全体で連携する必要あり。(本部町、国頭村観光協会)

◆個別の意見

- ・インバウンド対応が未発達。(恩納村)
- ・ホテルと地域農家の連携を一部進めている。(恩納村)
- ・これまでは広域連携による地域への還元が十分に見えづらかったものと思われるが、今後は北部地域での連携は必須だと考えている。(国頭村観光協会)

③名護市に対する期待

◆共通意見

- ・クルーズ船受入に関して、ドン・キホーテやパイナップルパーク等の施設との連携も必要。(本部町)
- ・路線バスの連携、食の連携、レンタサイクルの連携などが考えられる。(恩納村)
- ・村内には宿泊施設があまりないので、村内の滞在時間延長の観点から、名護市で宿泊してもらうことが必要。(東村)

（４）調査結果のまとめ

ヒアリング結果について以下の通り整理する。

＜北部への滞在時間の増加＞

観光客に、名護市に宿泊をしてもうことにより、観光客が北部で使う時間が増加し、北部全体の滞在時間が伸びることが期待されている。

観光客の施設間の取り合いではなく、連携による取り組み強化が期待できる。

＜二次交通の充実＞

クルーズ船の増加の見通しや海上交通の実証などの動きを受けて、本部半島の二次交通の不足についての指摘する意見が多い。

買い物や食事、観光をする場所として名護市との連携を考える上でも重要な取り組み課題だと考えられる。

＜連携体制の構築＞

観光客の増加に伴い北部広域の連携の必要性を指摘する意見が多い。一方でこれまで連携を模索しつつまともになかった経緯があり懸念する声も多い。

名護市に交通拠点としての役割（道の駅 許田の交通結節点化など）や、北部の連携を牽引する役割を期待する意見が多い。

なお、参考として次頁以降に調査結果の詳細について示す。

図表 6 6 北部地域の広域観光に関連する主体へのヒアリング結果

	沖縄県観光政策課	沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課	沖縄観光コンベンションビューロー 企画課	北部広域市町村圏事務局組合 総務企画課	美ら島財団（美ら海水族館）	沖縄県企画課交通政策課	JTB 沖縄
①現状の取 り組み・ 課題意識	○海上交通は、4月から実証実験の結果を受けて第一マリンが本運用を始めると聞いている。 ○実証時は、観光施設をつなぐ無料シャトルバスを走らせていた。 ○OCVB も、海上交通の実現に向けて検討を重ねている。 ○クルーズ拠点を受けて二次交通（バス、タクシー）の不足が課題。一度のクルーズ船で 3000～3500 名が利用する。 ○地域にお金を落とす仕組みづくりが必要。 ○路線バスのバス停の工夫（多言語化、設置位置）など交通政策課も意見を求めている連携の可能性がある。	○2020 年の戦略拠点に向けて本部港では、観光客受け入れ体制が課題。Wi-Fi 整備や標識多言語化。 ○北部地域では、エリア会議などで北部のとりまとめの必要性が常に挙げられる。 ○二次交通の不足が課題。 ○海上交通の実証実験では、揺れが大きく、観光の視点から辛かった。 ○帰りはシャトルバスを活用してもらう流れだが、シャトルバスのサービス向上（良いバス、ソファ型シートなど）も課題。 ○外国人は、来沖してから交通や言語面で困っている状況がある。	○北部振興プロジェクトにおいて、①高速艇での移動、②ロープウェイ、③ブセナの海中展望台の改修の3つを検討。 ○本プロジェクトでは地域とのコミュニケーションを重視している。 ○高速艇は早く、大量に輸送することがコンセプト。 ○高速艇は香港-マカオで使用の高速艇の購入が難しいため、新造船を予定。実施までに3～4年ほどかかる。この間に交通結節点の整備を進めたい。 ○ロープウェイは移動が目的だったが、居住区を通することが困難なため、観光コンテンツとしての提供を想定。 ○海中展望台は現行のものは国定公園エリアのため、施設の拡大が難しいため、東側エリアに新規建設する。	○やんばる関連連携事業のフォローアップが観光庁から求められ対応をしている。（本年度3回会議） ○当初は、各市町村観光に対する関心が薄かったが連携に向けて動く素地が出来てきている。 ○名桜大学との連携で、イベント時に学生による通訳支援を実施。 ○北部 12 市町村に様々な関連する団体が存在するため、意見をまとめ、合意形成を図ることが困難。 ○Wi-Fi 整備など情報面でのネットワーク整備。 ○自転車での連携を進めたい。広域でのレンタサイクル整備にも可能性があるのではないか。	○団体旅行の割合が減り、インバウンドが増加。ここ数年でインバウンドも団体⇒個人。 ○クルーズ客はやんばるに来ない。 ○今年から水族館内の売店でアリバイ・WeChat ペイを導入。外国人消費が少し増えた。 ○入園チケットは今後は紙だが、今後は電子化していきたい。 ○水族館そのもののブランド化から「やんばる水族館」というブランド化へ移行。やんばる全体の滞在時間を伸ばし水族館へ来訪してもらいたい。 ○本島半島（今帰仁・本部・名護）が一体となった連携をしていきたい。 ○ソラシドエアの直行便が神戸とつながった関係もあり、神戸へやんばるの PR を実施。 ○入園のピークシフト化。ナイトアクアリウムなどを開催。	○鉄軌道計画は現時点では構想段階（複数のルート案から概ねのルートを決めた段階）であり、那覇一名護間の1時間・60～70km のルートを設定している。 ○具体的なルートや駅の設置箇所等の検討はなされておらず、次の計画段階のステップで検討予定。 ○計画段階をふまえて工事着手になるが、<u>工事完了までは 20～25 年程度かかる見込みである。</u> ○現時点では 7.7 万人/日の試算をしており、そのうち県民利用を 7 万人、観光客利用を 0.7 万人と見込んでいるなど、<u>県民利用が主眼。</u> ○最終的な工事は、国の事業として実施ができればと考えている。	○国内客を対象としたエース JTB 商品において、名護を含んだ商品を作成している。エース商品の商品数はここ数年で微増傾向 ○観光客のニーズが高いのは、夏場におけるマリンレジャー関連 ○MICE は小規模・高単価のインセンティブは万国津梁館で開催、大規模なものは南部のコンベンションセンター等で実施している ○北部方面の高速シャトルバスを運行しているが、利用率はまだ低い。また、<u>地域側での3次交通が課題</u> ○発地側からは沖縄本島を一つの目的地と捉えており、「北部」や「名護市」という視点は現状ない
②名護市への今後の期待	○クルーズは FIT 化が進んでおり、コト消費で単価の高い消費を望むことができる。 ○北部全体で連携し、お金が落ちる仕組みを構築するべき。 ○名護市は観光資源が豊富でポテンシャルが高い。東海岸の自転車のヒルクライム、スポーツ、キャンプ、21 世紀の森の BBQ もクルーズ客に対する地元とのふれあいに活用するべき。 ○台湾ではオリオンビールにブランド力がある。観光コンテンツとして活用が有力。 ○久志や屋我地・羽地の土地柄、地元との交流機会が増えるといい。 ○東海岸の回遊や、企業とのタイアップについては、方向性を計画に入れたほうが良い。	○民泊促進。 ○北部ではリゾートホテルが多く立地しており人で不足であり、人材センターを設置できないかというアイデアはある。 ○北部では移住する場所は確保可能	○那覇から北部への移動は OCVB で検討しているが、<u>北部到着後の周遊支援は地域側で検討してもらいたい</u>が、<u>検討が進んでいない。</u> ○北部振興プロジェクトへ参画していない自治体もある。 ○名護に拠点を設け、北部を周遊させる仕組みづくりが必要。 ○名護漁港の拠点化（交通の拠点、各種チケットの販売）ができるといい。 ○北部の自然は地域の人には気づいていないが、外部から見れば大きな魅力。足元の魅力をしっかりと見直すべき。 ○受入体制強化が謳われているが、それよりも先に北部をデスティネーションにする施策が大事。	○組合が中心となると取り組みにスピードがない。名護市には中心となって取り組んでもらいたい。 ○台湾人のサイクリング需要がある。 ○クルーズ船の受入に向けては、<u>広域的な連携体制が課題</u>となっている。	○クルーズ拠点も本部ではなく、<u>名護が望ましい。</u>北部の交通結節点は名護に集約するべき。 ○やんばるを周遊するバスがあると良い。 ○今帰仁・本部、名護のさくら祭りを一体的に、3 大さくら祭りとして売り出すと良い。 やんばる、本島半島全体で滞在時間が伸びることが重要。 ○やんばるで一泊してもらうために、やんばるの入口として名護市によるやんばる、本島半島の中心的役割が求められる。 ○ファイターズ等、名護しかできない取組は継続するべき。	○県民・観光客ともに利用してもらうためには、<u>フィーター交通の整備が必要となるため、各市町村で検討していただきたい。</u> ○各市町村は、隣の市町村がどのような取組をしているかわからない状況が起きている。県としては各市町村の機運向上を期待し、各市町村の交通担当を集めた会議を開催したいと考えている。 ○交通分野の担当が明確に設置されている市町村は少なく、その多くは他の部との兼務であり、路線バスの赤字補てんに活動の主眼を置いている。	○クルーズ客の受入は域内での消費はあまり大きくない（消費の多くは免税店やドラッグストア）。出口戦略がない状態で誘致はメリットよりもデメリットを生みやすく、注意が必要 ○北部の他市町村で遊び、名護で宿泊、買い物をするなど、<u>やんばるエリア全体をデスティネーションとするための広域一体での戦略が必要。</u>エリア全体が目的となると、旅行会社としても商品造成をしやすい ○名護漁港から 21 世紀の森までの名護湾エリアを一体的に整備（ビーチと買い物施設、宿泊を近接させる）ことは非常に効果的である
③その他	○名護市には様々な企業が立地している。 ○浜松市では様々なメーカーとのコラボで観光を仕掛けている参考になるのではないかな。 ○西部トラベルの運営で、伊是名・伊平屋から名護へ直行便が出ている。（70 名規模の船で島民の足として利用）	○足並みが揃いつらい現状があると思われる。ジオパーク登録に向けた取り組みでも連携がうまく行かなかった。 ○台風の被害などで桜が減少したが山が県管理で、植えることができない。	○観光振興計画の策定は、庁内の部局間での連携を密にすることが重要。 ○県では別途、交通政策課で海上交通の検討を行っている。	○モンベルとの連携により、周辺町村と協力した取り組みを実施。 ○屋我地島でさとうきび畑の風景を楽しめる。	○特定地域への PR をした際の効果検証は難しい。本土での PR の場等で特別なスタンプラリーを配布し、効果を図る等は今後していきたい。	○県南部は公共交通に関する連携や取組意識は比較的高く、北部は比較的低いと感じる。	○クルーズ船の受入はスタークルーズと契約して取り組んでいるが、クルーズ船社へのリポートが大きく、利益が出ないため積極的には取り組まないし、クルーズ船社側も周遊ツアーに対しては、大きな取り組み意向を持っていない。

図表 6 7 周辺町村へのヒアリング結果

	恩納村役場商工観光課	今帰仁村役場経済課	本部町役場商工観光課	東村役場企画観光課
①各町村の取り組み・課題意識	○人材確保や産業としての取り組みの観点から、観光のメリットをまとめた、村民啓発のおもてなしハンドブックを制作している（実際に学校の設備が良いなどのメリットがある。） ○おんなの駅では、ホテルによる食材の調達など連携などが出来ている ○北部からの来訪客増をねらい、万座毛に第2のおんなの駅を整備 ○村内のホテル、観光産業の就業率低迷	○古宇利島にふれあい広場を整備。施設のリニューアル。物販やレストランの充実を図る <u>○観光客を呼びたい人と呼びたくない人に別れている</u> ○第1世代の移住者は観光を嫌がっている（静かな環境が良い。） ○民泊の受入は推進したい。200～250人クラスの受入。本部と連携し300～400人の受入をしたい	○観光拠点施設を整備。民泊の連携を目指す ○特産品の開発など経済効果を生み出す仕組みが必要 <u>○二次交通の課題が大きい。海上交通の実証においても課題となった。（タクシー事業者が減少した。）</u> ○クルーズ船の受入に向けた連携。ファーストポートになるためCIQ整備が必要で、まだ誘致が必要な状況。現時点の計画で88隻だが、年間100隻の寄港が求められる	○平成29年3月に東村第2次観光振興計画を策定し、平成33年度における入込客数の数値目標を37万人と設定（基準となる数値は、平成28年度の28万8千人） ○計画策定後、平成29年度は34万人と入込は伸びており、施設において全体的に入込が増加 ○修学旅行を主な受入とした農家民泊の利用が1万人／年ある。また、<u>東村で受け入れられない場合は、大宜味や名護（久志）に流している</u>
②北部観光の課題意識	○インバウンド対応の未発達。 ○ホテルと地域農家の連携を一部進めている。地産地消。	○やんばるでのまとまりがない。 ○伊平屋・伊是名ともいちゃりばまつり程度の連携である。	○第一交通の実証実験の際には、<u>周遊バスのチケットがセットで周遊行動を担保した。バスの連携は求められる。</u>	○やんばるでの連携は必要と考えている。<u>やんばる全体を周遊するプログラムがあると良い</u>
③名護市に対する期待	<u>○路線バスの連携、食の連携、レンタサイクルの連携などが考えられる</u>	○ドン・キホーテやドラッグストアなど ○商店街の活性化に対する期待がある	○クルーズ船の受入に際して、<u>北部全体で連携して行く必要がある。連携組織の立ち上げが求められる。</u>（ドン・キホーテやパイナッパルパークなどとも連携が必要。）	○村内には宿泊施設があまりないので、村内の滞在時間延長の観点から、<u>名護市での宿泊してもらうことが必要</u>
④その他	<u>○路線バスの工夫。1日乗車券等での市内周遊化</u> <u>○北部地域のカフェ情報をまとめた本・ガイドブック</u>	○観光振興をどこまで進めるべきか。バランスが難しいと感じている ○古宇利島は人が増えているが今帰仁城跡は人が減っていると感じている	○<u>レンタサイクル</u>の連携は可能性があるのではないかと	○観光振興計画書は地域の公民館に数部ずつ置いており、興味のある村民が手にとって読めるようになっている ○計画策定に際し、区長へのアンケートおよび全戸配布の村民アンケートを実施した

図表 6 8 その他観光連携

	国頭村観光協会
①北部地域名護市にかかる現状の取り組み・課題意識	○国頭村の観光振興は、エコツーリズム、スポーツツーリズム、グリーンツーリズムの3本柱 ○<u>やんばるとしてまとまった観光振興を行う必要がある</u> ○特に、<u>北部地域の交通網発達が必要</u> ○受入観光プログラムの連携も必要 ○本部港にクルーズ船がついた際に、<u>6時間をどのように使わせるか。市町村連携で取り組み必要がある</u> ○地域にいかにも還元できるか
②今後の期待	○暮らし文化（エコツーリズム）と集落の文化・歴史（グリーンツーリズム）の要素を融合させた滞在型観光の需要あり ○これまで、連携による地域への還元が十分に見えづかったものと思われるが、今後は北部地域での連携は必須だと考えている
③その他	○インバウンド観光客の遭遇するトラブルへの対応など情報提供が十分ではない。観光客への教育の観点も重要 ○世界自然遺産は2020年の登録に向けて動いているが、地域側としては認定ガイドの制度を準備している。実質の取り組みが始まったばかりで認定要件のセミナーの受講動向はこれからだが、情報発信などの面で協力を要請することも想定される。

3.3.2 名護市内の観光動向

(1) 調査目的

名護観光の現状・課題を把握することを目的として、観光産業の実質的な担い手である名護市の観光に携わる団体や事業者等を対象として「アンケート調査」及び「ヒアリング調査」を実施した。

(2) ヒアリング調査

1) 実施概要

ヒアリング調査の実施概要は以下の通り。

図表 6 9 ヒアリング調査実施概要

調査対象	＜ホテル＞ オキナワマリオットリゾート&スパ、カヌチャリゾート ＜観光施設＞ ナゴパイナップルパーク、沖縄フルーツランド ＜ガイド組織＞ さくらガイド
調査時期	1 月 15 日（火）～1 月 25 日（金）
調査方法	対面式ヒアリング調査
調査項目	・ 現状の観光客の受入の取組内容やそれに係る課題 ・ 観光客受入の現状 ・ 観光振興に対する期待度、目指すべき観光地像 ・ 観光振興に向けた課題意識、観光客来訪に伴う懸念点 など

2) 調査結果

ヒアリングの実施結果についてテーマに沿って、共通意見と各主体からの個別の意見に分けて要点を以下の通り整理する。

①観光客受入の現状

◆共通意見

- ・ 外国人客については、数年前の団体から個人へシフトしてからはゆるやかに減少しているが、長期的に見るとゆるやかに伸びている印象。沖縄県全体の伸びと比較するとゆるやかな伸び。

◆個別の意見

- ・ ナゴパイナップルパークや沖縄フルーツランドでは、ここ 5 年の利用者数は減少傾向。（ナゴパイナップルパーク、沖縄フルーツランド）
- ・ カヌチャの利用者数は横ばい。地域内で宿泊施設が増えている影響もある。
（カヌチャリゾート）

②現状の取組内容、課題、今後の取組意向

◆共通意見

- 北部全域で観光客の誘客を行うことが必要。そのために、北部に宿泊してもらうことが良い。
- 人材不足は共通した課題。地域内雇用や外国人雇用を積極的に行っている。（マリオット、カヌチャリゾート）

◆個別の意見

- 沖縄フルーツランドでは宿泊施設を建設。北部での滞在時間を延長、周辺施設との客の奪い合いではなく、滞在時間の創出に成功している。（沖縄フルーツランド）
- お土産の売上が減少しており課題となっている。（ナゴパイナップルパーク）
- 北部地域の民間施設が中心となったやんばる部会を立ち上げ、那覇からの誘客促進やクルーズ客誘致に向けた勉強会を実施。（ナゴパイナップルパーク）
- 道の駅許田ではさくらガイドが常駐し、市内の案内のみではなく、北部の周遊コースについて案内しており、感謝の声も届き実感から満足度が高い。（さくらガイド）

③名護市観光に期待する事項

◆共通意見

- 官民一体となった北部での広域連携の促進が北部全体の誘客につながる。北部というマーケットを地域一体でPRしていただきたい。
- 北部へ誘客するためには、宿泊キャパシティが多い名護に泊まってもらい、北部で遊んでもらう仕組みづくりが重要。

◆個別の意見

- 自転車は北部観光のキーワードになる。自転車利用者に向けたマップ制作は有効（マリオット）
- ラグビー場建設の早期化、トレーニングジムの整備など、スポーツキャンプ誘致に関する施策の実施に期待。（沖縄フルーツランド）
⇒スポーツ客は企業・プロを合わせると11月～4月までの来訪があり、オフシーズンの誘客に寄与する。
- 名護は地域ごとの伝統芸能（豊年祭など）が魅力であり、観光に活用するべきである。（マリオット）
- 東海岸エリア内での連携や西海岸との連携は是非とも求めたい。（カヌチャリゾート）

3) 調査結果のまとめ

ヒアリング結果について以下の通り整理する。

<施設への入込数の概況>

観光施設の利用者数は、団体客を中心とした日本人観光客が減少傾向の一方で、インバウンド等の新たな顧客の取り込みを行っており、新たな顧客を取り込みきれていない施設については、減少傾向にあると考えられる。

<観光客受入の課題>

観光施設や宿泊施設においては、インバウンドの増加に伴い、多言語での対応や、人手不足の影響により人材の確保についての課題を指摘する意見が多い。

<その他>

「さくらガイド」による道の駅許田での案内は、名護に限らない北部の生の情報を提供できしており、観光客のニーズに應える形で満足度は上がっていると考えられる。

市内での宿泊が増え北部の滞在時間が増えることにより、市内の施設間での客の奪い合いが減り、市内事業者にとってメリットが大きいと考えている事業者もいる。

なお、参考として、次頁以降に調査結果の詳細について示す。

図表 70 ヒアリング調査結果

	オキナワマリ奥特リゾート&スパ	カヌチャリゾート	ナゴバイナップルパーク	沖縄フルーツランド	さくらガイド
①観光客受入の現状について	●年間利用者数は25万人泊程度。 ●稼働率は85%程度であり、年間を通じた波は大きくない。 ●県外からのゲストが大半を占める。また、全体の30～40%程度は外国人客。韓国が最も多く、次いで中国、香港、台湾。 ●外国人客は数年前の団体ツアーのピーク期を最後に減少傾向。	●ここ5年程度の利用者数は横ばい。 ⇒<u>地域内の競合の宿泊施設が増えていることが影響</u> ●年間の利用者数は21万人泊。うち、リピーターは3割程度。 ●稼働率のピーク期は10月で85～95%。 ●外国人客は全体の5%程度で、ゆるやかな増加傾向。(自然増) ●客室単価は2万9千円程度。	●ここ5年の利用者数は緩やかに減少傾向で、現在は年間60万人程度 ⇒バス料金増加や修旅における民泊の台頭等が影響 ⇒日本人は減少、外国人は横ばい ⇒来沖の伸びを取り込めていない ●来訪のピーク期は8月で、10万人／月程度 ●利用者層は県外90%／県内10%、国内70%弱／海外30%強(うち、台湾と韓国で60%程度)	●ここ5年の利用者数は減少傾向 ●利用者層は県内3%／県外97%、国内79%／国外21%(韓国60%、台湾30%、中国6%、その他4%) ●来訪形態は団体54%、個人46%	●道の駅許田では200～400人／日程度の来訪がある。美ら海水族館の割引チケットを求めて1日の早い時間帯で来訪するため、美ら海水族館前後の周遊行動について案内している ●道の駅許田では、市内の案内のみではなく、北部の周遊コースについて案内しており、満足度が高い ●まちなか散策の案内については、月2～4組程度の実施
②現状の取組内容、課題、今後の取組意向など	●<u>美ら海水族館のチケットをホテル内で販売しており、多くの利用者が購入する。</u> ●万国津梁館とケータリング契約を結んでいる。 ●全室バリアフリー対応をしており、室内への自転車の持ち込みが可能。 ●やんばる畑人プロジェクトに取り組んでおり、地域食材を活用。 ●物資は、概ねは那覇・浦添から納入。 ●地域雇用(市内は全体の3分の1) ●一番の課題は人材不足。以前に比べて季節による稼働率の差がなく、メイドさん不足が深刻、外国人の雇用を積極的に行っている。	●MICEはミーティングとインセンティブをメインに受け入れている。また、接待の場としてもホテルを活用されている。 ●団体利用の運動会を受け入れ、ヒューマンの競技場を活用した。大規模な客の受入の際に周辺にあるインフラは積極的に活用していきたい。 ●わんさかのイベントへの出展や東海岸のフラワーロード等、地域内連携を実施している。 ●<u>ホテルに宿泊し、北部地域へ周遊する観光客は一定程度存在している。</u> ●ホテル従業員は350人程度。うち、80～100名程度は地元雇用。 ●人材不足に対応するため、外国人の雇用も積極的に行っている。 ●食材の地元調達率は精肉は15%、鮮魚は25～30%程度。野菜はJA等に行っている。	●北部地域の民間施設が中心となったやんばる部会を立ち上げ、那覇からの誘客促進やクルーズ客誘致に向けた勉強会を実施 ●<u>インバウンド誘客に向けた取組が不十分であり、当面の課題</u> ●人材不足や土産物の消費の減少も課題となっており、施設収入の強化に取り組むことを検討 ⇒消費単価は1,200円程度／人 ⇒生のパインは県内での生産が減少しており、販売数も減少。現在は加工品販売に注力している ●地元雇用は全体の6～7割	●フルーツランドについては、人の配置を少なくする仕組みに変更 ●一部屋に大人数が入るコンドミニアムタイプのホテルをオープン ●通常のホテルとは異なり、食事についても、ホテル外の施設利用等を前提としている。 ●<u>北部での滞在時間を延長、周辺施設との客の奪い合いではなく、滞在時間の創出に成功している。</u> ●ホテル建設は、周辺スーパーの消費拡大や地元での雇用増大に寄与 ●雇用の7割が市内、食材等の仕入れのほとんどは県内	●活動内容は道の駅許田での案内、まちなか散策、さくらまつり・こいのぼり祭りでの案内、観光協会の週末業務など ●講座を受けた30名のうち、10名がガイドとして認定している ●ガイドの実施により、<u>地域の方々が地域の文化を再認識するなど、社会的効果もある</u> ●<u>現在までで育成・ガイド実施の枠組みができた</u>と考えており、今後3年間で講座を再度開講し、ガイド事業の拡大を目指したい
③名護市観光に期待する事項	●レンタカーの事故が多いため、サインの多言語化を期待したい。 ●<u>北部というマーケットを地域一体でPRしていただきたい。自転車は北部観光のキーワードになる。自転車利用者に向けたマップ制作は有効。</u> ●<u>モータースポーツの推進も外国人客から需要</u>があり、有効であると考える。 ●名護は地域ごとの伝統芸能(豊年祭など)が魅力であり、観光に活用するべきである。 ●まちなみ景観が寂しく、市街地周辺は本土とあまり変わらないという印象がある。沖縄らしさと形成する必要あり。	●東海岸エリアは通信インフラが弱く、外国人誘客の際の課題となっているため、改善をお願いしたい。 ●個人予約が多くなっている中、カヌチャとしてどのような層を呼びたいか再定義が必要となり、社内でも検討している。ターゲット設定に合わせ、HPも刷新する予定。 ●東海岸エリア内での連携や西海岸との連携は今後必要となってくる。 ●北部へ誘客するためには、宿泊キャパシティが多い名護に泊まってもらい、北部で遊んでもらう仕組みづくりが重要。まず空港から名護に来てもらうというきっかけづくりとして、最初は何かしらのインセンティブをつけてもいいと思う。	●官民一体となった<u>北部での広域連携の促進が北部全体の誘客につながる</u> ●21世紀の森のスペースにコンベンションが整備されることで、市内の集客拠点となる ●ビーチを整備することにより、市内での滞在時間は延長されるだろう	●ラグビー場建設の早期化、トレーニングジムの整備など、<u>スポーツキャンプ誘致に関する施策の実施に期待</u> ⇒スポーツ客は企業・プロを合わせると11月～4月までの来訪があり、オフシーズンの誘客に寄与 ⇒スポーツ客のホテル滞在実績として20連泊以上の利用が多く、オフ日に観光・散策も行う ⇒スポーツ団体の宿泊を行うと、1人1泊1,000円までの市の補助も有効活用できる ●スポーツキャンプ誘致については、<u>市とホテルの営業担当とともに各スポーツの協会へ営業活動を行うことが有効である</u>	●名護漁港は観光客滞在の拠点として整備するべきである ●許田のターミナルに周辺市町村の情報を集約することで、<u>名護を拠点とし、北部を周遊する情報発信が可能となる</u> ●<u>地元の人が案内する施設、店は情報の信頼度が高い。</u>また、地域との交流は観光客の満足度を高める。地域におけるおもてなしを広げていくことは重要 ●まちなか散策を行うと、まちの清掃が課題と感じるが、ここで市民に協力を得られると良い ●カヌー事業者等の自然体験に関するとりまとめ組織が必要
④その他	●外国人労働者の受入の動きに際して、業界全体で勉強会等が開かれている。	●今後はウェディング事業に力をいれていく予定。海が見えるウェディングは貴重。 ●昔に比べ、ホテルでの食へのこだわりが希薄になってきていると感じる。	●冬の時期は本土には花が咲かないため、冬に咲く植物を一体的に植えることは魅力になるだろう ●お土産の消費単価は国内＞海外。外国人客は土産を配る文化がない	●イベントについては、ホテル等の民間施設から人材を数名派遣して運営に携わることは可能である	●懇話会時のガイドの実施については、協力可能 ●許田のターミナルは国の施設であるため、販売活動はできない

（３）アンケート調査

１）実施概要

市内事業者を対象としたアンケート調査の実施概要を以下に示す。なお、調査結果については以降に整理する通り観光客の受入動向や課題について把握するとともに、後述の観光振興による経済波及効果についての分析についても活用する。

図表 7-1 アンケート調査実施概要

調査対象	名護市内の観光産業関連事業者を対象とする。 ①名護市観光協会の会員 ②宿泊事業者 ③商工会会員
調査時期	平成 31 年 1 月 9 日（水）～1 月 23 日（水）
調査方法	郵送配布／FAX 回収
配布・回収状況	①観光協会：195 票配布、32 票回収 ②宿泊施設：34 票配布、3 票回収 ③商工会：312 票配布、6 票回収 （※重複して所属している場合は①観光協会所属を優先して発送した） 合計回収数：41 回収（回収率 7%）

図表 7-2 アンケート調査項目

基本属性	事業所名／業種／立地／従業員数／域内調達率の算出に要する事項 など
観光客受入実態	観光客を意識した取組内容／現状の取組で課題を感じている事項 など
観光客の現状	観光客割合（市内・市外・外国人）／地域への観光客の来訪実感（増えている客層）／観光振興についての実感 など
今後の観光振興	観光振興に対する期待度／目指すべき観光地像／観光振興に向けた課題意識／観光客来訪に伴う懸念点 など
その他	名護市の観光に関する意見 など

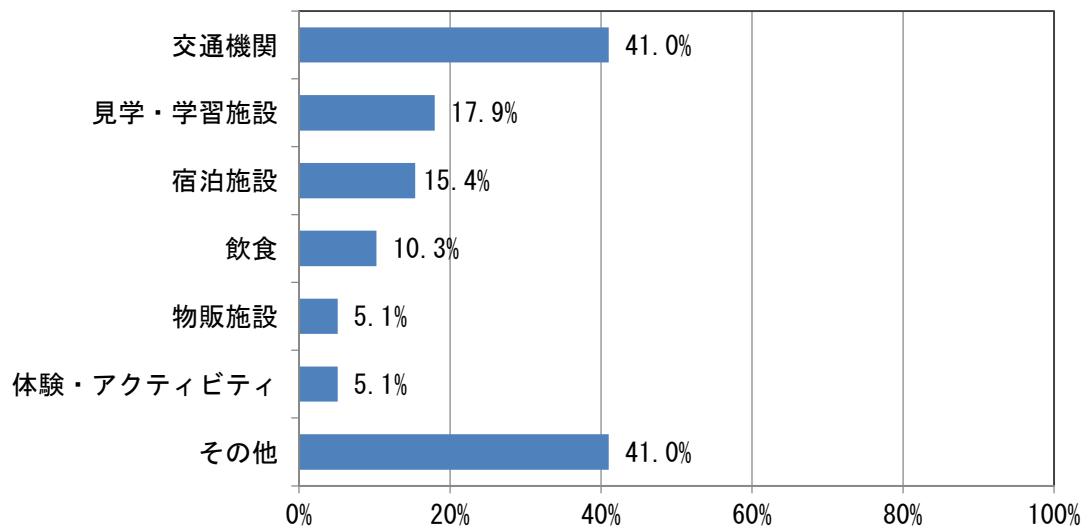
2) アンケート調査の結果

①施設（事業所）の現状

a. 業種

○業種は、「交通機関」が 41.0%と最も高く、次いで「見学・学習施設」17.9%、「宿泊施設」15.4%であった

図表 7 3 業種



[回答者数：39]

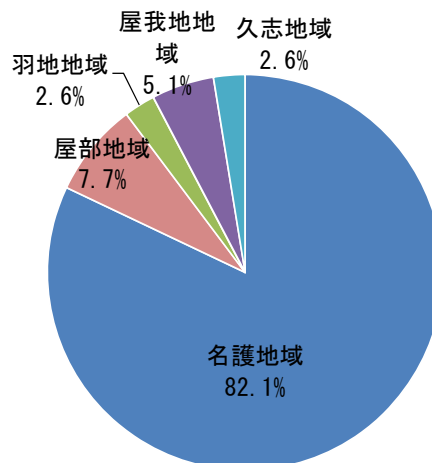
<その他の回答>

結婚式場、市内家電販売店、各種教育、設計、旅行業、コンサル、小売、スポーツ施設、生コンクリート販売、専門的サービス業、卸売、持株会社、農業（観光）、建設業、不動産業

b. 立地地域

○立地地域は、「名護地域」が 82.1%と最も高く、次いで「屋部地域」7.7%、「屋我地地域」5.1%であった

図表 7 4 立地地域



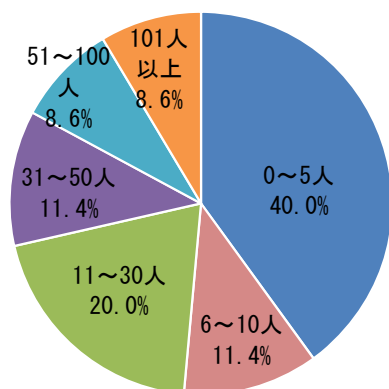
[回答者数：39]

c. 従業員数（正社員）および従業員数（パート）

○従業員数（正社員）は、「0～5人」が40.0%と最も高く、次いで「11～30人」20.0%であった

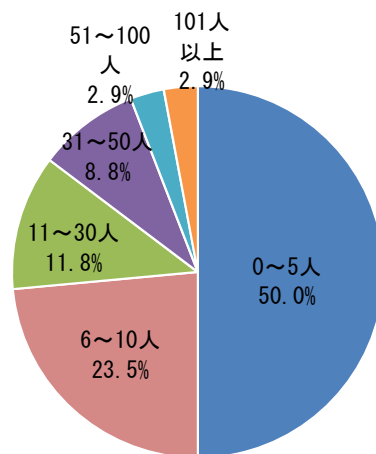
○従業員数（パート）は、「0～5人」が50.0%と最も高く、次いで「6～10人」23.5%であった

図表 7 5 従業員数（正社員）



[回答者数：35]

図表 7 6 従業員数（パート）

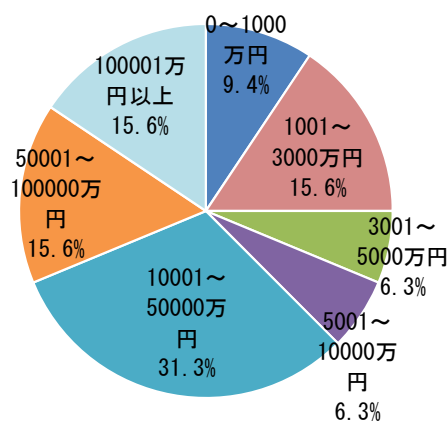


[回答者数：34]

d. 年間売上高

○年間売上高は、「10,001～50,000万円」が31.3%と最も高く、次いで「1,001～3,000万円」、「50,001～100,000万円」、「100,001円以上」15.6%であった

図表 7 7 年間売上高

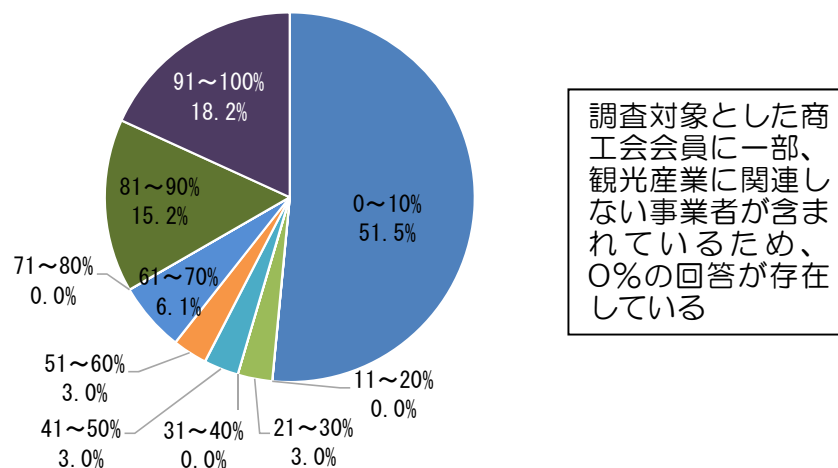


[回答者数：32]

e. 旅行・観光客への売上比率割合

○旅行・観光客への売上比率割合は、「0～10%」が51.5%と最も高く、次いで「91～100%」18.2%、「61～90%」15.2%であった

図表 7 8 旅行・観光客への売上比率割合



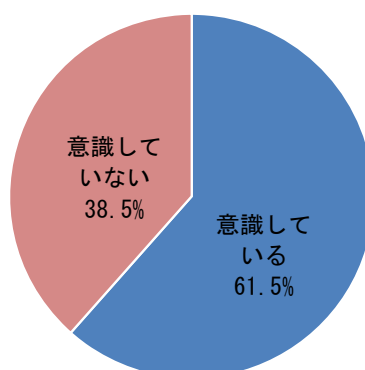
[回答者数：33]

②観光客の受入実態について

a. 観光客を意識した取組

○観光客を意識した取組は、「意識している」が61.5%であった

図表 7 9 観光客を意識した取組



[回答者数：39]

b. 具体的な内容 ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

i) 観光客をターゲットにしたメニューの提供

＜体験＞	・自然体験プログラムの実施	・遊覧船、マリンスポーツ全般
＜食＞	・地産地消の食材 商品を中心としたメニュー開発	・沖縄の食材を使用したメニュー
＜情報発信＞	・ホームページを活用	・多言語での施設案内
＜その他＞	・観光貸切バスの提供	・MICE 向けメニューの開発

ii) 沖縄や名護市らしさを意識した演出

＜体験＞	・自然体験プログラムの実施 ・マングロープ散策、カヌー体験、サイクリング、料理体験、染め物体験
＜食＞	・北部創り酒蔵所の泡盛もラインナップ。沖縄セットなどのフードメニュー ・沖縄食材を活用したメニュー及び名護、やんばるを活用したメニュー
＜情報発信＞	・沖縄の自然を感じられる PR を自社の HP や旅行代理店を介して発信している
＜その他＞	・ロケーション（立地）・バスガイドによる案内にて ・かりゆしウェアを制服として使用

iii) 観光客をターゲットにした PR

＜WEB＞	・SNS・Google などを活用した無料の広告媒体への掲載 ・ホームページ、ブログ、SNS 等
＜割引券＞	・観光施設の割引チケット
＜紙媒体＞	・観光雑誌での広告
＜その他＞	・海底観光遊覧船グラスボート ・オーシャンコースは西海岸が望める

iv) 観光客のためのイベントの実施

＜食＞	・感謝祭やもずく流し ・物産店出店
＜音楽＞	・ライブイベント ・毎日、サンセットに合わせて施設内でライブ演奏
＜その他＞	・エイサー等、琉球文化のイベント ・毎年一回、周年祭を実施

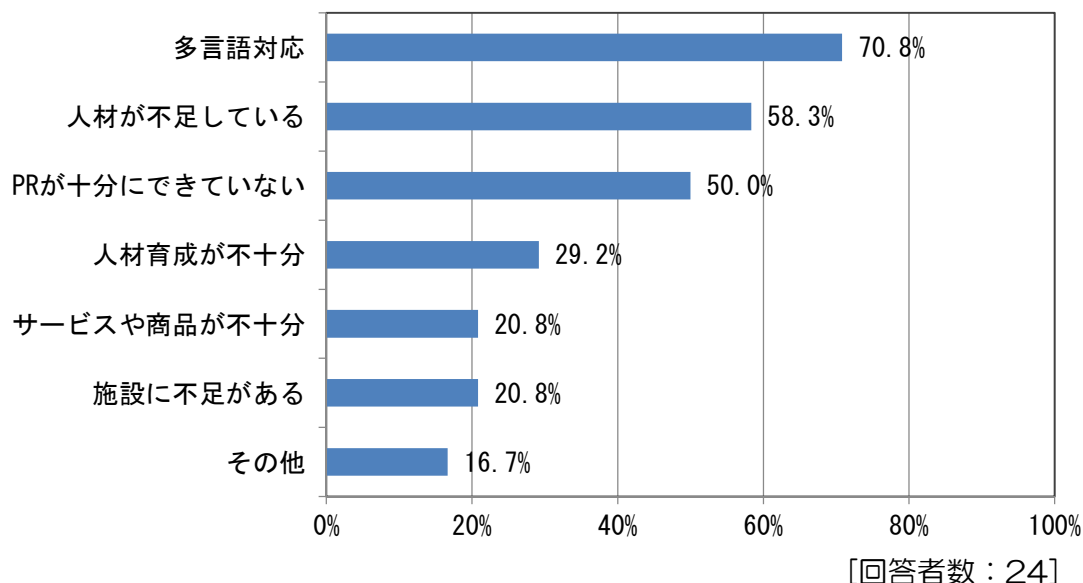
v) その他

・外貨両替機（\$→¥）	・クレジット決済の取入
--------------	-------------

c. 施設（事業所）における課題

○施設（事業所）における課題は、「多言語対応」が 70.8%と最も高く、次いで「人材が不足している」58.3%、「PR が十分にできていない」50.0%であった

図表 80 施設（事業所）における課題



<その他の回答>

- ・多言語対応。中心市街地への観光客・宿泊客の誘客
- ・観光事業者同士での連携や話し合いなどがあると良い。状況把握など（事業者数の増加）
- ・民泊法により安宿が多くなった。それをエアビーが取り扱っている。以前は無許可宿もエアビーは取り扱っていた
- ・出来る人材が不足。一人何役もこなせる人が少ない

d. 施設（事業所）における観光客の割合

○施設（事業所）における観光客の割合は、「市外からの来訪者の割合」が 57.7%と最も高く、「外国人観光客の割合」は 18.3%となっている

	最小値	平均値	中央値	最大値
①市外からの来訪者の割合	0%	57.7%	70%	100%
② ①のうち県外客の割合	0%	57%	65%	100%
③外国人観光客の割合	0%	18.3%	10%	60%

<特に利用の多い国>

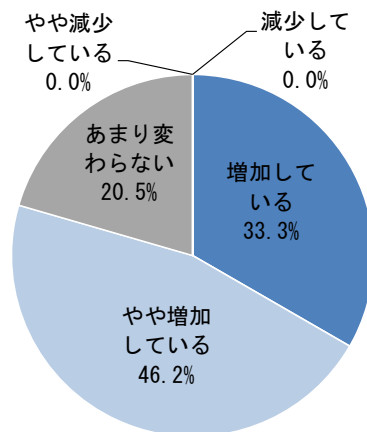
台湾（11）、韓国（8）、香港（7）、中国（7）、東アジア、近隣アジア、ヨーロッパ

③名護市の観光に関わる現状認識について

a. 市内を訪れる観光客の数について

○市内を訪れる観光客の数は「増加している」「やや増加している」が79.5%であった

図表 8 1 市内を訪れる観光客の数

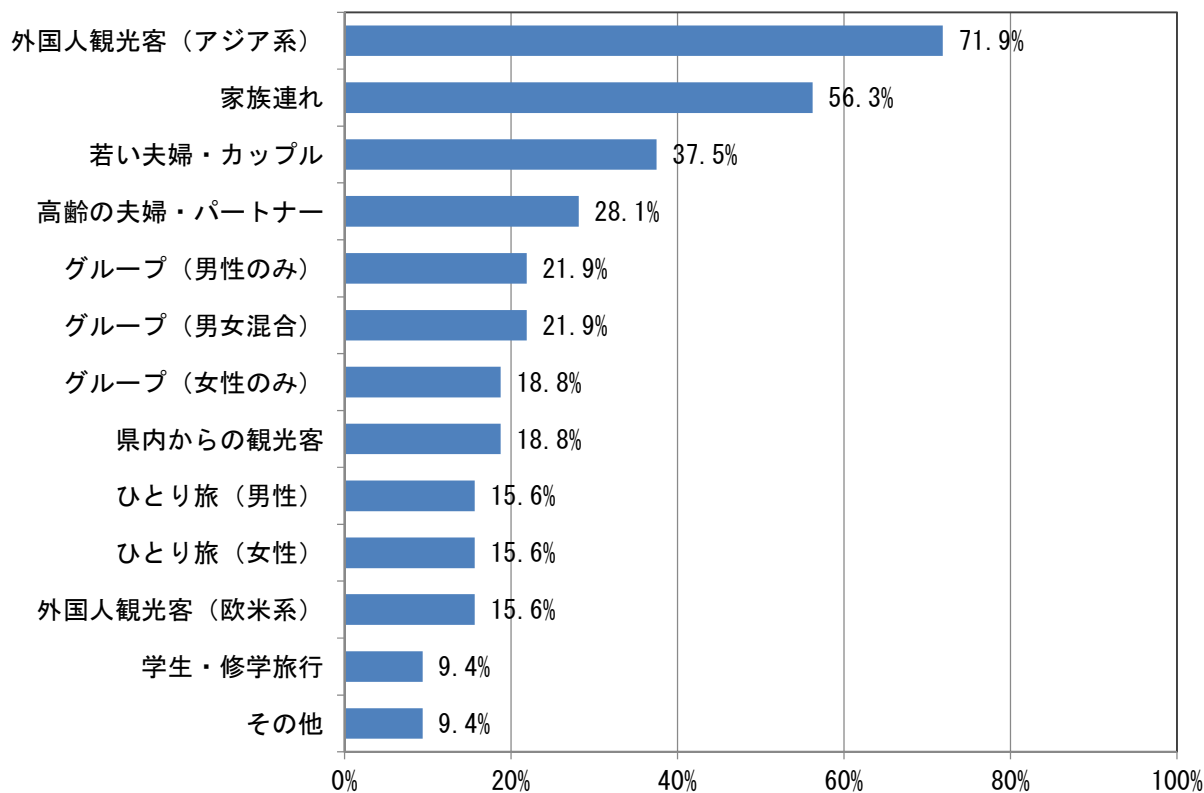


[回答者数：39]

b. 増えている観光客

○増えている観光客は、「外国人観光客（アジア系）」が71.9%と最も高く、次いで「家族連れ」56.3%、「若い夫婦・カップル」37.5%であった

図表 8 2 増えている観光客



[回答者数：32]

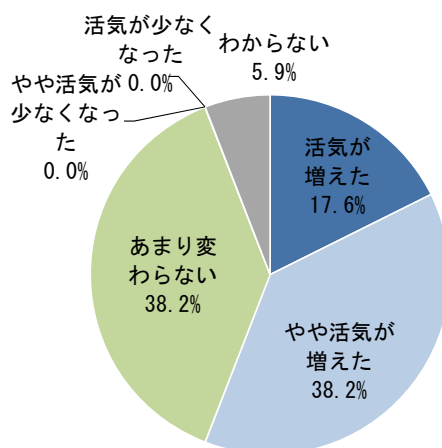
<その他の回答>

米軍、2月のファイトースファン、3世代家族

c. 観光客が来ることによって、まちに活気が出たか

○観光客が来ることによる街の活気は、「活気が増えた」「やや活気が増えた」が55.8%であった

図表 8 3 観光客が来ることによって、まちに活気が出たか

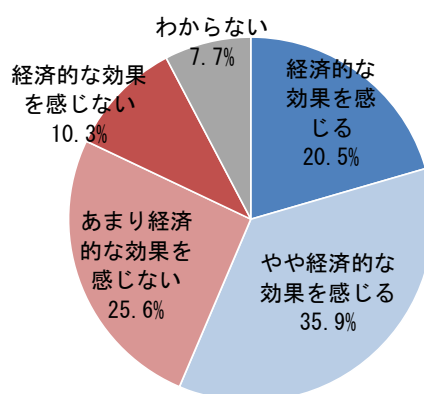


[回答者数：34]

d. 市内の経済的な効果

○市内の経済的な効果は、「経済的な効果を感じる」「やや経済的な効果を感じる」が56.4%であった

図表 8 4 市内の経済的な効果



[回答者数：39]

<具体的な理由>

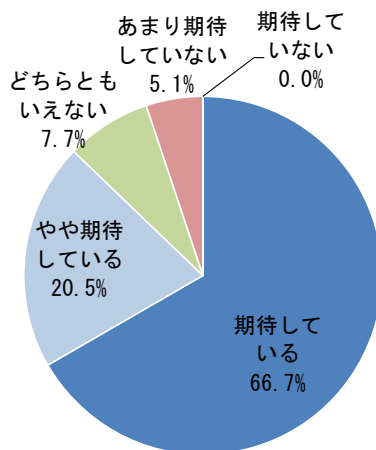
	理由
経済的な効果を感じる	<売上増加> ・レストラン、ショップ等付帯売上げが増加 ・売上が増加した ・スーパー等で見かけたりするので、売上に貢献していると思う <観光客の増加> ・焼き肉店、ステーキハウス等でアジア系の観光客を多々見かける ・飲食店を中心に口コミでの来訪客が多い ・名護市内に宿泊する方が増えて、飲食店や体験事業者にもお客様が増えていと感じる ・園内に来訪するお客様が増えることで、企業収益の増加に直接つながる。企業の収入増により、従業員への分配が可能となる ・街全体がにぎやかになっている気がする
やや経済的な効果を感じる	<観光客の増加> ・各種大型イベントの開催等で市外・県外からのお客様が増えている。ただ、宿泊施設が潤う一方で、中心市街地への誘客が少なく、多様な楽しみ方ができる事のPR不足を感じる。 ・地元スーパーで、観光客の方をよく見かける。又、飲食店でも多い様に感じる ・街中の飲食店が活気を感じる。又、大型スーパーが増え、利用客が増加している。特にレンタカーをよく見かけるようになった ・宿泊施設や飲食店に観光客が増えてきている。今後は直接観光客にメニューや商品を提供できたらと思っている <売上増加> ・コンビニなどの買い物袋を持っている人が多い ・工場見学に訪れたお客様は約90%購入して行く ・道の駅等レンタカーによる飲食が増えた ・宿泊客が増え、飲食店も客が増加 <消費の拡大> ・タクシーの利用の増加 ・名護市内において、民泊や小規模宿泊施設も増加しており、市内での消費は増加していると思うから <施設の増加> ・大型店舗に又、居酒屋やそば店など増えた感じ

④名護市の今後の観光振興について

a. 期待度とその理由

○期待度は、「期待している」「やや期待している」が87.2%であった

図表 8 5 名護市の今後の観光振興の期待度



[回答者数：39]

<具体的な理由>

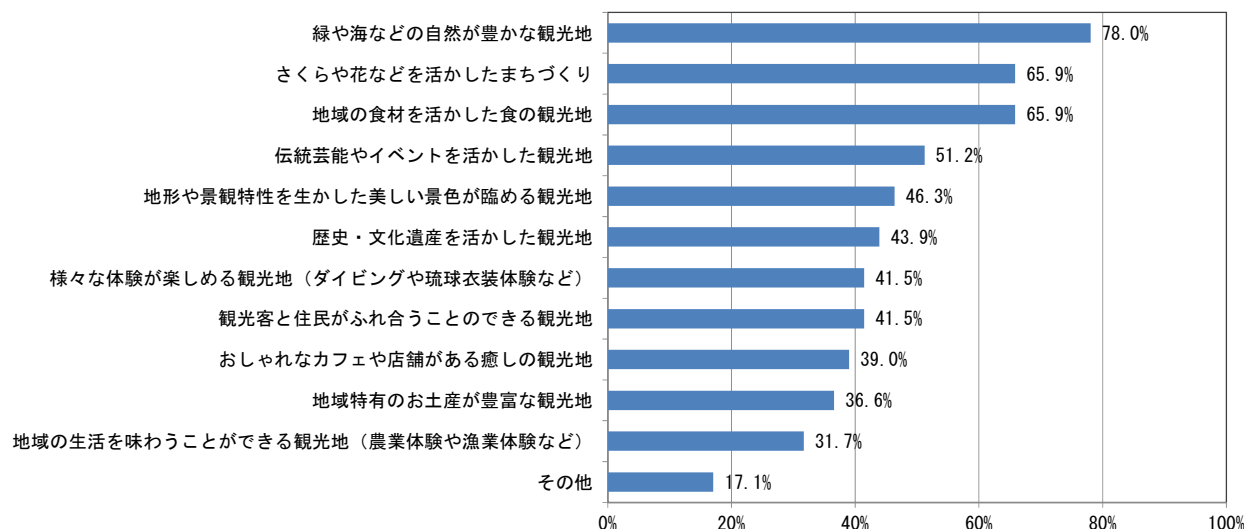
	理由
期待している	<経済効果> ・他地域から地元へ金が出る事（方法） <雇用の拡大> ・雇用の創出と経済の発展 <観光資源・観光施設> ・資源はあるので、見せ方次第 ・名護市には豊かな自然と文化があり、それをうまくPRしていけば、活性化できると思う。クルーズ船も期待している ・観光客をターゲットに、名護市の地域興し、今がチャンス。観光客に喜ばれ、魅力ある仕組みを造りましょう。宿泊施設、ショッピングセンター、道の駅、芸能・文化の発信、三味線他色々 <その他> ・名護は現状ただの通り道の途中にあるだけで、名護が栄えているのではないから ・みんな（市民）が新しい仕掛けをすること ・市長が変わり、地域活性化の願いを込めて ・長期的に公共交通機関が整備されることにより、観光客のみならず、市内在住者（特に高齢者や身体障がい者）にとってもメリットがあるため
やや期待している	<観光資源> ・県内でも自然が残っていて、活用はできそうなのに、プロデュースされていないのが勿体ない <その他> ・県外企業による観光収入の囲い込みを防ぐには、行政と民間の協力が必要
あまり期待していない	<観光施設> ・名護市にステイする魅力がない（施設）。映画館があって欲しい

※「どちらともいえない」、「期待していない」の回答はなし

b. 名護市らしいまちの姿

○名護市らしいまちの姿は、「緑や海などの自然が豊かな観光地」が78.0%と最も高く、次いで「さくらや花などを活かしたまちづくり」、「地域の食材を活かした食の観光地」65.9%であった

図表 8 6 名護市らしいまちの姿



[回答者数：41]

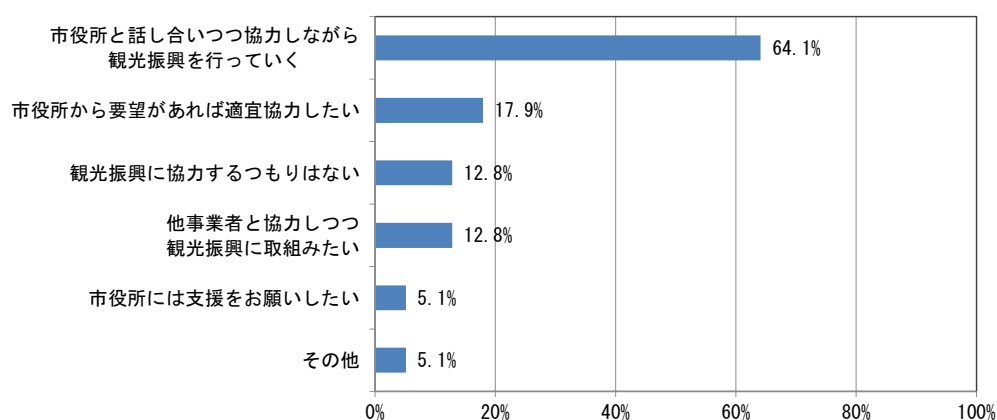
<その他の回答>

- ・持続可能な観光発展が望ましい。新設よりも既存を大切にしたい
- ・北部観光の入口である。高速道路の出口入口の交通をスムーズにする課題
- ・ヨットハーバー、名護湾は日本一ヨットに適している。台風以外は全天気動ける
- ・12市町村の特徴や特産品等が楽しめるお店、12市町村アンテナショップを
- ・自転車を活用した観光地
- ・アンケート項目の全体に取り組む必要が大切である
- ・名護城、護佐喜御宮から、まちなか、海につながる街づくり

c. 協働意識について

○協働意識は、「市役所と話し合いつつ協力しながら観光振興を行っていく」が64.1%と最も高く、次いで「市役所から要望があれば適宜協力したい」が17.9%であった

図表 8 7 協働意識



[回答者数：39]

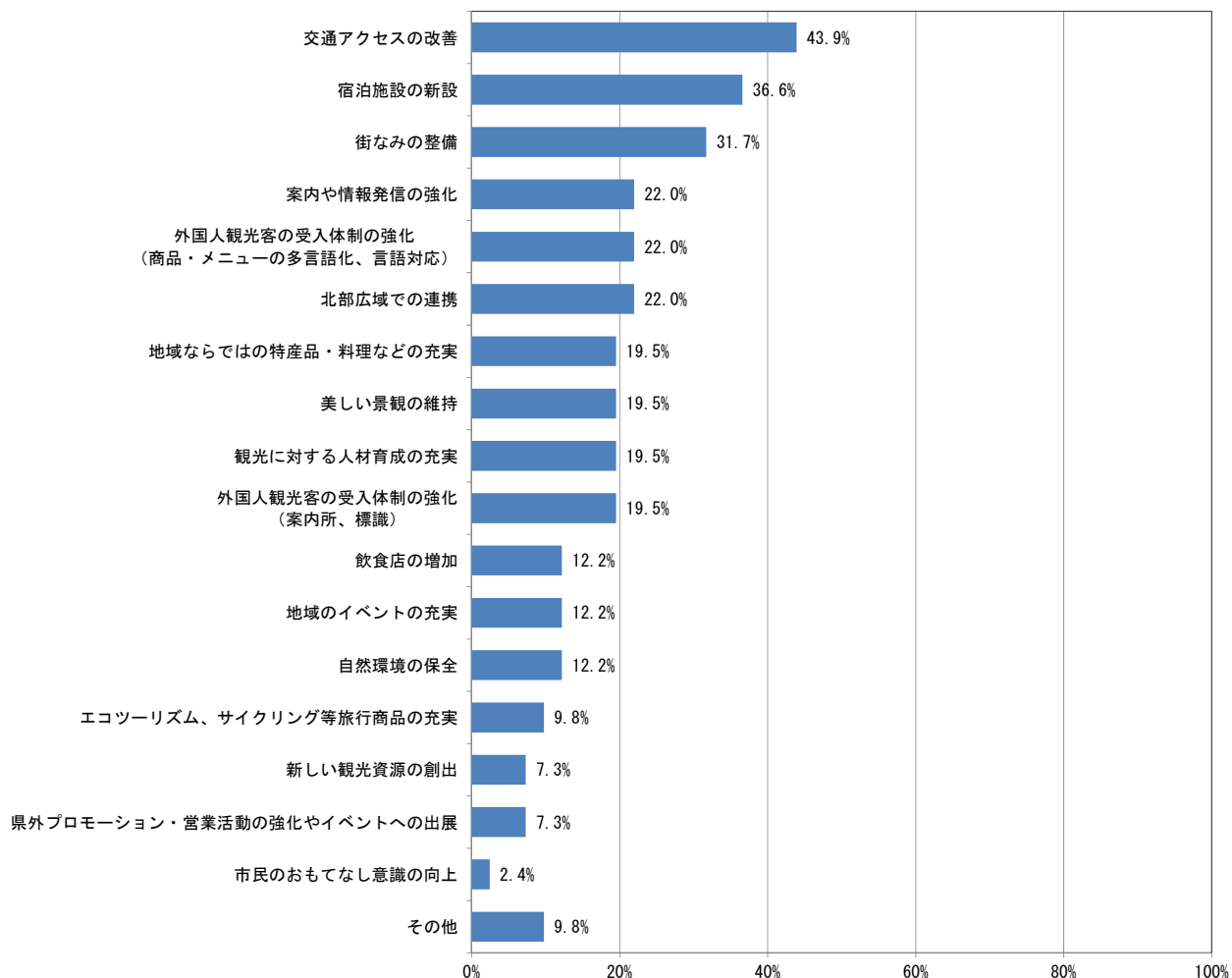
<その他の回答>

- ・名護市全体
- ・市民全体が取り組んでいける協議団体を立ち上げてはどうか？

d. 名護市の観光がさらに発展していくために重要だと思う取組

○名護市の観光がさらに発展していくために重要だと思う取組は、「交通アクセスの改善」が43.9%と最も高く、次いで「宿泊施設の新設」36.6%、「街なみの整備」31.7%であった

図表 8 8 名護市の観光がさらに発展していくために重要だと思う取組



[回答者数：41]

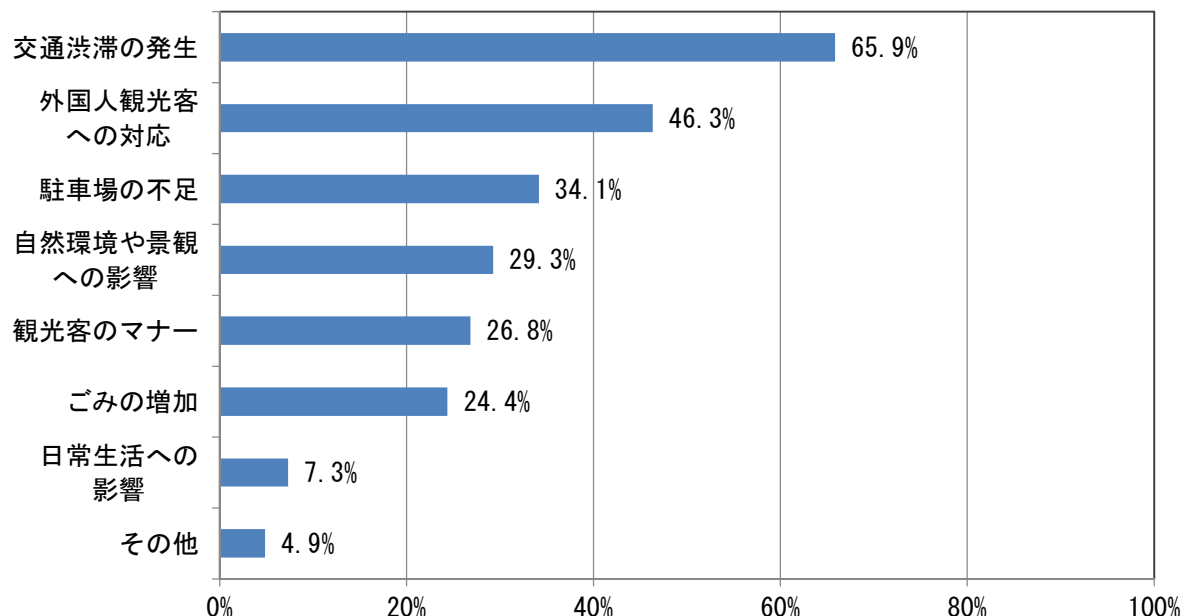
<その他の回答>

- ・市内の事業者間の連携
- ・観光客向けに名護漁港の夜間開放（有料でも可）
- ・名護城、さくらの再生、名護市民の意識改革
- ・このアンケート調査結果を具体的にどう取り組むか、当局による

e. 今後、名護市の観光が発展していく中で、懸念事項や心配事

○今後、名護市の観光が発展していく中で、懸念事項や心配事は、「交通渋滞の発生」が65.9%と最も高く、次いで「外国人観光客への対応」46.3%、「駐車場の不足」34.1%であった

図表 8 9 今後、名護市の観光が発展していく中で、懸念事項や心配事



[回答者数：41]

<その他の回答>

基地問題で負のイメージ、事業者の連携不足

f. 行政に対する観光振興に関する直接的な意見や要望 ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

自由記入の内容
<観光資源> ・名護市の特色を生かした取り組み。名護城、漁港、オリオンビール工場等、今あるものを活かす！！ ・公益性の高い施設があると認識している。より一層、行政サイドでも広く活用いただきたい
<観光開発> ・体験や宿泊は乱立する恐れがあるので、実態を把握し、登録制などにしたい ・クルーズ船寄港が誘致出来る名護漁港の整備。将来的に那覇から海上輸送の可能性も有る為（国道の渋滞緩和が期待出来る）
<自社事業の推進> ・北部にしかない魅力がたくさんあると感じるが、うまく連携できていないと感じる。繋げるネットワーク、企画を民間レベルでも貢献できたらと思う。 ・当社は沖縄観光を推進する施策として開発したブセナリゾートエリアにある。このエリアの発展が沖縄の観光をけん引していけると考えるため、支援をお願いしたい
<その他> ・美ら海の通道的な名護市となっているが、立寄り易いと思う。飲食、店舗のPRを連携して行う。（例）観光雑誌にPRする等、オリオンビール・アグーのPR等々

3) 調査結果のまとめ

①観光客受入の現状

全体の約 8 割の事業者が、観光客の増加を実感しており、特に増加している観光客は「外国人観光客（アジア系）」、次いで「家族連れ」である。

②観光客増加に伴うまちの活気・経済効果

観光客が来ることによって、まちに「活気が増えた」「やや活気が増えた」と回答した割合は 55.8%であり、観光客が来ることによって、市内に「経済的な効果を感じる」「やや経済的な効果を感じる」と回答した割合は 56.4%であり、ほぼ同水準であった。

③観光への期待

名護市の観光振興へ「期待している」「やや期待している」と回答した割合は 87.2%であり期待は高い。

名護市らしいまちの姿は、多い順に「緑や海などの自然が豊かな観光地」が 78.0%、「さくらや花などを活かしたまちづくり」が 65.9%、「地域の食材を活かした食の観光地」が 65.9%であった。（名護の“オーセンティックな魅力”を示す回答が上位となっている）

④今後の課題

名護市観光の発展に必要なことでは、「交通アクセスの改善」が 43.9%と最も高く、次いで「宿泊施設の新設」が 36.6%、「街なみの整備」が 31.7%であった。

観光振興の懸念事項では「交通渋滞の発生」が 65.9%と最も高く、次いで「外国人観光客への対応」が 46.3%、「駐車場の不足」が 34.1%であった。

⑤その他

地域事業者の 8 割が観光客の増加を実感している一方で、観光客による活気や経済効果の実感があると回答した事業者は 5 割強程度であり、観光客の増加による地域経済への貢献が十分には実感されておらず、地域への還元ギャップが見受けられる。

3.3.3 住民意向調査（区長アンケート調査）

（１）調査目的

観光振興に対する実感や、メリットに対する実感について検証するために、住民意向調査を実施した。

（２）調査概要

区長を対象としたアンケート調査概要は以下の通り。

図表 9 0 住民意向調査（区長アンケート調査）概要

	内容
対 象	市内 55 の行政区の区長
実施方法	区長会における配布し、後日、メール又は FAX にて回収を行う
配布日時	・名護支部 : 2 月 1 日（金） ・羽地支部 : 2 月 1 日（金） ・屋部支部 : 2 月 1 日（金） ・久志支部 : 2 月 6 日（水） ・屋我地支部 : 2 月 4 日（月）
実施内容	<u>①所属等について</u> ・区名、氏名 <u>②観光客受入の現状について</u> ・観光客増減の傾向 ・まちの活気 ・経済的な効果の実感 ・観光客受入意向 <u>③今後の観光振興の取組について</u> ・観光がもたらすメリット・デメリットの評価 ・観光振興に対する期待事項／懸念事項 <u>④自由記入</u>
回収率	55 区配布中、51 区回収（回収率約 91％）

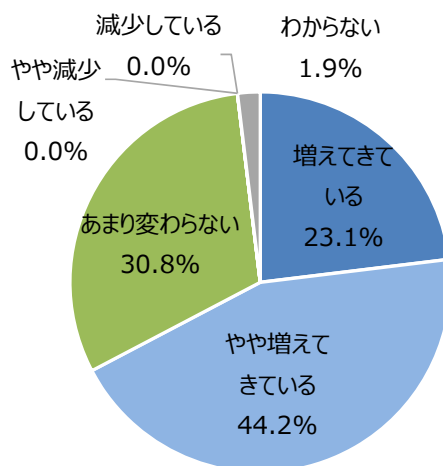
(3) 調査結果

①区内観光の現状

○増えてきていると感じているが地域の活気や経済効果の実感までには及んでいない

a. ここ数年（５年程度）の区内を訪れる観光客の数

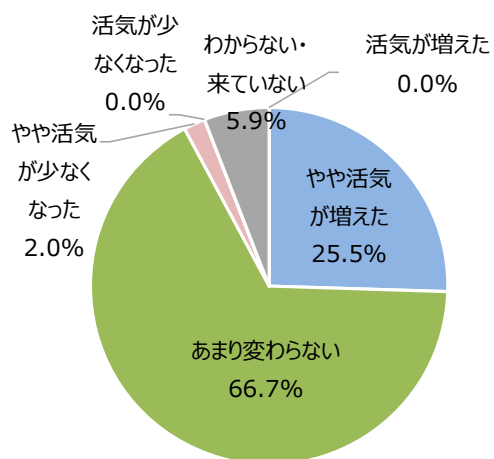
図表 9 1 ここ数年（５年程度）の区内を訪れる観光客の数



[回答者数：51]

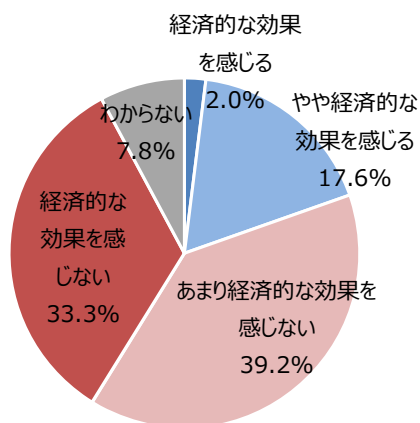
b. 観光客が来ることを通じた地域の変化

図表 9 2 地域に活気の実感



[回答者数：51]

図表 9 3 地域の経済効果の実感



[回答者数：51]

<具体的な回答の理由>

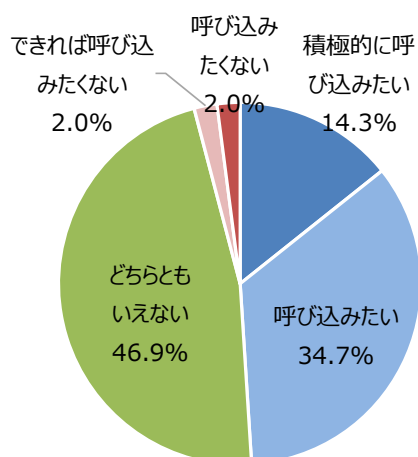
	理由
経済的な効果を感じる	・区内の観光客をターゲットとした店舗における活況と収入の増加を感じる
やや経済的な効果を感じる	・観光関連企業（施設）の活性化により、雇用が増加している ・観光客が歩くと食事、飲食等にお金を使う為 ・道の駅許田に立ち寄る観光客が増えていると思う ・付近の飲食店がやや活気がある人（観光客が目立つ） ・羽地の駅と古民家宿とんすけや体験 ・地域に2軒飲食店が出来た事により、訪れる国内外の人が増えた ・区内に我部祖河食堂（本店）があり、大型バス、レンタカーで客が増えた気がする ・区内のコンビニ及びスーパーでの外国人観光客の増加 ・コンビニやスーパー、レストラン等の買い物客
あまり経済的な効果を感じない	・活気が出てきたが、住んでいる人には経済的実感がわからない ・あまり経済的効果は感じないが、自販機の販売数量がごくわずかだが増えた

※「経済的な効果を感じない」、「わからない」は回答なし

c. 観光客を地域や区内に呼び込みたいか

○地区内への観光客の呼び込み意向は約半数で、メリットを感じる割合とほぼ同数。

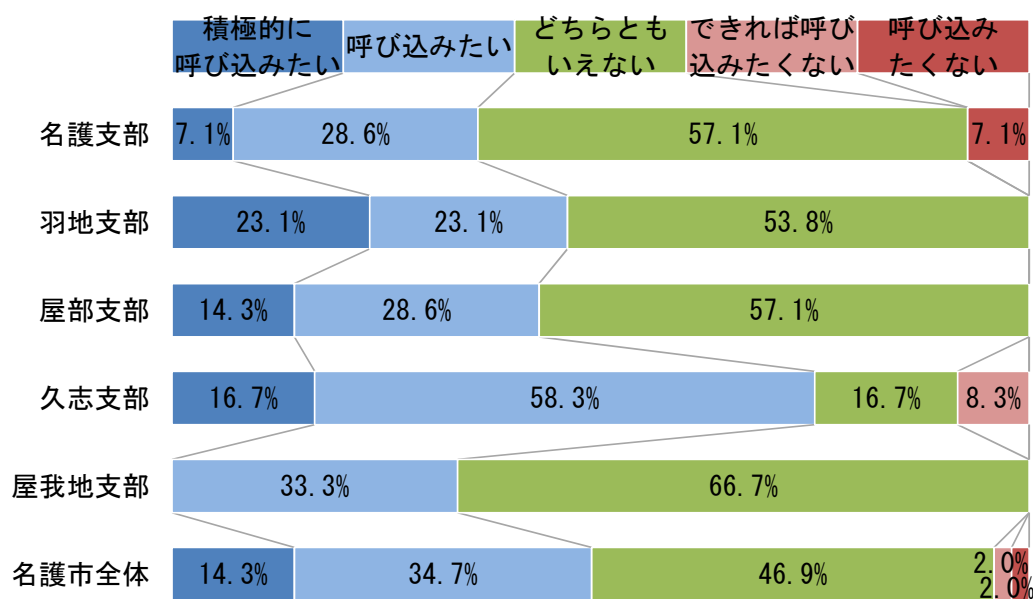
図表 9 4 観光客を地域や区内に呼び込みたいか



[回答者数：49]

○観光客の呼び込みの意向は、地域によって異なっている。

図表 9 5 観光客を地域や区内に呼び込みたいか（地域別）



②今後の名護市の観光振興の取組

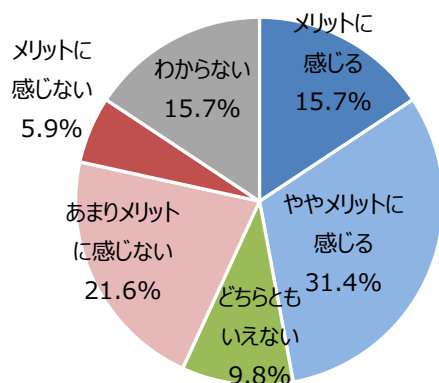
- a. 名護市の観光振興のメリット（雇用者の増加、地域での消費の増加 など）やデメリットを感じているか

○メリットと感じる割合は「感じる」、「やや感じる」で 47.1%であった。

○デメリットと感じる割合は「感じる」、「やや感じる」で 68.7%であった。

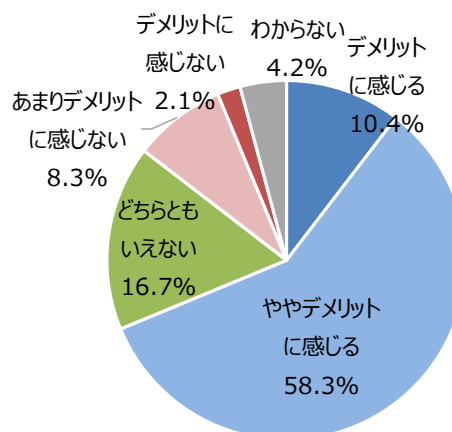
※「メリットを感じる割合」と「デメリットを感じる割合」はそれぞれ別の設問で確認している割合である

図表 9 6 メリットを感じる



[回答者数：51]

図表 9 7 デメリットを感じる



[回答者数：48]

＜メリットを感じる具体的な理由＞ ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

	理由
メリットを感じる	- 観光関連施設の増加による地域での消費の増加、雇用が増大した - 北部にテーマパークも出来るので雇用者も増加すると期待できる - 雇用の増加 - 収入の増加等の経済的効果と地域の魅力への誇りの醸成 - 市内に道の駅、JA 直売所、みやげ品店があり、地元の農産物、工芸品（焼物）等を観光客が買い物しているため
ややメリットを感じる	- 名護市の人口は微増しているので、観光に携わる雇用者の増加と消費も増え、今後の見通しは明るいと思う - 直接関与はないが、間接的に収益を得る事業所がある - 道の駅やヘリオス酒造の売上げは増加していると思う - 地域で観光客を見かけるので、消費の増加は有ると思う - エコツーリズム、カヌーなどの体験が多くなった気がする
どちらともいえない	- 地域に関連施設がないので、どちらともいえない - 区内での良くなった話を全然聞かない
あまりメリットを感じない	- 観光客は増加しているが、当区には売店等の観光客を迎える施設がない - 少子高齢化が著しく、年々人口が減少している状況ではあまりメリットは感じない - 観光振興策そのものが見えない - 区内を訪れる観光客が増えている要因は市観光振興によるものではないと感じている
メリットを感じない	区への経済的効果が感じない。当区に飲食店がない。事業所がない（観光客の有無（人数）がわからない）
わからない	H29 年に区内に民泊が出来る施設があるが、持ち主は区外（市外）の方、観光客は泊まっているようだが、区内を素通り、お互いに情報交換もない

＜デメリットに感じる具体的な理由＞ ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料4
各種アンケート調査の自由記述に掲載）

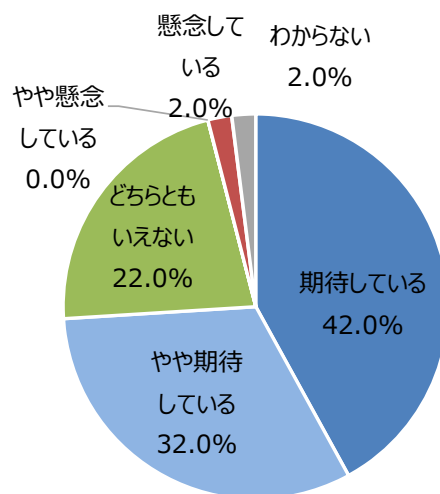
	理由
デメリットに感じる	・通過型（レンタカー）の改善に至っていない状況にあると思われる。また東トンネルへの進入・進出口が世富慶区内となっている（工事途中）関係上、以前に増して交通渋滞が悪化しており、危険度も増加している ・レンタカーが多く接触事故も多い ・区内のアパートに外国人が民泊しているが、予約しているのに部屋のカギが開かない、迷って近所の家に入ったり、苦情が出ている ・地価の高騰により地域住宅の習得が難しくなっている（人口の減）
ややデメリットに感じる	・マナーの悪化（2） ・交通量の増加は、生活している人に苦痛を感じている ・交通渋滞や事故の増加 ・事故でレンタカーナンバーが多いのを目認している ・アジア系外国観光客の一部にはマナーの悪さがたまに目がつく ・デメリットの問題については多くの方々が来て、ごみの問題、トイレ、駐車など色々問題が発生することが予測できるが、地元住民が汗を流し解決していく問題が多いと考える
どちらともいえない	・単純に人が増えれば渋滞等の問題が出てくるのは当たり前の事 ・迷惑駐車、ゴミの散乱など見受けられるが、それほど多くの観光客が見えていない
あまりデメリットに感じない	・観光客数はほとんどいない
わからない	・久志地域において観光振興のメリット、デメリットが感じられない

※「デメリットに感じない」は回答なし

b. 名護市の今後の観光による地域活性化の取り組みについて

○名護市の今後の観光による地域活性化の取り組みについて、「期待している（42.0%）」、「やや期待している（32.0%）」は74.0%であった。

図表 9 8 名護市の今後の観光による地域活性化の取り組み



[回答者数：50]

＜具体的な回答の理由＞ ※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

	理由
期待している	・雇用面で助かっていると思う ・名護に滞在し、消費が増加すると期待できる ・名護市、特に東海岸について、豊かな自然を活用して市街地とは違う形の活性化を図る ・名護市には観光の目玉となる施設がない。ビール工場観光（食事ポイント）の充実を企業だけでなく、行政も一緒になって考え工夫する必要があるのではないか？！ ・名護市は北部の中心都市としてリーダーシップを発揮して、他の町村と連携して多種多様なあらゆる事例を共有して発展していければ良い
やや期待している	・地域資源（名所、遺跡）等の整備、地域の観光ガイドの養成（研修、講習等）する ・区内の環境美化作業は区のイメージにつながる ・地域の特産品の紹介及び地元産の商品化に向けて関係団体と連携した取り組み等かなり積極的姿勢を評価
どちらともいえない	<マナー> ・今の所は観光客が多くないが、車の迷惑駐車など、トイレのマナーなどの点で区民に迷惑がかからないか心配 <ごみの増加> ・観光客が増えると、ゴミが増える <観光資源・観光施設> ・観光客が興味を示すようなものが見当たらない
懸念している	・地域によって差を感じている。小さい地域に対する観光振興が行き届いている感じがしない
わからない	・こういった取り組みをしているのか、今、どういう状況なのか（名護市全体的など）も情報が詳しく入ってくる訳でもないので、よくわからない

※「やや懸念している」は回答なし

③その他自由意見（◎ご提案・要望、○ご意見・ご指摘、△その他）

※主要な意見のみを抜粋（記入内容全体は報告書：参考資料 4 各種アンケート調査の自由記述に掲載）

自由記入の内容
<観光資源> ◎宇茂佐の場合は区画整理事業が終了し、人口増加が著しいので、自然を活かした観光を期待する ◎観光資源として海・山の自然や地元農水産物加工製品等はもちろんのこと、名所旧跡等の文化遺産も大いに活用してみたい ○観光スポットを新たに創ることは難しい諸問題があると思う。現存する施設の活用方法を検討する必要がある。企業だけに頼っていたのでは進展がない。海洋博公園のルート上にある利点を活かせるポイントを模索しようではないか！ ○名護市の観光地・メインがはっきりわからない。市としての観光名所を表示してほしい ○名護市一大イベントとして取り組まれている桜まつりは年々盛り上がりが薄れていく状況にあると思われる。特に桜の老朽化対策については、直近の課題である △国道 331 号線の美化や区の史跡の掘り起こし等、区の活性化につながることを目指して頑張りたい
<広報 PR> ○人が来る前から渋滞や観光マナーを考える必要はない。多少不便でも本当に見たいものがあれば人は来る。デメリットは人が来てから考えれば良いこと。課題に「名護市の PR 不足」とあったが、その「PR」をするものが今の名護にあるのか、ちょっと微妙な気がする ○他の地域の祭りの PR（新聞・テレビ・ラジオ・ネット等）に比べ、名護は少ないように感じる
<受入インフラ> ◎各公民館への Free Wi-Fi とか、AED の導入などをしてくれると助かる
<滞在の促進> ◎名護市を通過させるのではなく、観光客に足を止めてもらう企画をしてもらいたい ◎東側地域に観光客が来るような対策をしてほしい
<人手不足> ◎人手不足が、待遇改善に結びつく、方策が欲しい ○仕事意欲のある人材が途中でいなくなり、継続した運営ができていないのでは？
<観光客増加に伴う課題> ○例、コスモス祭りの時、川上区の公民館のトイレ、駐車場を観光客に貸す。汚したトイレの掃除、ペットボトル、缶、ビニール袋（お菓子）、弁当箱、ティッシュ等の紙クズ、後片付けが大変。デメリットの方が多い。何のメリットもない
<その他> ◎55 区には特色のある文化財や拝所があり、案内版の設置やアクセス道路を整備してほしい。（例）旧・古我知焼の窯跡への道路の整備、羽地、親川番所の復元等 ◎地元と多くの意見交換をし、具体的な方法を考え、具体化することを希望する ◎屋我地橋と真喜屋橋を浚渫し、海水の流れを良くする

（４）調査結果のまとめ

市内の各区においては、観光客が増えてきていると感じられているが、地域の活気や、経済効果を感じている割合はこれらに比べて、小さな割合である。

地区内への観光客を呼び込みたいという意向がある、区長は全体の約半数で、観光振興にメリットを感じている割合とほぼ同じ割合の状況である。

一方で、観光振興にメリットに感じている割合（47.1％）と、デメリットを感じている割合（68.7％）を比較すると後者の方が大きい。

また、名護市による観光振興への今後の期待している割合は 74.0％と多い。

これらの結果より、今後は、観光振興によるメリットの面として、経済効果や雇用などのメリット創出と並行し、デメリットを感じていることに対する対応として、地域の観光振興に対する理解とルールづくり等を行うなどの課題解決型の観光振興モデルの構築が急がれる。

3.4 経済波及効果データの収集又は作成

3.4.1 観光による市内波及効果の分析

(1) アンケート調査結果から見た経済波及効果

今年度実施した「観光客アンケート調査」および「事業者アンケート調査」の結果をもとに、市内を訪れる観光客の消費による市内全体への経済波及効果の分析を行った。

経済波及効果は、「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリーづくりに関する調査報告書（平成27年3月、公益財団法人日本交通公社）」に示されている「観光経済波及効果簡易推計システム」を用いて算出した。

市内を訪れる観光客による1年間の消費額は、約445億円^{※1}と算出され、この金額は、名護市の総生産1,844億円^{※2}の約24.1%に該当する。観光消費額のうち、市内に残る金額は約112億円と、観光消費額全体の4分の1（25.2%）程度にとどまっており、観光に係る各産業の域内調達率を高めることで、地域経済へのさらなる貢献が見込まれる。

市内での観光消費による経済波及効果は、間接波及効果を含めると年間約625億円、これらの波及効果に伴う雇用効果（観光により発生される雇用者数）は約2,262人となる。

なお、算出過程の詳細については、「報告書：参考資料5 観光産業の地域経済への波及効果分析」に示す。

【経済波及効果分析結果】

①観光消費額 (観光客数×消費単価)	約445億円
②観光消費額のうち、域内に残る額	約112億円

③観光消費の経済波及効果 (観光消費額+生産誘発額 ^{※3} +家計迂回額 ^{※4})	約625億円
④付加価値効果 (人件費や営業利益などの付加価値により得られる効果)	約239億円
⑤雇用効果 (観光により発生される雇用者数)	2,262人

- ※1：観光消費額は、日帰り客と宿泊客について、それぞれ客数及び消費単価を乗じることにより求めている。
・日帰り客数は、名護市の観光統計による「観光施設入込数+イベント集客数（=5,238,235人）」を、アンケート調査より算出した「平均立ち寄り箇所数（=2.52箇所）」で除した。
・宿泊客数は、名護市の観光統計による1,316,043人とした。
・観光消費単価は、アンケート調査より日帰り4,803円、宿泊26,203円とした。
- ※2：平成27年度沖縄県市町村民所得（平成30年10月、沖縄県企画部統計課）より
- ※3：観光客が購入する商品等の原材料の仕入先、またその仕入先へと波及する効果（金額）
- ※4：生産誘発の段階において発生する付加価値（人件費、租税公課、減価償却費、営業利益等）により得られる効果（金額）

〔参考〕 経済波及効果分析に用いた各種データの根拠・考え方

No.	データ項目	根拠・考え方
1	観光客数	平成 29 年の入込観光客数（名護市）をもとに整理 [日帰客]（観光施設入込客数＋イベント客数）÷平均立寄箇所数 [宿泊客] 宿泊者数
2	観光消費単価	「観光客アンケート調査（平成 30 年度）」結果をもとに、 宿泊客、日帰客の消費単価を業種サービスごとに算出
3	限界消費性向	所得の増加分に対する消費の増加分の割合、総務省の平成 29 年「家計調査年報家計収支編」より算出
4	域内調達率	平成 26 年度に県が実施した「買物動向調査」において、 域内消費率に該当あるいは推計できる項目がないため、 「市町村別地元購買率（地元購買率＝自市町村から自市町 村への買物出向比率）」を参考に設定
5	年間給与所得平均（全国）	「平成 29 年 民間給与実態統計調査（国税庁）」をもとに 設定
6	給与地域補正值	「個人所得指標 2019」をもとに、名護市の数値を適用
7	域内人口	平成 31 年 1 月 31 日現在の市内人口を適用
8	各業種の経費構造（対売上比）	「事業者アンケート調査（平成 30 年度）」結果をもとに、 業種サービスごとの経費構造を算出
9	各業種の域内調達率	「事業者アンケート調査（平成 30 年度）」結果をもとに、 業種サービスごとの域内調達率を算出
10	域内事業者の本社比率	「平成 28 年度経済センサス活動調査」より算出

[参考] 沖縄県における旅行・観光の経済波及効果

平成 29 年度の沖縄県全体の「旅行・観光消費額」は約 7,793 億円、観光消費による「経済波及効果」は約 1 兆 1,700 億円、「誘発効果（経済波及効果／観光消費額）」は約 1.5 倍と推計されている。名護市内における誘発効果は約 1.4 倍（経済波及効果：約 625 億円／観光消費額：約 445 億円）となっており、沖縄県全体と比較して大幅な乖離はないものの、やや低い数値を示している。その要因として、市内の観光に係る各産業の域内調達率がやや低いことが考えられるため、域内調達率を高め、観光消費を循環させることが求められる。

○経済波及効果（生産誘発額）	1 兆 1, 6 9 9 億 8, 5 0 0 万円
（対前回調査（H27）年度比 +14.2%、 +1,451億1,500万円）	
○付加価値誘発効果	5, 7 3 5 億 9, 0 0 0 万円
（対前回調査（H27）年度比 +13.0%、 + 657億9,800万円）	
○雇用誘発効果	1 4 2, 7 3 4 人
（対前回調査（H27）年度比 +13.2%、 +16,627人）	

1. 前回調査との比較

（単位：百万円）

	H 2 7 年度	H 2 9 年度	前回調査との比較	
			差異	増減比
旅行・観光消費額	691, 739	779, 334	87, 595	12.7%
県内客	89, 525	81, 414	▲ 8, 111	▲9.1%
県外客	464, 205	497, 883	33, 678	7.3%
国外客	138, 009	200, 037	62, 028	44.9%
経済波及効果	1, 024, 870	1, 169, 985	145, 115	14.2%
付加価値誘発効果	507, 792	573, 590	65, 798	13.0%
雇用誘発効果	126, 107 人	142, 734 人	16, 627	13.2%
誘発倍率 （経済波及効果／観光消費額）	1.48 倍	1.50 倍	0.02	-

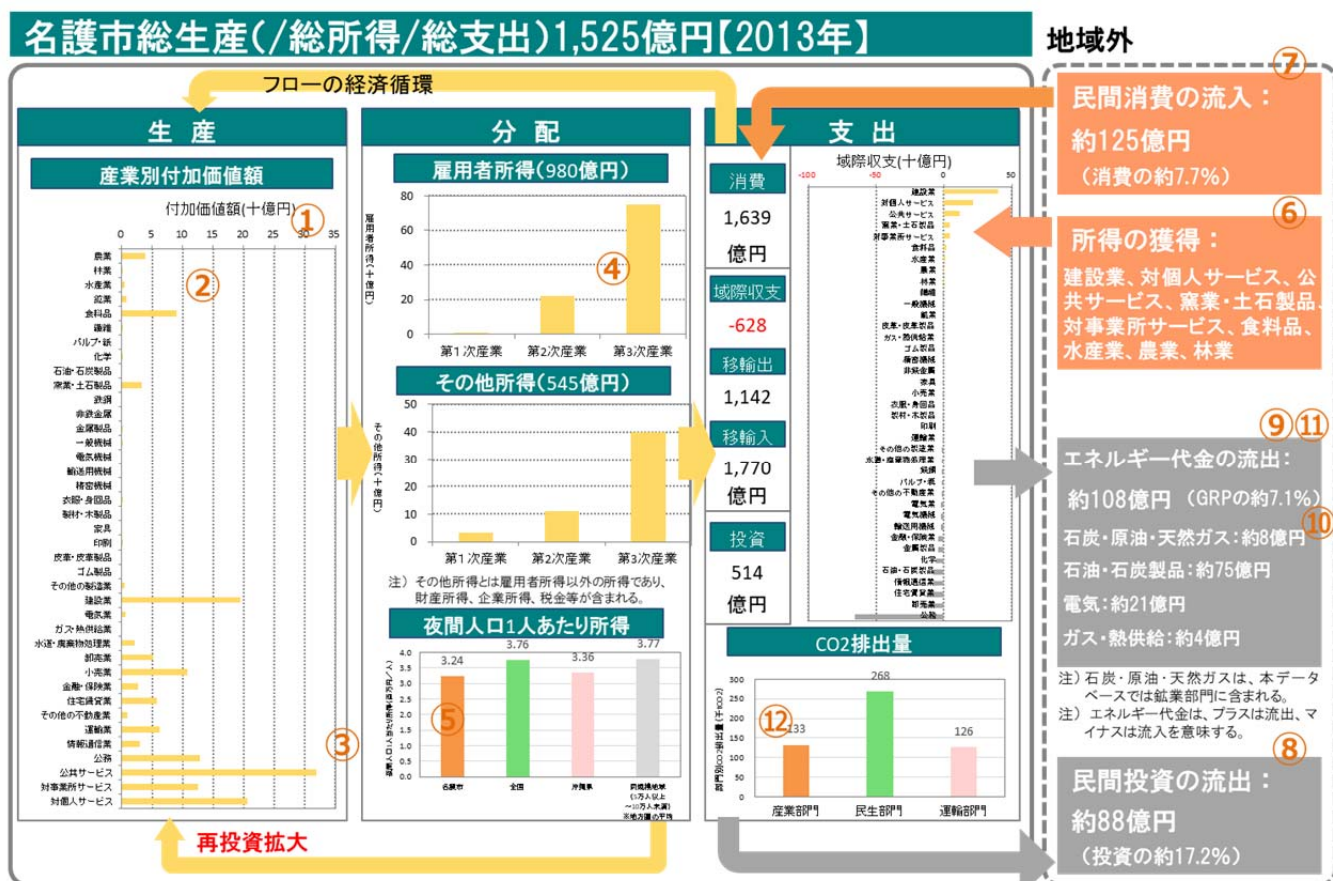
出典：平成 29 年度沖縄県における旅行・観光の経済波及効果（平成 30 年 9 月、沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課）

(2) 環境省による分析システムを活用した地域経済の分析

ここでは「環境省による分析システム(2013年版 Ver2.0 環境省・株式会社価値総合研究所)」を用いて名護市の地域経済について分析する。

1) 地域の所得循環構造①

図表 9 9 地域の所得循環構造①



注) 消費 = 民間消費 + 一般政府消費、投資 = 総固定資本形成 (公的・民間) + 在庫純増 (公的・民間)

2) 地域の所得循環構造②

図表 100 地域の所得循環構造②

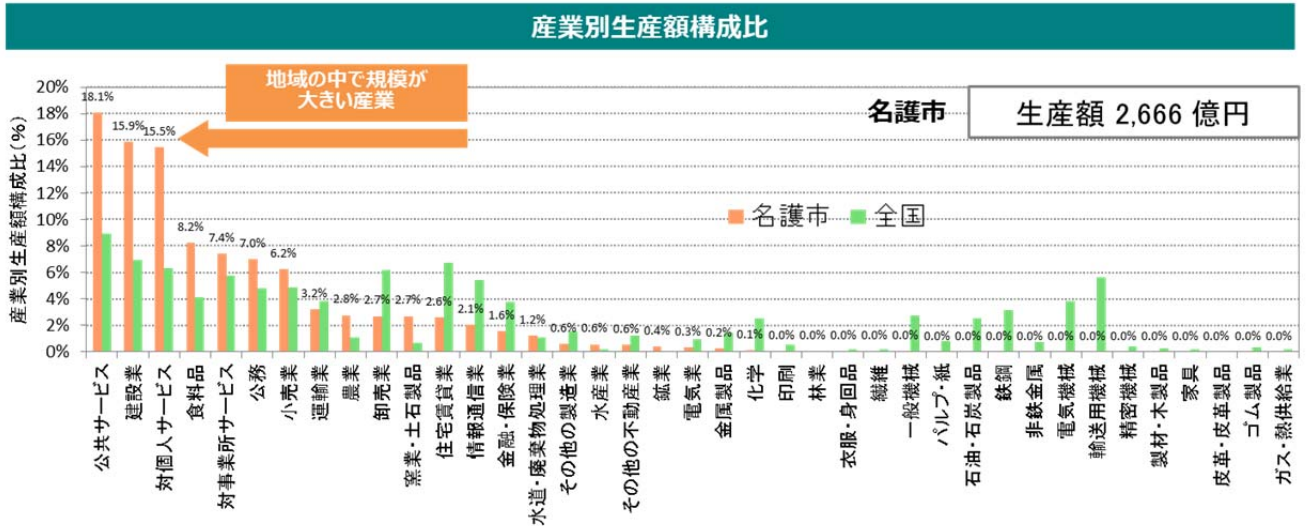
	地域の特徴	分析内容
生産	①名護市では、公共サービスが最も付加価値を稼いでいる産業である。 ②製造業では、食料品が最も付加価値を稼いでおり、次いで窯業・土石製品、その他の製造業が付加価値を稼いでいる産業である。 ③第3次産業では、公共サービスが最も付加価値を稼いでおり、次いで対個人サービス、公務が付加価値を稼いでいる産業である。	■ 域内の事業所が1年間で域内でどれだけ付加価値を稼いだか ■ 付加価値とは、売上から原材料を除いた売上総利益である
分配	④名護市では、第3次産業の雇用者所得への分配が最も大きい。 ⑤名護市の夜間人口1人当たりの所得は3.24百万円/人であり、全国平均と比較して低い水準である。	■ 生産面で稼いだ付加価値が賃金・人件費として分配され、地域住民の所得(夜間人口1人当たり所得)に繋がっているか否か
支出	⑥名護市では、建設業、対個人サービス、公共サービスが域外から所得を稼いでいる。 ⑦消費は域内に流入しており、その規模は地域住民の消費額の1割程度である。 ⑧投資は域外に流出しており、その規模は地域住民・事業所の投資額の2割程度である。	■ 域内の産業で、域外から所得を稼いでいる産業は何か ■ 地域内で稼いだ所得が地域内の消費や投資に回っているか否か

※公務：国家公務、地方公務

3) 産業別生産額構成比

生産額が最も大きい産業は公共サービスであり、次いで建設業、対個人サービス、食料品が「稼ぐ力」の大きなウェイトを占めている。

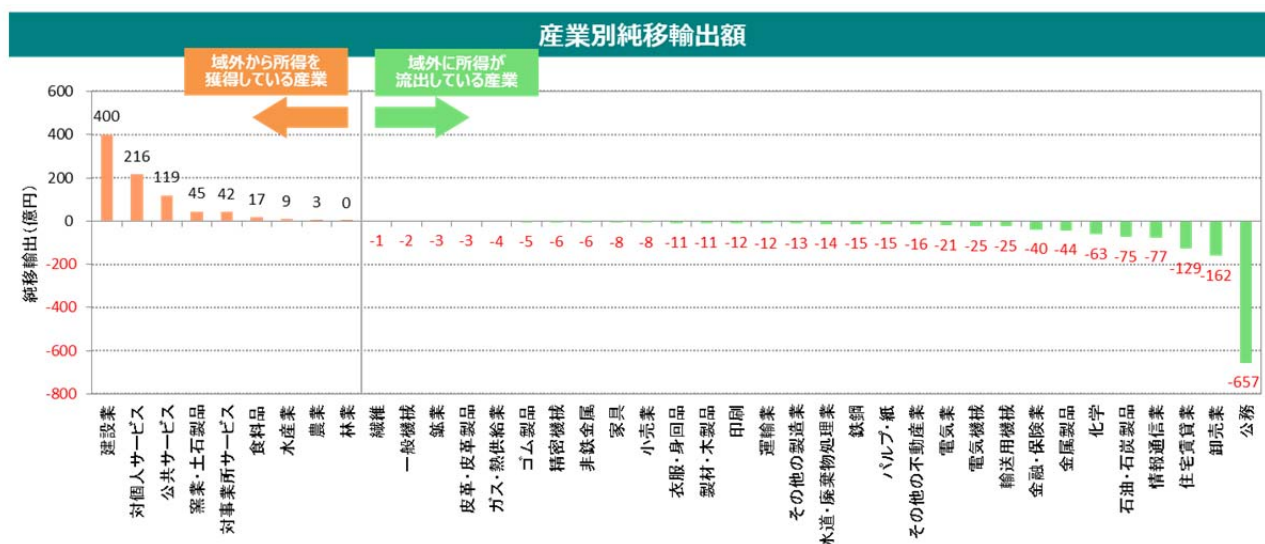
図表 101 産業別生産額構成比



4) 産業別移輸出額

域外から所得を獲得している産業は建設業、対個人サービス、公共サービス、窯業・土石製品、対事業所サービス、食料品等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

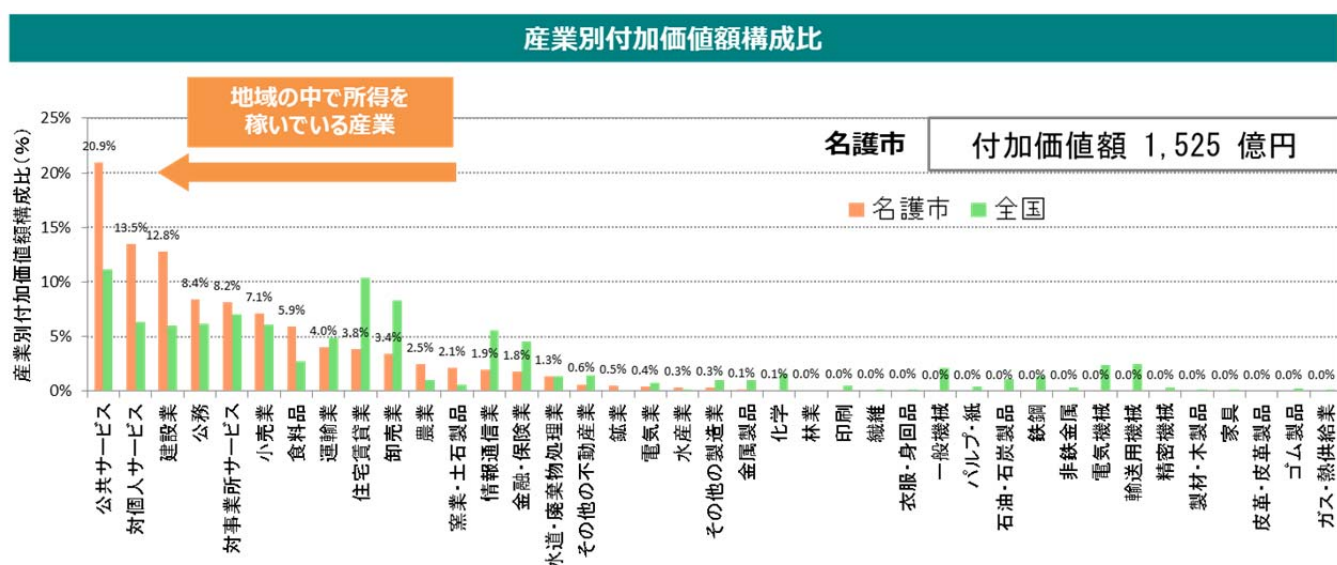
図表 102 産業別移輸出額



5) 産業別付加価値額構成比

付加価値を最も生み出しているのは公共サービスであり、次いで対個人サービス、建設業、公務である。

図表 103 産業別付加価値額構成比



(3) まとめ

今年度実施した「観光客アンケート調査」および「事業者アンケート調査」の結果を用いた検討、「環境省による分析システム」を用いた検討を通じて、観光客が地域に及ぼす経済効果について分析を行った。

今後は、継続的に経済効果を定点観測するとともに、直接効果や間接効果を高めるために、名護市内における滞在時間（滞在箇所数の増加や、滞在箇所ごとの滞留時間の増加）の拡大を図り、消費単価の拡大を図ることや、域内調達率を高めて地域内での経済循環が促進されるよう、関係者の協働のもと取り組みを進めることが求められる。

地域経済の分析システムによると、「対個人サービス」については、市内における生産額の割合、付加価値、輸出額が大きな産業となっており、他産業への波及効果も非常に大きな産業であることが明らかになった。

今後、観光客の来訪者数の増加に伴い更に、産業規模が大きくなると予想される分野であり、基幹産業として関連分野との連携による取り組みの強化が必要である。

3.4.2 イベント・祭りによる波及効果の分析

イベント・祭りに要する費用や、効果について整理し、分析を行う。本年度の調査においては、「名護・やんばるツーデーマーチ」を事例に経済効果の分析を行った。

なお、費用については、これまでイベント・祭り開催にあたって直接経費とみなされていなかった行政職員の人件費についても勘案し算出することにより、今後のイベント・祭りの評価を行う際の一助とする。

(1) イベント・祭りの実施による経済効果

「名護・やんばるツーデーマーチ」の実施による経済効果は、参加者によって市内で消費される金額を集計する。

集計方法は、県内客と県外客それぞれについて、消費単価を設定しこれに参加者数を乗じて算出する。

<直接効果>

	項目	金額		考え方
1	直接効果(県内)	212,625	円	観光消費単価に参加者数を乗じて算出
2	直接効果(県外)	5,730,868	円	観光消費単価に参加者数を乗じて算出
	(収入・効果の計)	5,943,493	円	

(2) イベント・祭りの実施に要する費用

「名護・やんばるツーデーマーチ」の実施による費用を集計する。集計の対象は開催に要した直接費用と人件費を集計の対象とする。

<費用①>

	項目	金額		考え方
1	事業費	4,206,334	円	(H28 年)第 29 回名護・やんばるツーデーマーチ決算書支出の部(決算額)
2	歓迎会費	544,254	円	
3	管理費	1,050,863	円	
4	雑費	13,392	円	
5	予備費	0	円	
	支出総額	5,814,843	円	

<費用②>

	項目	金額		考え方
1	直接人件費	3,794,517	円	行政職員の人件費換算

<費用計>

	項目	金額		考え方
	(開催費用計)	9,609,360	円	費用①+費用②

（３）費用及び効果の比較

イベントの開催に要した費用を集計すると、9,609（千円）、直接効果額は、5,943（千円）であり、費用が効果額を上回っている状況にある。

このため、イベントの実施を有意義なものとするためには、イベントの実施に要する費用の減少もしくは、地域における消費の拡大など効果額の増加を図る必要があり、取り組み課題を明確にしつつ、実施方法を今後再検討する必要がある。